

第 1 章

東京都感染症発生動向調査事業における患者情報

1 発生動向調査の概略

(1) 調査対象疾患

「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律」及び「感染症発生動向調査事業実施要綱」に定められている全数把握対象疾患及び定点把握対象疾患に加え、厚生労働省令で定める疑似症をサーベイランスの調査対象としている。また、東京都が独自に指定する調査対象疾患として、不明発しん症と川崎病を小児科疾患、膻トリコモナス症を性感染症に加えている。

(2) 定点医療機関

患者定点となる医療機関数は、小児科定点 264、内科定点 155、眼科定点 39、基幹定点 25、性感染症定点 55、疑似症定点 36 が設定され、このうち 70 医療機関が病原体定点を兼ねている。なお、小児科定点はインフルエンザ定点としての機能も果たしている。

表 1 東京都感染症発生動向調査事業定点医療機関数

(2022 年 12 月 31 日現在)

定点種別 (疾患数)	患者定点数	病原体定点数
小児科定点 (13)	264	26
内科定点 (1)	155	15
眼科定点 (2)	39	4
基幹定点 (9)	25	21
性感染症定点 (5)	55	4
疑似症定点	36	

(3) 運営方法

全数把握対象疾患は、診断後直ちに（五類感染症は 7 日以内、ただし侵襲性髄膜炎菌感染症、風しん及び麻しんは診断後直ちに）保健所に届出が行われるほか、小児科定点、内科定点、眼科定点及び基幹定点からの報告は週単位で、性感染症定点からの報告は月単位でなされる。ただし、基幹定点から報告される一部の疾患（薬剤耐性菌による感染症）については月単位となっている。

週単位で報告される疾患については、毎週月曜日から日曜日までに診断された患者を、小児科、内科、眼科の各定点医療機関は年齢別の患者数、基幹定点医療機関は年齢及び検出病原体名を所定の調査票に記入し保健所に送付する。

月単位で報告される疾患については、性感染症定点医療機関は当該月の年齢別患者数、基幹定点医療機関は当該月の患者の年齢、検体採取部位を所定の調査票に記入し保健所に送付する。

疑似症サーベイランスでは、疑似症定点医療機関において届出基準を参考とし、当該疑似症の患者と診察された場合に、所定の調査票を直ちに保健所に送付する。

医療機関から届いた情報は、保健所が感染症発生動向調査システムに入力する。東京都健康安全研究センター疫学情報担当（基幹地方感染症情報センター）（以下、疫学情報担当という）は、保健所からの情報を確認後、国へ報告する。

また、疑似症については、保健所は随時、福祉保健局感染症対策部防疫・情報管理課（以下、防疫・情報管理課という）へ報告する。保健所からの報告を受けた防疫・情報管理課は、疫学情報担当へ報告し、両者で検討の上、国へ報告する。

新型コロナウイルス感染症又は再興型コロナウイルス感染症の届出は、新型コロナウイルス感染者等情報把握・管理支援システム（HER-SYS）の入力により行われるが、当該システムへの入力環境が医療機関に無い場合には、予め定めた方法により届出を受理した保健所が当該システムへ入力する。

（４）情報発信

新型コロナウイルス感染症を除く患者情報は、全国の情報及び病原体定点で採取された検体からの病原体検出結果とともに、「感染症週報」として東京都感染症情報センターホームページで公開し、広く都民に情報還元を図っている。また、週報には、東京都医師会発行の情報誌から引用した「感染症豆知識」の記事を掲載し、感染症に関する情報発信に繋げている。

さらに、隔月第４木曜日を目途に開催される東京都感染症予防検討委員会において、直近２カ月分の情報について討議し、その情報は情報誌に「感染症だより」として掲載されている。

２ 本年（2022年）の概況

（１）一～四類、五類感染症（全数把握対象）等

ア 一類感染症

一類感染症の届出はなかった。

イ 二類感染症

急性灰白髄炎、ジフテリア、重症急性呼吸器症候群、中東呼吸器症候群、鳥インフルエンザ（H5N1）、鳥インフルエンザ（H7N9）の届出はなかった。結核については別途「東京都における結核の概況」として報告する。

ウ 三類感染症

コレラ：１件の届出があった。血清型はO1であった。推定感染地は国外であった。

細菌性赤痢：２件の届出があった。菌種は*flexneri*、*sonnei*各１件であった。推定感染地は国内、国外各１件であった。

腸管出血性大腸菌感染症：３５６件の届出があった。血清型・毒素型はO157 VT1・VT2が１１８件で最多であった。症状別では患者２３７人（うち溶血性尿毒症症候群１０人）、無症状病原体保有者１１９人で、推定感染地は国内２８２件、国外２件、不明７２件であった。

腸チフス：６件の届出があった。推定感染地は国外５件、不明１件であった。

パラチフス：４件の届出があった。推定感染地は全て国外であった。

エ 四類感染症

E型肝炎：１３１件の届出があった。推定感染地は国内１０２件、国外１件、不明２８件であった。

A型肝炎：６件の届出があった。推定感染地は国内４件、不明２件であった。推定感染経路は、経口感染３件、不明３件であった。

エキノコックス症：３件の届出があった。

オウム病：４件の届出があった。

サル痘：５件の届出があった。推定感染地は国内３件、国外２件であった。

重症熱性血小板減少症候群：１件の届出があった。

チクングニア熱：１件の届出があった。

つつが虫病： 14 件の届出があった。推定感染地は全て国内で、うち、東京都は 8 件（多摩地区 3 件、島しょ地区 4 件、不明 1 件）であった。

デング熱： 26 件の届出があった。推定感染地は全て国外であった。

ボツリヌス症： 1 件の届出があった。推定感染地は国内であった。

マラリア： 9 件の届出があった。病型は熱帯熱マラリア 7 件、卵型マラリア 2 件であった。

ライム病： 2 件の届出があり、推定感染地は国内、国外各 1 件であった。

レジオネラ症： 120 件の届出があった。病型は肺炎型 105 件、ポンティアック熱型 14 件、無症状病原体保有者 1 件で、死亡例は 1 人報告された。推定感染地は国内 105 件、国外 1 件、国内又は国外 1 件、不明 13 件であった。公共浴場施設（温泉を含む）での感染と推定されたのは 22 件であった。

レプトスピラ症： 5 件の届出があった。推定感染地は全て国内であった。

オ 五類感染症（全数把握対象）

アメーバ赤痢： 117 件の届出があり、うち、腸管アメーバ症 105 件、腸管外アメーバ症 5 件、腸管及び腸管外アメーバ症 7 件であった。推定感染地は国内 86 件、国外 10 件、国内又は国外 1 件、不明 20 件であった。

ウイルス性肝炎（E型肝炎及びA型肝炎を除く）： 35 件の届出があり、うち、B型肝炎 19 件、C型肝炎 8 件、エプスタイン・バーウイルス（EBV）肝炎 5 件、サイトメガロウイルス（CMV）肝炎 3 件であった。

カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症： 208 件の届出があった。推定感染地は国内 184 件、国外 1 件、不明 23 件であった。

急性弛緩性麻痺： 4 件の届出があった。推定感染地は全て国内であった。

急性脳炎： 28 件の届出があった。病原体は、新型コロナウイルス 5 件、ヘルペスウイルス 3 件、RS ウイルス、エンテロウイルス、水痘・帯状疱疹ウイルス各 2 件、アデノウイルス、リステリア・モノサイトゲネス、トキソプラズマ各 1 件、RS ウイルス及びライノウイルス、ライノウイルス及びパラインフルエンザウイルス 1 型各 1 件、不明 9 件であった。

クリプトスポリジウム症： 2 件の届出があった。推定感染地は国内、国外各 1 件であった。

クロイツフェルト・ヤコブ病： 18 件の届出があった。孤発性プリオン病・古典型クロイツフェルト・ヤコブ病（CJD）が 14 件、孤発性プリオン病・その他が 2 件、遺伝性プリオン病・家族性 CJD が 1 件、遺伝性プリオン病・家族性致死性不眠症（FFI）が 1 件であった。

劇症型溶血性レンサ球菌感染症： 107 件の届出があった。血清群別では A 群 34 件、B 群 32 件、C 群 1 件、G 群 32 件、C 群及び G 群 2 件、不明 6 件であった。死亡例は 21 人報告された。

後天性免疫不全症候群： 288 件の届出があった。AIDS 患者 53 人、HIV 感染者 235 人（指標疾患以外の有症候者 26 人、無症候性キャリア 209 人）であった。推定感染地は国内 245 件、国外 16 件、不明 27 件であった。推定感染経路は、性的接触 265 件（同性間 204 件、異性間 34 件、両性間 12 件、性別不明 15 件）、静注薬物使用 1 件、母子感染 1 件、同性間又は静注薬物使用 1 件、不明 20 件であった。

ジアルジア症： 12 件の届出があった。

侵襲性インフルエンザ菌感染症： 19 件の届出があった。血清型は f 型 1 件、型別不能 16 件、検査未実施 2 件であった。ワクチン接種歴は 4 回 3 件、3 回 2 件、なし 5 件、不明 9 件であった。

侵襲性髄膜炎菌感染症： 1 件の届出があった。

侵襲性肺炎球菌感染症： 141 件の届出があった。死亡例は 10 人報告された。ワクチン接種歴は 4

回 18 件、3 回 10 件、2 回 3 件、1 回 5 件、なし 40 件、不明 65 件であった。

水痘（入院例）：49 件の届出があった。死亡例の報告はなかった。推定感染地は国内 43 件、不明 6 件であった。

梅毒：3,677 件の届出があった。早期顕症梅毒Ⅰ期 1,496 件、早期顕症梅毒Ⅱ期 1,351 件、晩期顕症梅毒 33 件、無症候 797 件であった。性別は男性 2,291 人、女性 1,386 人であった。推定感染地は国内 3,375 件、国外 10 件、国内又は国外 2 件、不明 290 件であった。推定感染経路は性的接触 3,509 件（同性間 614 件、異性間 2,458 件、両性間 17 件、性別不明 420 件）、母子感染 1 件、異性間又は静注薬物使用 2 件、同性間又は静注薬物使用 1 件、不明 164 件であった。

播種性クリプトコックス症：15 件の届出があった。推定感染地は国内 14 件、不明 1 件であった。

破傷風：6 件の届出があった。推定感染地は全て国内であった。

バンコマイシン耐性腸球菌感染症：8 件の届出があった。耐性遺伝子型は *vanA* 2 件、*vanB* 2 件、*vanD* 1 件、検査未実施 3 件であった。

百日咳：55 件の届出があった。ワクチン接種歴は 4 回 18 件、3 回 4 件、2 回 1 件、1 回 1 件、なし 1 件、不明 30 件であった。

風しん：4 件の届出があり、全て検査診断例（抗体検査）であった。

薬剤耐性アシネトバクター感染症：2 件の届出があった。菌種は全て *Acinetobacter spp.* であった。

カ 新型インフルエンザ等感染症

新型コロナウイルス感染症：2022 年 9 月 26 日以降は、発生届の対象者を、65 歳以上の者、入院を要する者、重症化リスクがあり、新型コロナ治療薬や酸素投与が必要と医師が判断する者、妊婦の 4 類型に限定されることとなった。2023 年 3 月 27 日現在、新型コロナウイルス感染症等情報把握・管理支援システム HER-SYS で、2022 年 9 月 25 日までの届出のうち保健所確認済となっている登録データ、及び 2022 年 9 月 26 日以降において、同システム上に日次報告として報告されたデータによると、2022 年に 3,369,318 件の届出・報告があった。

（２）五類感染症（定点把握対象）

ア 小児科・内科疾患

2022 年は、新型コロナウイルス感染症（COVID-19）に対する予防行動が持続するなかで、五類感染症（定点把握対象）の小児科・内科疾患の多くが前年（2021 年）と同様に前年比減少傾向にあったが、いくつかの疾患が前年（2021 年）と比較して増加した。感染性胃腸炎、手足口病は、2020 年、2021 年と比較して報告数は大きく増加し、新型コロナウイルス感染症（COVID-19）流行以前の例年並みの報告数に近づいた。いっぽう、RS ウイルス感染症は、前々年（2020 年）に流行がみられなかった影響で、前年（2021 年）は過去 10 年間の平均値の倍以上の報告があったが、それに比べて、2022 年は報告数が大きく減少し、例年並みの報告数となった。新型コロナウイルス感染症（COVID-19）と同様の感染経路と考えられるインフルエンザは前年（2021 年）に比べ大きく増加したが、例年並みの流行は見られなかった。そのほか、ヘルパンギーナが前年の報告数を上回った。その他の疾患は前年（2021 年）の報告数を下回った。

【前年比減少疾患】

RS ウイルス感染症：2022 年の報告数は 7,564 人、定点当たり 29.40 人であった。前年比（定点当たり）は 0.47 であった。

咽頭結膜熱：2022年の報告数は1,420人、定点当たり5.52人であった。前年比（定点当たり）は0.89であった。

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎：2022年の報告数は2,094人、定点当たり8.14人であった。前年比（定点当たり）は0.52であった。

水痘：2022年の報告数は990人、定点当たり3.85人であった。前年比（定点当たり）は0.77であった。

伝染性紅斑：2022年の報告数は174人、定点当たり0.68人であった。前年比（定点当たり）は0.66であった。

突発性発しん：2022年の報告数は3,889人、定点当たり15.13人であった。前年比（定点当たり）は0.74であった。

流行性耳下腺炎：2022年の報告数は487人、定点当たり1.89人であった。前年比（定点当たり）は0.75であった。

不明発しん症：2022年の報告数は360人、定点当たり1.40人であった。前年比（定点当たり）は0.81であった。

川崎病：2022年の報告数は93人、定点当たり0.36人であった。前年比（定点当たり）は0.55であった。

【前年並みであった疾患】

報告数が例年に比べると大きく減少している疾患が多く、前年比で「前年並み」と判断される疾患はなかった。

【前年比増加疾患】

インフルエンザ：2022年の報告数は3,318人、定点当たり8.25人であった。前年比（定点当たり）は75.0であった。

感染性胃腸炎：2022年の報告数は63,709人、定点当たり248.04人であった。前年比（定点当たり）は1.41であった。

手足口病：2022年の報告数は16,911人、定点当たり65.92人であった。前年比（定点当たり）は6.71であった。

ヘルパンギーナ：2022年の報告数は4,423人、定点当たり17.23人であった。前年比（定点当たり）は1.72であった。

イ 眼科疾患

急性出血性結膜炎：2022年の報告数は3人、定点当たり0.08人、定点当たりの当年/前年比は1.60であった。

流行性角結膜炎：2022年の報告数は311人、定点当たり8.21人、定点当たりの当年/前年比は1.09であった。

ウ 基幹定点における週報告疾患

細菌性髄膜炎：2022年の報告数は17人、定点当たり0.68人であった。前年比（定点当たり）は0.71であった。

無菌性髄膜炎：2022年の報告数は18人、定点当たり0.72人であった。前年比（定点当たり）は

0.71 であった。

マイコプラズマ肺炎：2022 年の報告数は 7 人、定点当たり 0.28 人であった。前年比（定点当たり）は 0.37 であった。

クラミジア肺炎（オウム病を除く）：2022 年の報告数は 22 人、定点当たり 0.88 人であった。前年比（定点当たり）は 1.29 であった。

感染性胃腸炎（ロタウイルスによる）：2022 年の報告数は 4 人、定点当たり 0.16 人であった。前年比（定点当たり）は 1.00 であった。

インフルエンザ入院：2022 年の報告数は 26 人、定点当たり 1.04 人であった。前年比（定点当たり）は 13.0 であった。

エ 基幹定点における月報告疾患

メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症：2022 年の報告数は 731 人、定点当たり 29.24 人であった。前年比（定点当たり）は 0.90 であった。

ペニシリン耐性肺炎球菌感染症：2022 年の報告数は 40 人、定点当たり 1.60 人であった。前年比（定点当たり）は 0.95 であった。

薬剤耐性緑膿菌感染症：2022 年の報告数は 8 人、定点当たり 0.32 人であった。前年比（定点当たり）は 1.60 であった。

オ 性感染症

2022 年の定点当たり報告数は、性器ヘルペスウイルス感染症を除く 4 疾患で、前年と比較してわずかに増加した。

性器クラミジア感染症：2022 年の報告数は 2,261 人（定点当たり 41.78 人）で、前年比は 1.03 であった。男性の報告数は 1,330 人（前年比 1.00）、女性は 931 人（前年比 1.06）であった。

性器ヘルペスウイルス感染症：2022 年の報告数は 679 人（定点当たり 12.54 人）で、前年比は 0.95 であった。男性の報告数は 374 人（前年比 0.94）、女性は 305 人（前年比 0.97）であった。

尖圭コンジローマ：2022 年の報告数は 1,157 人（定点当たり 21.42 人）で、前年比は 1.11 であった。男性の報告数は 743 人（前年比 1.15）、女性は 414 人（前年比 1.04）であった。

淋菌感染症：2022 年の報告数は 1,041 人（定点当たり 19.26 人）で、前年比は 1.03 であった。男性の報告数は 745 人（前年比 0.99）、女性は 296 人（前年比 1.16）であった。

膣トリコモナス症：2022 年の報告数は 103 人（定点当たり 1.90 人）で、前年比は 1.09 であった。男性の報告数は 1 人（前年比 1.00）、女性は 102 人（前年比 1.09）であった。

（3）疑似症

4 件の報告があった。

表2-1(1) 東京都感染症発生動向調査年別患者報告数

(一～四類、五類全数等)

		2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年
一類	エボラ出血熱	-	-	-	-	-	-	-
	クリミア・コンゴ出血熱	-	-	-	-	-	-	-
	痘そう	-	-	-	-	-	-	-
	南米出血熱	-	-	-	-	-	-	-
	ペスト	-	-	-	-	-	-	-
	マールブルグ病	-	-	-	-	-	-	-
	ラッサ熱	-	-	-	-	-	-	-
二類	急性灰白髄炎	-	-	-	-	-	-	-
	結核	2,340	2,213	1,970	1,810	1,589	1,429	集計中
	ジフテリア	-	-	-	-	-	-	-
	重症急性呼吸器症候群	-	-	-	-	-	-	-
	中東呼吸器症候群 *9	-	-	-	-	-	-	-
	鳥インフルエンザ(H5N1) *1	-	-	-	-	-	-	-
	鳥インフルエンザ(H7N9) *6	-	-	-	-	-	-	-
三類	コレラ	2	2	-	2	-	-	1
	細菌性赤痢	40	34	109	27	11	2	2
	腸管出血性大腸菌感染症	452	467	466	388	332	329	356
	腸チフス	18	8	11	3	2	1	6
	パラチフス	8	6	10	4	1	-	4
	E型肝炎	37	57	101	128	118	113	131
四類	ウエストナイル熱	-	-	-	-	-	-	-
	A型肝炎	65	65	421	143	24	14	6
	エキノコックス症	-	1	-	-	-	1	3
	黄熱	-	-	-	-	-	-	-
	オウム病	2	-	2	3	1	-	4
	オムスク出血熱	-	-	-	-	-	-	-
	回帰熱	-	2	-	-	-	-	-
	キャサナル森林病	-	-	-	-	-	-	-
	Q熱	-	-	2	-	-	1	-
	狂犬病	-	-	-	-	-	-	-
	コクシジオイデス症	2	1	-	-	3	-	-
	サル痘	-	-	-	-	-	-	5
	ジカウイルス感染症 *10	3	-	-	-	-	-	-
	重症熱性血小板減少症候群 *4	-	-	-	1	-	-	1
	腎症候性出血熱	-	-	-	-	-	-	-
	西部ウマ脳炎	-	-	-	-	-	-	-
	ダニ媒介脳炎	-	-	-	-	-	-	-
	炭疽	-	-	-	-	-	-	-
	チクングニア熱 *2	4	3	-	11	-	-	1
	つつが虫病	7	13	12	12	21	12	14
	デング熱	90	65	61	130	13	-	26
	東部ウマ脳炎	-	-	-	-	-	-	-
	鳥インフルエンザ(H5N1及びH7N9を除く)	-	-	-	-	-	-	-
	ニパウイルス感染症	-	-	-	-	-	-	-
	日本紅斑熱	-	1	-	-	-	4	-
	日本脳炎	-	-	-	-	-	-	-
	ハンタウイルス肺症候群	-	-	-	-	-	-	-
Bウイルス病	-	-	-	-	-	-	-	
鼻疽	-	-	-	-	-	-	-	
ブルセラ症	1	-	-	1	-	-	-	
ベネズエラウマ脳炎	-	-	-	-	-	-	-	
ヘンドラウイルス感染症	-	-	-	-	-	-	-	
発しんチフス	-	-	-	-	-	-	-	
ボツリヌス症	1	2	1	-	1	1	1	

		2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年
四 類	マラリア	18	27	14	22	6	11	9
	野兔病	-	-	-	-	-	-	-
	ライム病	-	1	1	1	1	-	2
	リッサウイルス感染症	-	-	-	-	-	-	-
	リフトバレー熱	-	-	-	-	-	-	-
	類鼻疽	-	1	1	-	1	-	-
	レジオネラ症	143	159	164	187	148	163	120
	レプトスピラ症	7	9	5	9	2	3	5
ロッキー山紅斑熱	-	-	-	-	-	-	-	
五 類 (全 数 届 出)	アメーバ赤痢	222	219	163	155	116	97	117
	ウイルス性肝炎(A型・E型を除く)	69	67	69	98	60	49	35
	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症*7	190	212	233	237	171	210	208
	急性弛緩性麻痺(急性灰白髄炎を除く)*12			8	7	4	2	4
	急性脳炎	85	74	65	81	31	26	28
	クリプトスポリジウム症	2	2	3	4	-	-	2
	クロイツフェルト・ヤコブ病	16	19	25	19	17	12	18
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	65	72	87	126	101	85	107
	後天性免疫不全症候群	464	464	422	406	383	357	288
	ジアルジア症	17	24	19	12	8	8	12
	侵襲性インフルエンザ菌感染症*5	46	56	40	85	23	20	19
	侵襲性髄膜炎菌感染症*5	5	3	6	5	2	-	1
	侵襲性肺炎球菌感染症*5	356	390	401	382	163	128	141
	水痘(入院例)*7	56	55	61	80	50	32	49
	先天性風しん症候群	-	-	-	2	-	-	-
	梅毒	1,673	1,788	1,775	1,712	1,579	2,451	3,677
	播種性クリプトコックス症*7	20	15	18	12	18	14	15
	破傷風	4	9	8	8	8	4	6
	バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症	-	-	-	-	-	-	-
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	2	8	7	8	8	12	8
百日咳*11			2,434	1,340	262	69	55	
風しん*3	19	22	947	860	29	2	4	
麻しん*3	22	28	23	124	2	-	-	
薬剤耐性アシネトバクター感染症*8	1	6	4	2	-	1	2	
新型#	新型コロナウイルス感染症*13					68,506	295,833	3,369,318

*1 2008年5月12日より追加指定。

*2 2011年2月1日より追加指定。

*3 2008年1月1日より五類(定点把握対象)から五類(全数把握対象)に変更。

*4 2013年3月4日より追加指定。

*5 2013年4月1日より髄膜炎菌性髄膜炎に替わり指定。

*6 2013年4月26日より指定感染症に定められた後、2015年1月21日より二類感染症に変更。

*7 2014年9月19日より追加指定。

*8 2011年2月1日より五類(定点把握対象)に追加指定、2014年9月19日に五類(全数把握対象)に変更。

*9 2014年7月26日より指定感染症に定められた後、2015年1月21日より二類感染症に変更。

病原体がベータコロナウイルス属MERSコロナウイルスであるものに限る。

*10 2016年2月15日より追加指定。

*11 2018年1月1日より五類(定点把握対象)から五類(全数把握対象)に変更。

*12 2018年5月1日より追加指定。

*13 2020年2月1日より指定感染症に追加指定、2021年2月13日より新型インフルエンザ等感染症に変更。

新型インフルエンザ等感染症

表2-1(2) 東京都感染症発生動向調査年別患畜報告数(全数動物)

	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年
エボラ出血熱のサル	-	-	-	-	-	-	-
マールブルグ病のサル	-	-	-	-	-	-	-
ペストのプレーリードッグ	-	-	-	-	-	-	-
重症急性呼吸器症候群のイタチアナグマ	-	-	-	-	-	-	-
重症急性呼吸器症候群のタヌキ	-	-	-	-	-	-	-
重症急性呼吸器症候群のハクビシン	-	-	-	-	-	-	-
結核のサル	-	-	-	-	-	-	-
中東呼吸器症候群のヒトコブラクダ*1	-	-	-	-	-	-	-

	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年
鳥インフルエンザ(H5N1又はH7N9)の鳥類	-	-	-	-	-	-	-
細菌性赤痢のサル	-	-	-	-	-	-	-
ウエストナイル熱の鳥類	-	-	-	-	-	-	-
エキノコックス症の犬	-	-	-	-	-	-	-

*1 2014年7月26日より追加指定

表2-2 東京都感染症発生動向調査年別患者報告数
(インフルエンザ定点・小児科定点)

上段:年間報告数
下段:定点当たり

	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年
小児科定点数	264	264	264	264	264	264	264	264	264	264
インフルエンザ定点数	419	419	419	419	419	419	419	419	419	419
インフルエンザ	75,328 181.11	152,421 367.55	59,435 145.11	125,207 302.31	129,813 314.14	137,262 331.57	148,861 361.04	33,424 81.86	43 0.11	3,318 8.25
RSウイルス感染症*1	6,058 23.48	6,183 23.70	7,197 27.82	7,021 27.06	8,838 34.47	7,830 30.49	8,682 34.00	570 2.20	16,189 62.94	7,564 29.40
咽頭結膜熱	6,184 23.89	5,607 21.54	5,385 20.77	5,026 19.38	7,322 28.21	4,671 17.96	4,405 17.04	1,506 5.84	1,596 6.19	1,420 5.52
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	24,801 95.29	27,581 105.60	35,039 134.57	31,211 120.13	30,664 117.71	32,120 123.25	29,223 112.95	13,314 51.33	4,014 15.58	2,094 8.14
感染性胃腸炎	102,987 395.81	84,091 322.84	91,052 350.13	110,239 423.72	84,981 326.63	79,282 304.52	77,421 299.71	40,036 154.79	45,400 176.04	63,709 248.04
水痘	11,452 44.22	10,314 39.69	6,765 26.04	5,541 21.34	5,135 19.73	4,515 17.35	5,739 22.25	2,591 10.05	1,287 4.99	990 3.85
手足口病	29,320 114.72	6,089 23.44	32,599 126.39	6,993 26.97	33,056 129.10	8,452 32.65	34,136 132.46	1,020 3.98	2,542 9.82	16,911 65.92
伝染性紅斑	1,608 6.19	5,069 19.44	10,174 39.08	2,485 9.57	1,311 5.04	10,733 41.36	6,071 23.60	465 1.80	265 1.03	174 0.68
突発性発しん	8,299 32.00	8,120 31.18	7,816 30.10	7,231 27.87	7,056 27.13	6,771 26.05	5,872 22.77	5,610 21.76	5,291 20.53	3,889 15.13
百日咳*2	91 0.35	158 0.61	300 1.15	181 0.70	113 0.44					
ヘルパンギーナ	8,480 33.06	15,874 61.25	7,200 27.91	13,094 50.69	6,812 26.54	8,188 32.01	10,341 40.26	674 2.61	2,595 10.03	4,423 17.23
流行性耳下腺炎	2,549 9.83	3,003 11.57	4,883 18.83	8,526 32.88	2,903 11.16	1,246 4.79	994 3.85	688 2.67	651 2.53	487 1.89
不明発しん症*3	1,094 4.24	1,158 4.45	1,312 5.06	983 3.79	1,101 4.25	1,073 4.14	817 3.17	492 1.91	443 1.72	360 1.40
川崎病*3	221 0.85	180 0.69	199 0.77	208 0.80	205 0.79	214 0.82	150 0.58	131 0.51	168 0.65	93 0.36

*1 2003年45週より実施

*2 2018年1月1日から全数把握対象疾患

*3 東京都独自疾患

表2-3 東京都感染症発生動向調査年別患者報告数
(眼科定点)

上段:年間報告数
下段:定点当たり

	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年
定点数	39	39	39	39	39	39	39	39	39	39
急性出血性結膜炎	17 0.45	13 0.34	14 0.36	11 0.28	12 0.31	14 0.37	11 0.29	11 0.29	2 0.05	3 0.08
流行性角結膜炎	891 23.68	913 23.79	1,256 32.49	1,201 31.03	1,219 31.48	1,060 28.22	649 17.35	363 9.62	284 7.51	311 8.21

表2-4 東京都感染症発生動向調査年別患者報告数
(基幹定点週報告分)

上段:年間報告数
下段:定点当たり

	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年
定点数	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25
細菌性髄膜炎	48 1.93	22 0.88	38 1.52	33 1.32	41 1.64	32 1.28	39 1.57	25 1.00	24 0.96	17 0.68
無菌性髄膜炎	126 5.06	102 4.09	73 2.92	77 3.08	39 1.56	33 1.32	48 1.93	32 1.28	25 1.01	18 0.72
マイコプラズマ肺炎	514 20.66	234 9.37	770 30.85	1,047 41.88	237 9.48	230 9.20	349 14.02	169 6.79	19 0.76	7 0.28
クラミジア肺炎 (オウム病を除く)	40 1.60	21 0.84	59 2.36	50 2.00	46 1.84	40 1.60	39 1.56	25 1.01	17 0.68	22 0.88
感染性胃腸炎 ^{*1} (ロタウイルスによる)	22 0.88	134 5.36	99 3.96	108 4.32	235 9.40	110 4.40	188 7.53	8 0.32	4 0.16	4 0.16
インフルエンザ入院 ^{*2}	518 20.89	735 29.40	486 19.44	649 25.96	902 36.08	1,113 44.52	1,511 60.49	357 14.28	2 0.08	26 1.04

*1 2013年42週より実施

*2 2011年36週より実施

表2-5 東京都感染症発生動向調査年別患者報告数
(基幹定点月報告分)

上段:年間報告数
下段:定点当たり

	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年
定点数	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25
メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	918 37.26	908 36.44	877 35.21	867 34.68	881 35.24	804 32.16	894 35.76	823 32.92	814 32.56	731 29.24
ペニシリン耐性肺炎球菌感染症	467 18.94	186 7.47	158 6.36	138 5.52	105 4.20	102 4.08	96 3.84	22 0.88	42 1.68	40 1.60
薬剤耐性緑膿菌感染症	32 1.29	21 0.84	28 1.12	22 0.88	3 0.12	9 0.36	8 0.32	7 0.28	5 0.20	8 0.32
薬剤耐性アシネト* バクター感染症	0 0.00	0 0.00								

* 2011年2月より2014年9月18日まで実施。

表2-6 東京都感染症発生動向調査年別患者報告数
(性感染症定点)

上段:年間報告数
下段:定点当たり

	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年
定点数	55	55	55	55	55	55	55	55	55	55
性器クラミジア感染症	2,286 42.46	2,427 44.90	2,678 49.09	2,712 49.39	2,294 41.77	2,551 46.46	2,767 50.93	2,116 39.31	2,225 40.69	2,261 41.78
性器ヘルペスウイルス感染症	1,216 22.60	1,298 24.00	1,329 24.36	1,400 25.49	1,279 23.29	1,037 18.88	977 17.98	663 12.31	718 13.14	679 12.54
尖圭コンジローマ	959 17.84	986 18.22	1,237 22.68	1,321 24.06	1,021 18.58	1,051 19.14	1,564 28.81	956 17.72	1,056 19.31	1,157 21.42
淋菌感染症	1,070 19.87	1,259 23.31	1,394 25.55	1,528 27.82	1,109 20.20	1,104 20.11	1,185 21.81	876 16.25	1,018 18.62	1,041 19.26
膺トリコモナス症*	113 2.10	127 2.36	151 2.77	117 2.13	110 2.00	128 2.33	118 2.17	100 1.86	95 1.74	103 1.90
梅毒様疾患*	136 2.53	135 2.50	221 4.05							

* 東京都独自疾患、梅毒様疾患は2015年末で終了

3 各疾患の動向

(1) 一～四類、五類感染症（全数把握対象）等

ア 一類感染症

一類感染症（エボラ出血熱、クリミア・コンゴ出血熱、痘そう、南米出血熱、ペスト、マールブルグ病、ラッサ熱）は届出がなかった。

イ 二類感染症

① 結核

結核の発生動向は別途、「東京都における結核の概況」で報告する。

② その他の二類感染症

急性灰白髄炎、ジフテリア、重症急性呼吸器症候群、中東呼吸器症候群、鳥インフルエンザ（H5N1）、鳥インフルエンザ（H7N9）は届出がなかった。

ウ 三類感染症

① コレラ

2022年は1件の届出があった。性別は男性1人で、年齢階級別は40～49歳であった。血清型はO1、抗原型、生物型ともに不明であった。推定感染地域はインドであった。推定感染経路は経口感染（生野菜喫食）であった。

② 細菌性赤痢

2022年は2件の届出があった。菌種は*flexneri* 1件、*sonnei* 1件であった。性別は男性1人、女性1人で、年齢階級別では20～29歳1人、80歳以上1人であった。推定感染地は国内1件、国外1件（インド）であった。推定感染経路は全て経口感染であった。

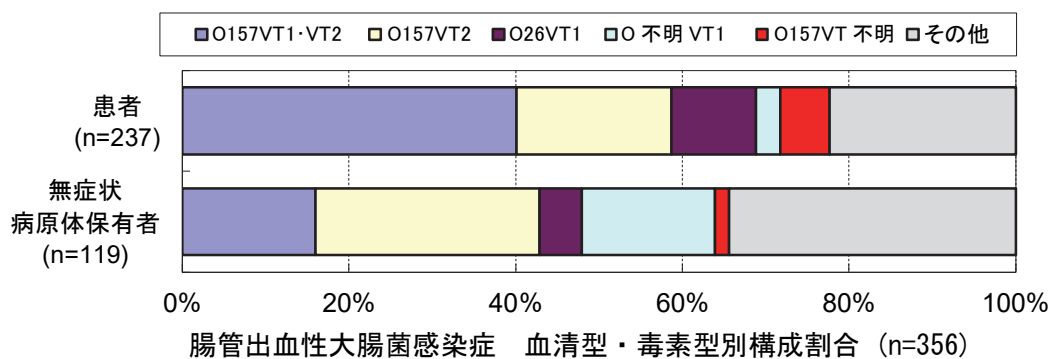
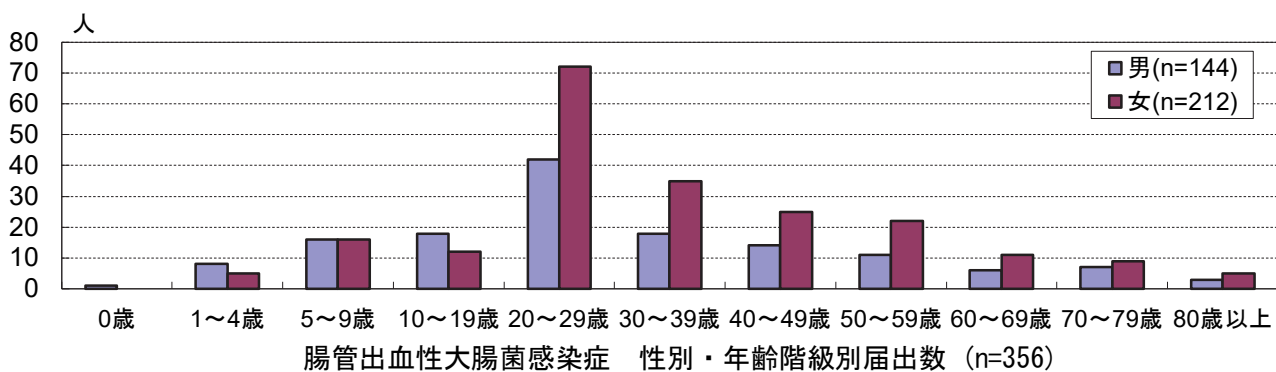
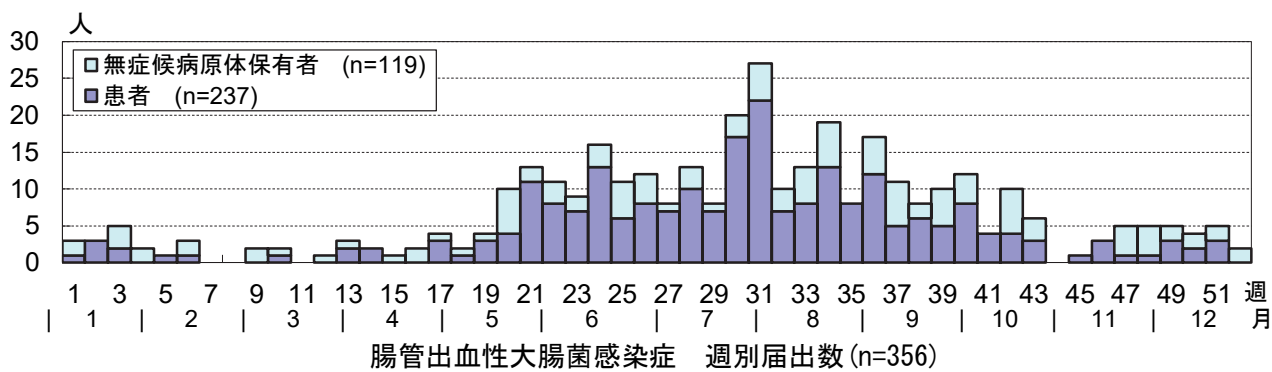
③ 腸管出血性大腸菌感染症

2022年は356件の届出があった。症状別では患者237人、無症状病原体保有者119人であった。届出はほぼ1年を通して見られたが、特に夏季に増加した。性別は男性144人、女性212人で、年齢階級別では10歳未満46人（うち5歳未満14人）、10～19歳30人、20～29歳114人、30～39歳53人、40～49歳39人、50～59歳33人、60～69歳17人、70～79歳16人、80歳以上8人であった。血清型・毒素型はO157 VT1・VT2が118件で最多であった。

推定感染地は国内282件、国外2件（全て韓国）、不明72件であった。

症例の集積は、第31週に同居家族4人が認められた。

溶血性尿毒症症候群（HUS）と判明しているものは10人おり、10歳未満5人（うち5歳未満3人）、10～19歳1人、20～29歳3人、30～39歳1人であった。



腸管出血性大腸菌感染症 血清型・毒素型別届出数 (n=360)

血清型	毒素型	人数	血清型	毒素型	人数
O1	不明	1	O111	VT1・VT2	4
O8	VT2	2	O115	VT1	1
O19	VT2	1	O128	VT2	1
	VT1	32	O145	VT1・VT2	1
O26	VT2	10		VT1	6
	不明	2		VT2	76
O63	VT2	1	O157	VT1・VT2	118
O78	VT1・VT2	1		不明	16
O91	VT1	3	O165	VT1・VT2	3
	VT2	3	O168	VT2	1
	VT1	16		VT1	26
O103	VT2	1		VT2	13
	不明	1	不明	VT1・VT2	10
O111	VT1	2		不明	6
	VT2	1			

4名の感染者で複数の血清型が検出されたため、本表の総数は検出された血清型の延べ数とする。

溶血性尿毒症症候群（HUS）発症例（n=10）

受理日	性別	年齢	血清型・毒素型	推定感染地	推定感染経路等
2/2	男	2	O157 毒素型不明	国内	不明
3/31	女	22	血清型・毒素型不明	国内	不明
6/18	女	20	O157 毒素型不明	国内	不明
8/1	男	1	O157 VT1VT2	国内	不明
8/3	女	31	血清型・毒素型不明	国内	経口感染（家庭で茹でた鶏肉摂取）
8/18	女	21	O157 VT1VT2	不明	経口感染（生食不明）
8/22	女	5	O157 毒素型不明	国内	経口感染（焼肉、野菜サラダ摂取）
9/27	男	3	O157 VT1VT2	国内	不明
10/6	男	13	血清型・毒素型不明	国内	経口感染（焼肉摂取）
10/19	男	9	血清型・毒素型不明	国内	経口感染（寿司など摂取）

④ 腸チフス

2022 年は 6 件の届出があった。性別は男性 2 人、女性 4 人で、年齢階級別では 10 歳未満 2 人（うち 5 歳未満 1 人）、10～19 歳 1 人、20～29 歳 2 人、40～49 歳 1 人であった。

ファージ型は E1 型、E9 型各 2 件、DVS 型、UVS4 型各 1 件であった。推定感染地は国外 5 件（インド 2 件、ネパール、バングラデシュ、ベトナム各 1 件）、不明 1 件であった。

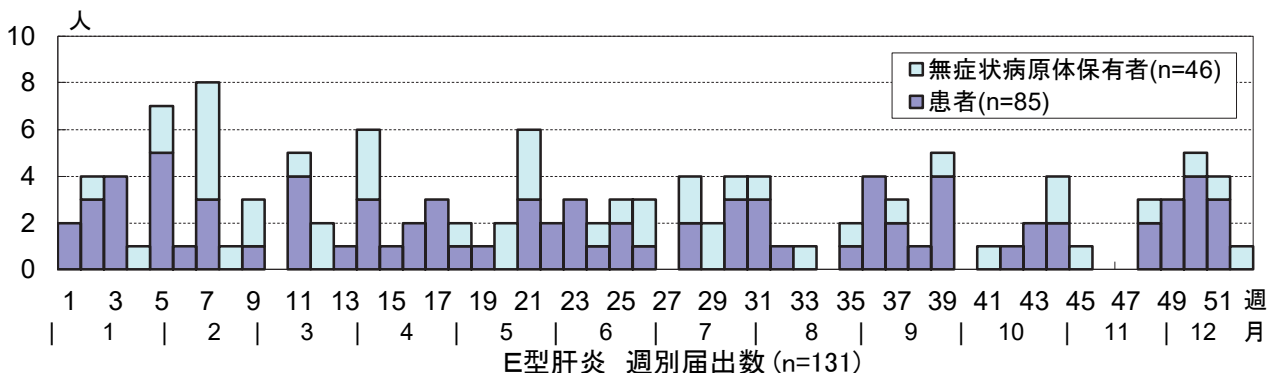
⑤ パラチフス

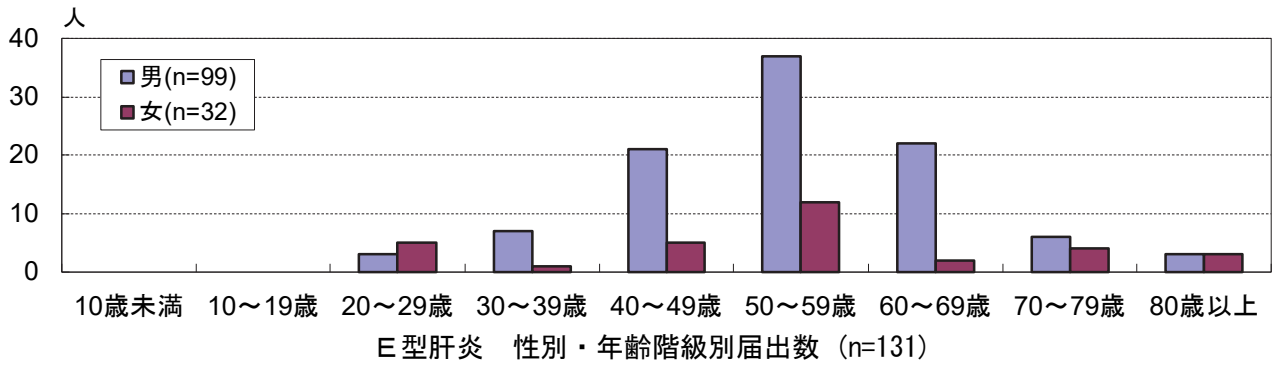
2022 年は 4 件の届出があった。性別は男性 2 人、女性 2 人で、年齢階級別では 5～9 歳 1 人、30～39 歳 2 人、50～59 歳 1 人であった。症例は 30 歳代の男性で、ファージ型は UT 型、1 型各 2 件であった。推定感染地は全て国外（インド）であった。

エ 四類感染症

① E 型肝炎

2022 年は 131 件の届出があった。性別は男性 99 人、女性 32 人、類型は患者 85 人、無症状病原体保有者 46 人、年齢階級別では 20～29 歳 8 人、30～39 歳 8 人、40～49 歳 26 人、50～59 歳 49 人、60～69 歳 24 人、70～79 歳 10 人、80 歳以上 6 人であった。推定感染地は国内 102 件、国外 1 件（タイ）、不明 28 件であった。推定感染経路は経口感染 65 件、不明 66 件であった。経口感染 65 件の推定原因食品は、肉類 40 件、魚介類 1 件、肉類又は魚介類 1 件、飲料 1 件、不明 22 件であった。

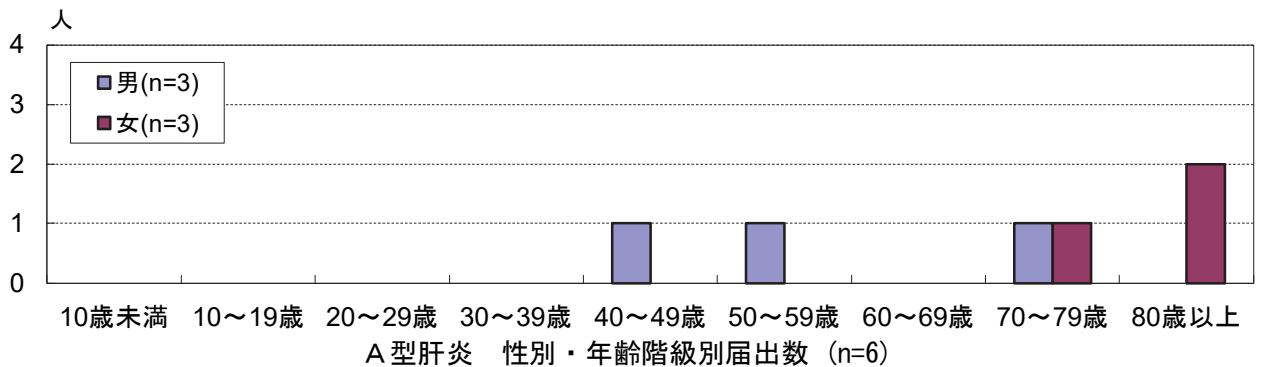
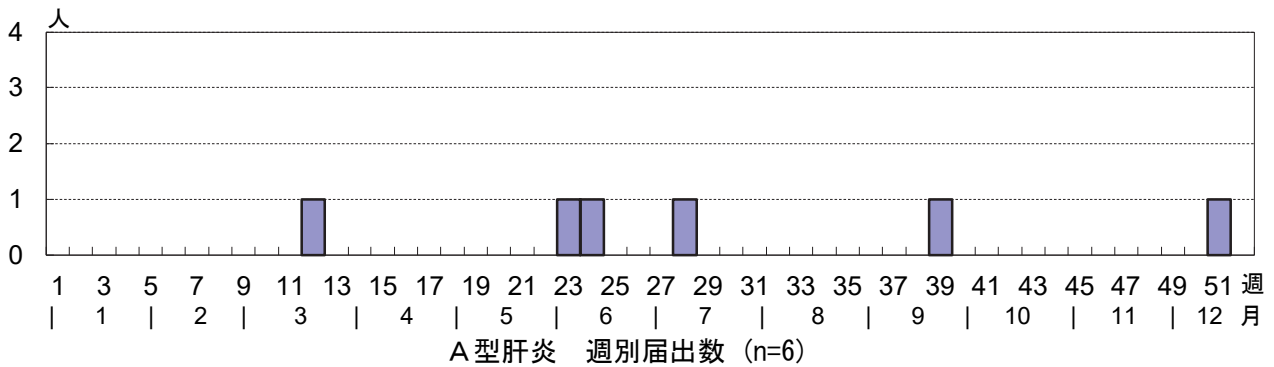




② A型肝炎

2022年は6件の届出があった。性別は男性3人、女性3人で、年齢階級別では40～49歳1人、50～59歳1人、70～79歳2人、80歳以上2人であった。

推定感染地は国内4件、不明2件であった。推定感染経路は飲食物を介した経口感染3件、不明3件であった。経口感染3件の推定原因食品は魚介類1件、生もの1件、不明1件であった。



③ エキノコックス症

2022年は3件の届出があった。性別は男性1人、女性2人で、年齢階級は20～29歳1人、30～39歳1人、60～69歳1人、であった。推定感染地は全て国内（北海道）、推定感染経路は経口感染1件、その他1件、不明1件であった。

④ オウム病

2022年は4件の届出があった。性別は男性1人、女性3人で、年齢階級は60～69歳2人、70～79歳2人であった。推定感染地は全て国内で、推定感染経路は鳥類との接触3件、不明1件であった。

⑤ サル痘

2022年は5件の届出があった。性別は全て男性で、年齢階級は30～39歳3人、40～49歳1人、60～69歳1人であった。推定感染地は国内3件、国外2件であった。推定感染原因は全て接触感染で、推定感染経路は性的接触3件、不明2件であった。

⑥ 重症熱性血小板減少症候群

2022年は1件の届出があった。性別は女性で、年齢階級別では70～79歳で死亡例であった。推定感染地は国内（岡山県）で、推定感染経路はマダニからの感染であった。

⑦ チクングニア熱

2022年は1件の届出があった。性別は女性で、年齢階級別では60～69歳であった。推定感染地は国外（インドネシア）で、推定感染経路は動物・蚊・昆虫等からの感染であった。

⑧ つつが虫病

2022年は14件の届出があった。性別は男性8人、女性6人であった。年齢階級別は20～29歳1人、30～39歳3人、40～49歳1人、50～59歳4人、60～69歳2人、70～79歳2人、80歳以上1人であった。推定感染地は全て国内で、東京都8件（多摩地区3件、島しょ地区4件、不明1件）、千葉県2件、神奈川県、長野県、宮崎県各1件、千葉県又は東京都（23区）1件であった。

つつが虫病届出例（n=14）

受理	性別	年齢	推定感染地	媒介動物との接触状況
1/4	女	31	東京都（島しょ）	山中でキョン捕獲。
1/24	男	83	東京都（島しょ）	
6/7	女	72	長野県	野山でダニに咬まれた。
10/24	男	35	宮崎県	山林等の出入り。
11/21	男	31	東京都（不明）	
11/24	女	60	東京都（島しょ）	飼い猫。
11/28	女	52	東京都（多摩）	
12/1	男	62	東京都（島しょ）	飼い猫。
12/2	男	22	千葉県	林間学校。
12/9	女	56	東京都（多摩）	溪谷の遊歩道で歩行者の誘導作業。
12/14	男	51	千葉県	左前腕に刺し口あり、虫体なし。
12/17	男	50	東京都（多摩）	外で猫を飼育。ハクビシン、アナグマが頻出。
12/19	女	49	神奈川県	
12/21	男	74	千葉県又は東京都（23区）	墓参（野生動物が頻出）、又は自宅の庭ですだちを収穫。

⑨ デング熱

2022年は26件の届出があり、病型は全てデング熱であった。性別は男性16人、女性10人、年齢階級別は10～19歳1人、20～29歳6人、30～39歳8人、40～49歳6人、50～59歳3人、60～69歳1人、70～79歳1人であった。血清型は12件報告されており、その内訳は1型5件、2型4件、3型3件であった。

推定感染地は全て国外（ネパール8件、ベトナム5件、インドネシア、インド各3件、フィリピン

ン、タイ、シンガポール、バングラデシュ各1件、タイ又はベトナム、タイ又はラオス、タイ又はネパール各1件)であった。

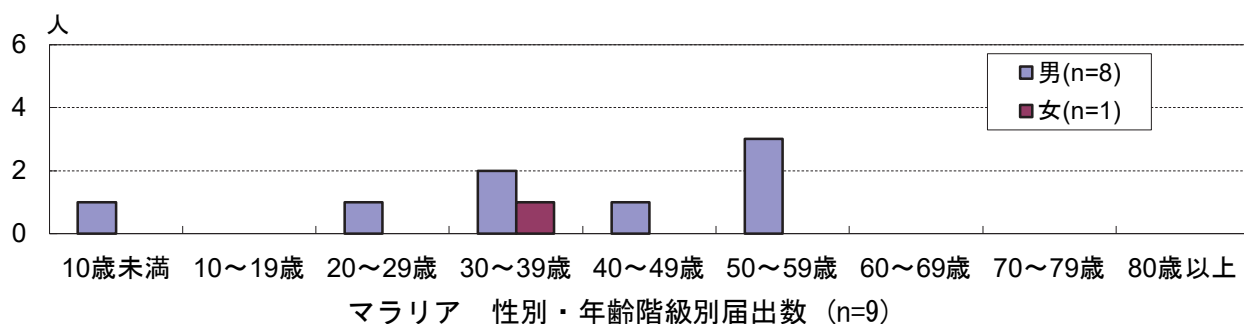
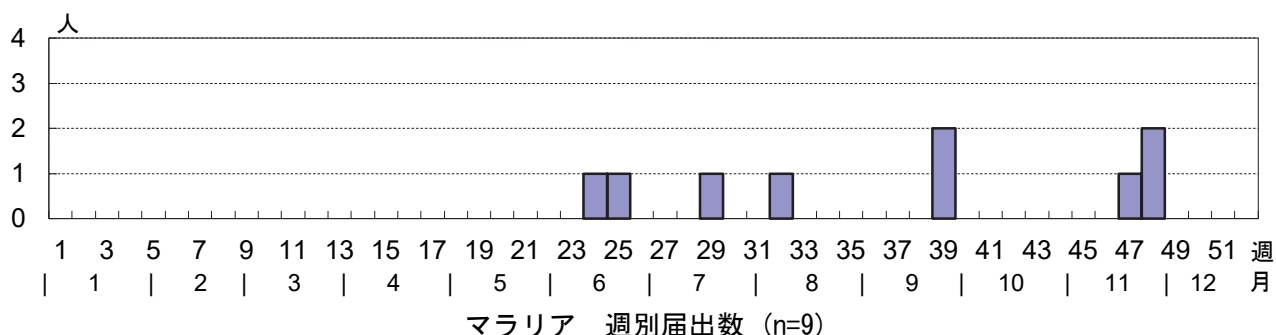
⑩ ボツリヌス症

2022年は1件の届出があった。性別は女性、年齢階級は60～69歳であった。推定感染地は国内であった。推定感染経路は経口感染(なれ寿司)で、毒素型はE型であった。

⑪ マラリア

2022年は9件の届出があった。病型は、熱帯熱マラリア7件、卵型マラリア2件であった。性別は男性8人、女性1人、年齢階級別は5歳未満1人、20～29歳1人、30～39歳3人、40～49歳1人、50～59歳3人であった。

病型別推定感染地は、熱帯熱7件はカメルーン2件、ウガンダ、タンザニア、ナイジェリア、スーダン、南スーダン各1件、卵型2件はギニア、ナイジェリア各1件であった。



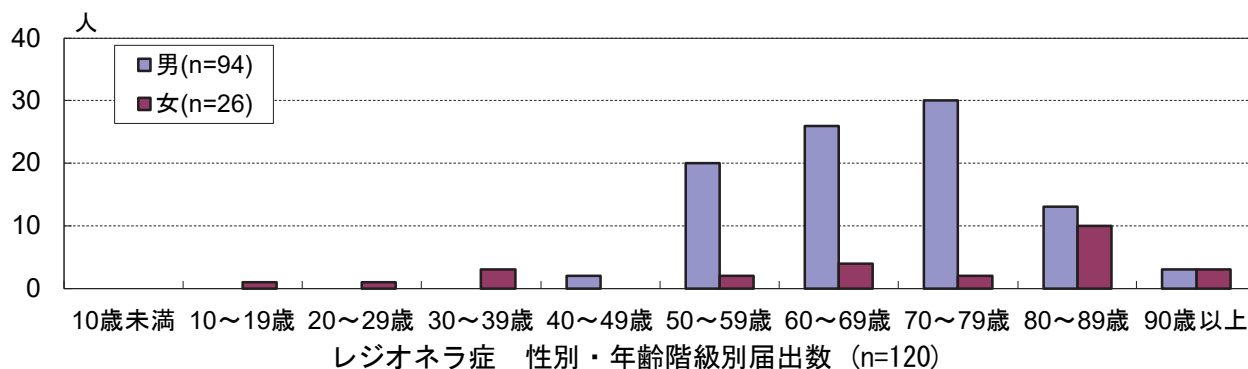
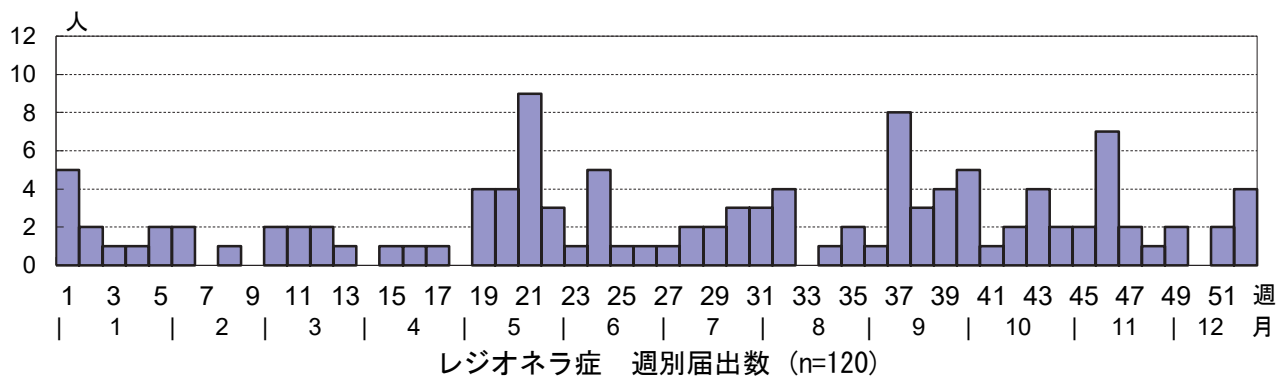
⑫ ライム病

2022年は2件の届出があった。性別は全て男性で、年齢階級別は50～59歳1人、70～79歳1人であった。推定感染地は国内1件、国外(米国)1件、推定感染経路はいずれも動物・蚊・昆虫等からの感染であった。

⑬ レジオネラ症

2022年は120件の届出があった。病型は肺炎型105件、ポンティアック熱型14件、無症状病原体保有者1件であった。死亡例は1人報告された。性別は男性94人、女性26人で、年齢階級別は10～19歳1人、20～29歳1人、30～39歳3人、40～49歳2人、50～59歳22人、60～69歳30人、70～79歳32人、80～89歳23人、90歳以上6人であった。

推定感染地は国内 105 件、国外 1 件（フィリピン）、国内又は国外 1 件（ベトナム）、不明 13 件であった。推定感染経路は、水系感染 37 件、塵埃感染 4 件、その他 3 件、水系感染又は塵埃感染 2 件、不明 74 件であった。水系感染のうち、公共浴場施設（温泉を含む）での感染と推定されたのは 22 件であった。



⑭ レプトスピラ症

2022 年は 5 件の届出があった。死亡例は 1 人報告された。性別は全て男性で、年齢階級別は 5～9 歳 1 人、40～49 歳 1 人、60～69 歳 2 人、70～79 歳 1 人であった。推定感染地は全て国内であった。

レプトスピラ症届出例 (n=5)

受理日	性別	年齢	地域	感染原因・感染経路(内容)
6/3	男	69	国内（東京都）	ネズミ
9/9	男	49	国内（沖縄県）	水系感染（カヤックで下肢に傷）
9/20	男	9	国内（沖縄県）	水系感染（川下り）
9/28	男	61	国内（東京都）	ネズミが出る工場でのゴミ仕分
12/28	男	74	国内（都道府県不明）	清掃業務

⑮ その他の四類感染症

以下の疾患は届出がなかった。

ウエストナイル熱（ウエストナイル脳炎を含む）、黄熱、オムスク出血熱、回帰熱、キャサナル森林病、Q 熱、狂犬病、コクシジオイデス症、ジカウイルス感染症、腎症候性出血熱、西部ウマ脳炎、ダニ媒介脳炎、炭疽、東部ウマ脳炎、鳥インフルエンザ（H5N1 及び H7N9 を除く）、ニパウイルス感染

症、日本紅斑熱、日本脳炎、ハンタウイルス肺症候群、B ウイルス病、鼻疽、ブルセラ症、ベネズエラウマ脳炎、ヘンドラウイルス感染症、発しんチフス、野兎病、リッサウイルス感染症、リフトバレー熱、類鼻疽、ロッキー山紅斑熱

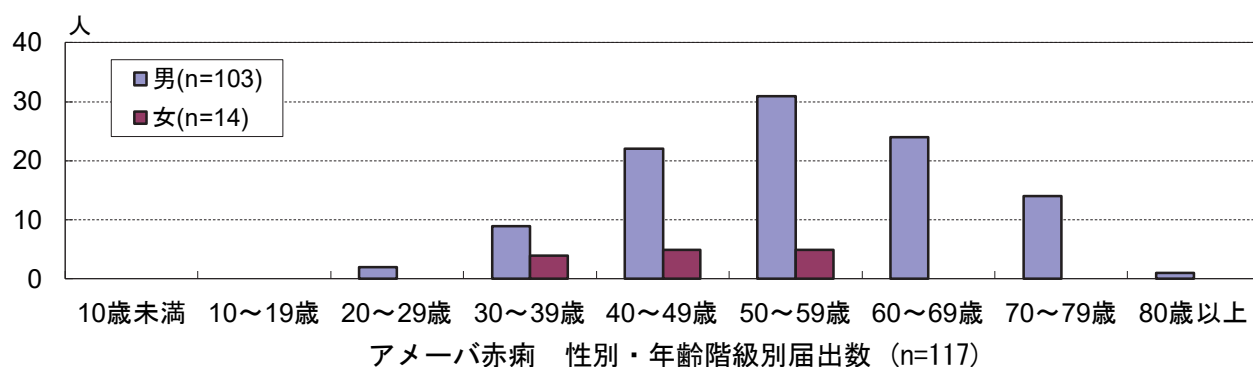
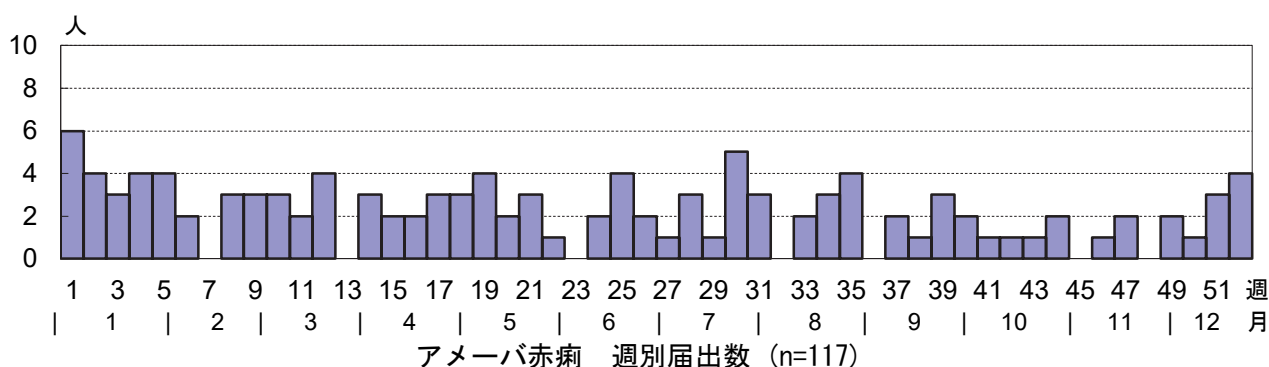
オ 五類感染症（全数把握対象）

① アメーバ赤痢

2022 年は 117 件の届出があった。腸管アメーバ症 105 件、腸管外アメーバ症 5 件、腸管及び腸管外アメーバ症 7 件であった。性別は男性 103 人、女性 14 人で、年齢階級別では 20～29 歳 2 人、30～39 歳 13 人、40～49 歳 27 人、50～59 歳 36 人、60～69 歳 24 人、70～79 歳 14 人、80 歳以上 1 人であった。

推定感染地は国内 86 件、国外 10 件（中国、香港、ベトナム、タイ、ベルギー各 1 件、タイ又はシンガポール又はグアム、タイ又はインドネシア又はウクライナ、ハワイ又はグアム各 1 件、渡航先不明 2 件）、国内又は国外（タイ又はベトナム）1 件、不明 20 件であった。

推定感染経路は性的接触 43 件（同性間 19 件、異性間 15 件、性別不明 9 件）、飲食物による経口感染 11 件、経口感染又は性的接触 2 件（異性間、性別不明各 1 件）、不明 61 件であった。



② ウイルス性肝炎（E型肝炎及びA型肝炎を除く）

2022 年は 35 件の届出があった。内訳は、B型肝炎 19 件、C型肝炎 8 件、エプスタイン・バーウイルス（以下、EBV）肝炎 5 件、サイトメガロウイルス（以下、CMV）肝炎 3 件であった。

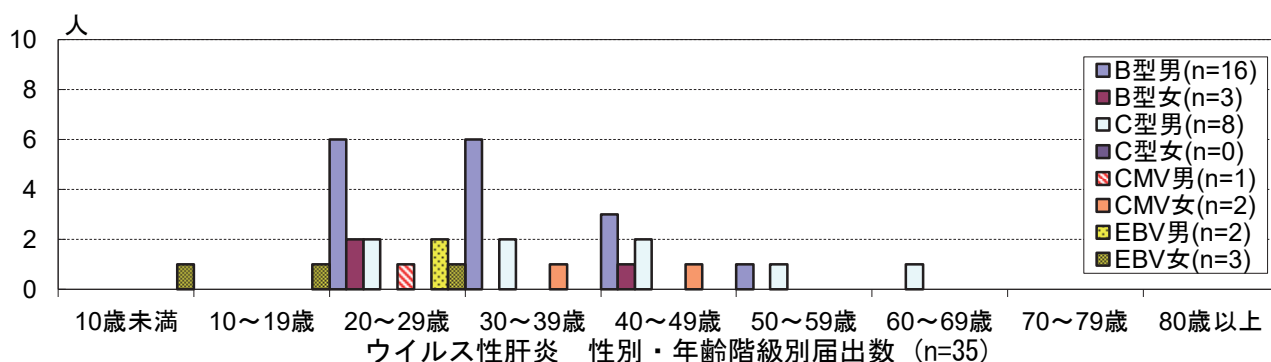
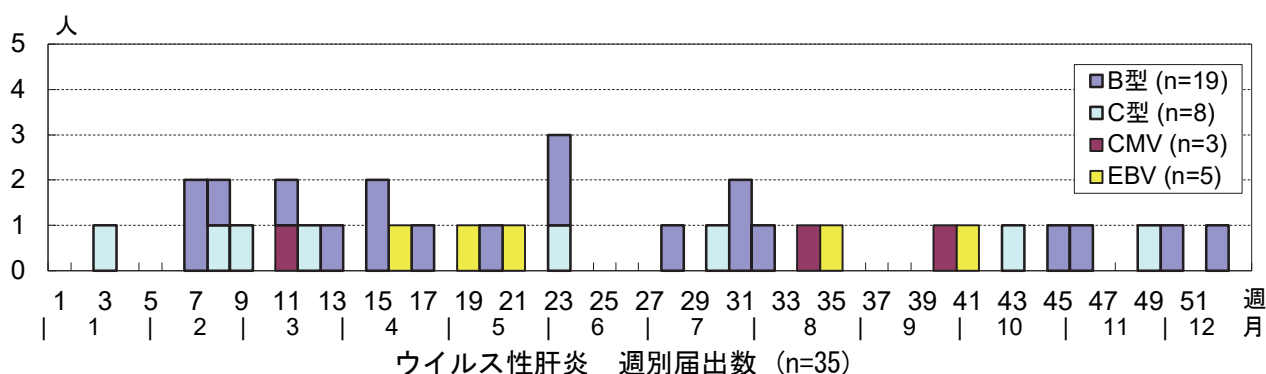
B型肝炎は 19 件の届出があった。性別は男性 16 人、女性 3 人で、年齢階級別では 20～29 歳 8 人、30～39 歳 6 人、40～49 歳 4 人、50～59 歳 1 人であった。推定感染地は全て国内、推定感染経路は性的接触 16 件（同性間 9 件、異性間 5 件、性別不明 2 件）、針等の鋭利なものの刺入又は性的接触（異性間）1 件、不明 2 件であった。

C型肝炎は 8 件の届出があった。性別は全て男性で、年齢階級別は 20～29 歳 2 人、30～39 歳 2 人、

40～49歳2人、50～59歳1人、60～69歳1人であった。推定感染地は国内7件、不明1件、推定感染経路は性的接触7件（全て同性間）、不明1件であった。

EBV肝炎は5件の届出があった。性別は男性2人、女性3人で、年齢階級は10歳未満1人、10～19歳1人、20～29歳3人であった。推定感染地は全て国内、推定感染経路はその他1件、不明4件であった。

CMV肝炎は3件の届出があった。性別は男性1人、女性2人で、年齢階級別では20～29歳、30～39歳、40～49歳各1人であった。推定感染地は全て国内、推定感染経路は性的接触（同性間）1件、不明2件であった。



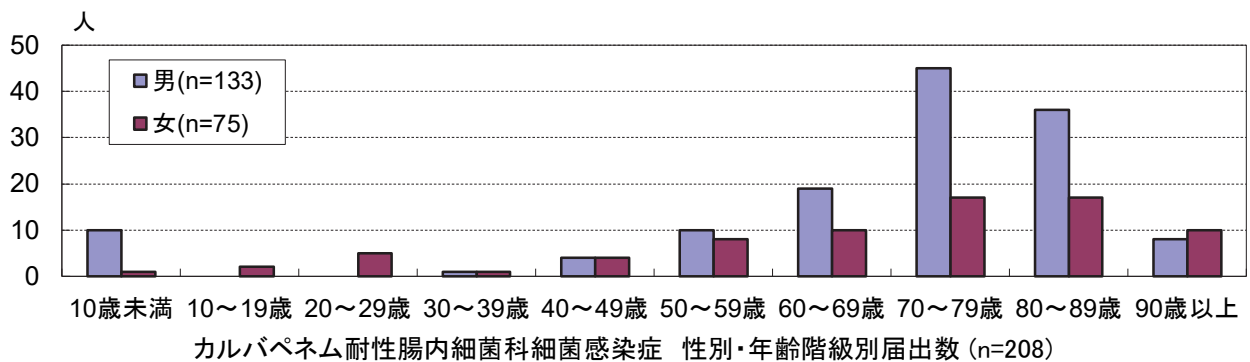
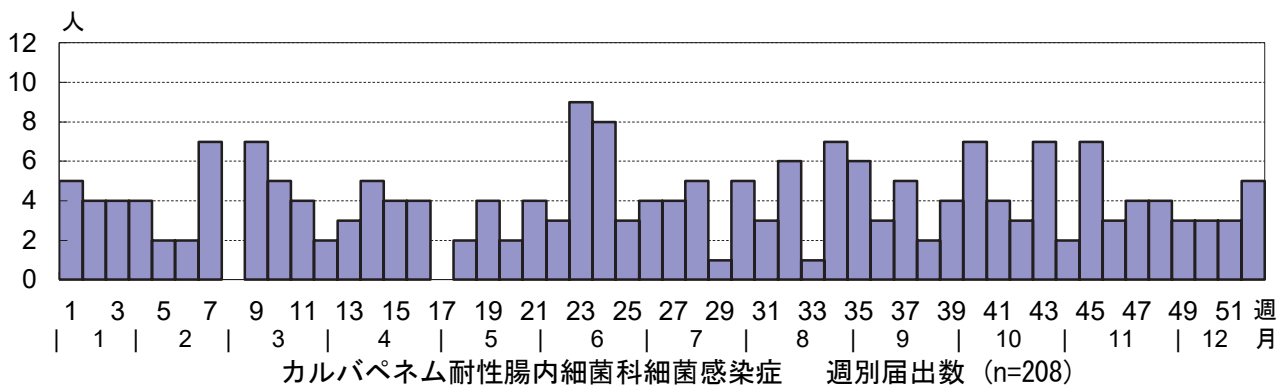
③ カルバペナム耐性腸内細菌科細菌感染症

2022年は208件の届出があった。性別は男性133人、女性75人で、年齢階級別では10歳未満11人（うち5歳未満9人）、10～19歳2人、20～29歳5人、30～39歳2人、40～49歳8人、50～59歳18人、60～69歳29人、70～79歳62人、80～89歳53人、90歳以上18人であった。死亡例は7人（50～59歳1人、60～69歳1人、70～79歳3人、80～89歳1人、90歳以上1人）報告された。

推定感染地は国内184件、国外1件（中国）、不明23件であった。

分離された菌種は、*Klebsiella aerogenes* 87件、*Enterobacter cloacae* complex 63件、*Klebsiella pneumoniae* 20件、*Serratia marcescens* 11件、*Escherichia coli* 10件、*Citrobacter freundii* complex 7件、*Enterobacter* sp. 3件、*Citrobacter braakii* 2件、*Citrobacter koseri*、*Enterobacter asburiae*、*Enterobacter bugandensis*、*Morganella morganii*、*Providencia rettgeri* 各1件であった。

Enterobacter cloacae complexに含まれる複数の菌種と *Enterobacter cloacae* は生化学的性状のような一般的な検査室での同定検査では区別できないので、集計項目のうち *Enterobacter cloacae* を廃止し、*Enterobacter cloacae* complex に含めた。



④ 急性弛緩性麻痺（急性灰白髄炎を除く。）

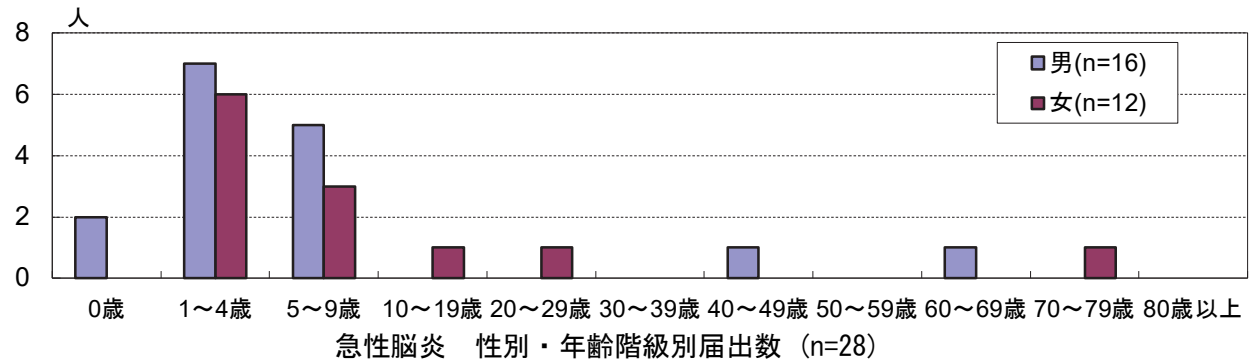
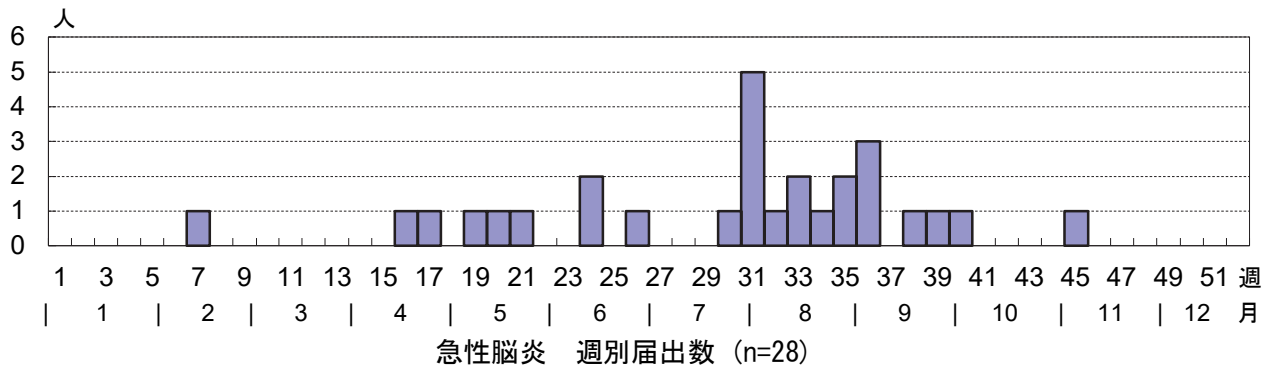
2022年は4件の届出があった。性別は男性3人、女性1人で、年齢階級別では、10歳未満3人（うち5歳未満1人）、10～19歳1人であった。推定感染地は全て国内、病原体は全てエンテロウイルスであった。ポリオワクチン接種歴は、4回2件、3回、2回各1件であった。

⑤ 急性脳炎（ウエストナイル脳炎、西部ウマ脳炎、ダニ媒介性脳炎、東部ウマ脳炎、日本脳炎、ベネズエラウマ脳炎及びリフトバレー熱を除く。）

2022年は28件の届出があった。原因と推定された病原体は、SARS-CoV-2（新型コロナウイルス）5件、ヘルペスウイルス3件（ヒトヘルペスウイルス6型、ヒトヘルペスウイルス7型、ヒトヘルペスウイルス6型及び単純ヘルペスウイルス1型各1件）、RSウイルス、エンテロウイルス、水痘・帯状疱疹ウイルス各2件、アデノウイルス、リステリア・モノサイトゲネス、トキソプラズマ各1件、RSウイルス及びライノウイルス、ライノウイルス及びパラインフルエンザウイルス1型各1件、不明9件であった。

性別は男性16人、女性12人で、年齢階級別では10歳未満23人（5歳未満15人）、10～19歳1人、20～29歳1人、40～49歳1人、60～69歳1人、70～79歳1人で、死亡例は3人報告された。

推定感染地は国内27件、不明1件であった。推定感染経路は飛沫・飛沫核感染12件、接触感染6件、その他2件、不明8件であった。



⑥ クリプトスポリジウム症

2022年は2件の届出があった。性別は全て男性で、年齢階級別は30～39歳2人であった。推定感染地は国内、国外（ウガンダ）各1件で、経口感染1件、性的接触（同性間）1件であった。

⑦ クロイツフェルト・ヤコブ病

2022年は18件の届出があった。性別は男性9人、女性9人で、年齢階級別では10～19歳1人、50～59歳1人、60～69歳6人、70～79歳8人、80歳以上2人であった。

孤発性プリオン病・古典型クロイツフェルト・ヤコブ病（以下、CJD）が14件（ほぼ確実8件、疑い6件）、孤発性プリオン病・その他が2件（疑い）、遺伝性プリオン病・家族性CJDが1件（ほぼ確実）、遺伝性プリオン病・家族性致死性不眠症（FFI）が1件（ほぼ確実）であった。

孤発性プリオン病16件の進行性認知症以外の症状は、記憶障害13件、ミオクローヌス11件、精神・知能障害10件、錐体路症状、無動性無言状態各7件、錐体外路症状、視覚異常、筋強剛各5件、小脳症状3件、臨床的に頑固な不眠2件、その他1件であった。

遺伝性プリオン病2件の症状は、精神・知能障害2件、小脳症状、記憶障害、臨床的に頑固な不眠、異常感覚、筋強剛各1件であった。

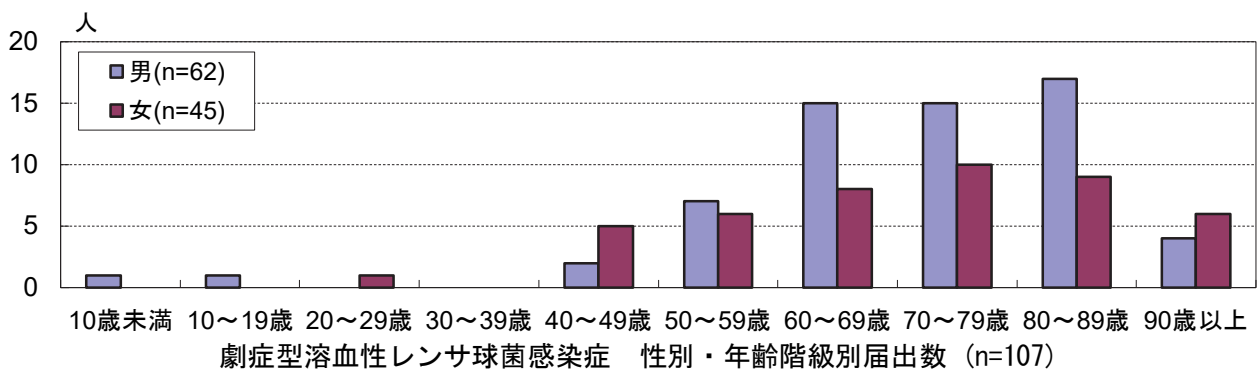
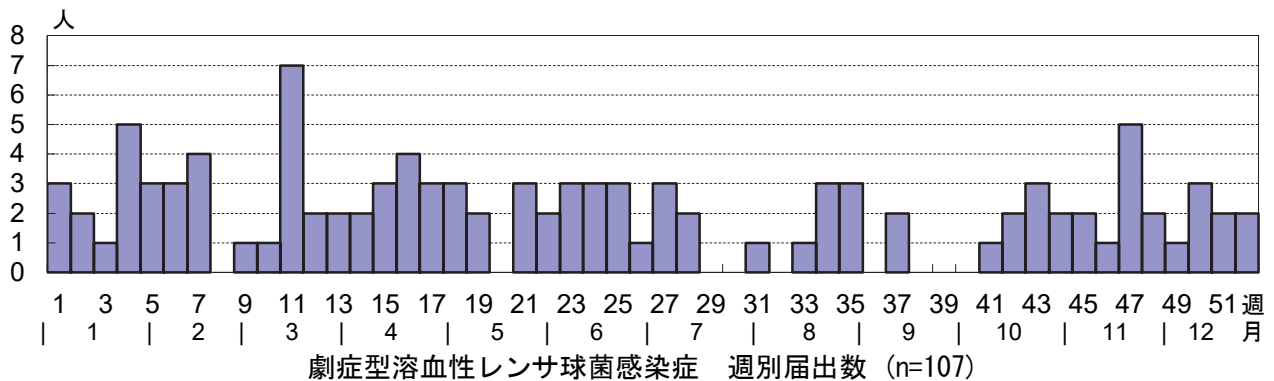
⑧ 劇症型溶血性レンサ球菌感染症

2022年は107件の届出があった。性別は男性62人、女性45人で、年齢階級別では5歳未満1人、10～19歳1人、20～29歳1人、40～49歳7人、50～59歳13人、60～69歳23人、70～79歳25人、80～89歳26人、90歳以上10人であった。死亡例は21人（5歳未満1人、50～59歳4人、60～69歳1人、70～79歳5人、80～89歳6人、90歳以上4人）報告された。

推定感染地は国内100件、国外1件（シンガポール）、不明6件であった。推定感染経路は、創傷感染36件、飛沫・飛沫核感染7件、接触感染2件、経口感染1件、接触感染又は創傷感染1件、その他5件、

不明 55 件であった。

血清群は、A 群 34 件、B 群 32 件、C 群 1 件、G 群 32 件、C 群及び G 群 2 件、不明 6 件であった。



⑨ 後天性免疫不全症候群

2022 年は 288 件の届出があり、AIDS 患者 53 人、HIV 感染者 235 人（指標疾患以外の有症状者 26 人、無症候性キャリア 209 人）であった。

AIDS 患者 53 人の内訳は全て男性で、年齢階級別では 20～29 歳 8 人、30～39 歳 20 人、40～49 歳 10 人、50～59 歳 14 人、70～79 歳 1 人であった。

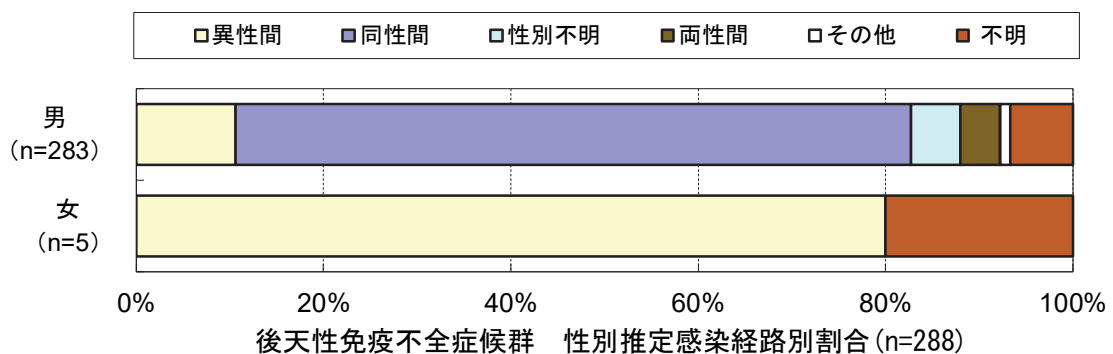
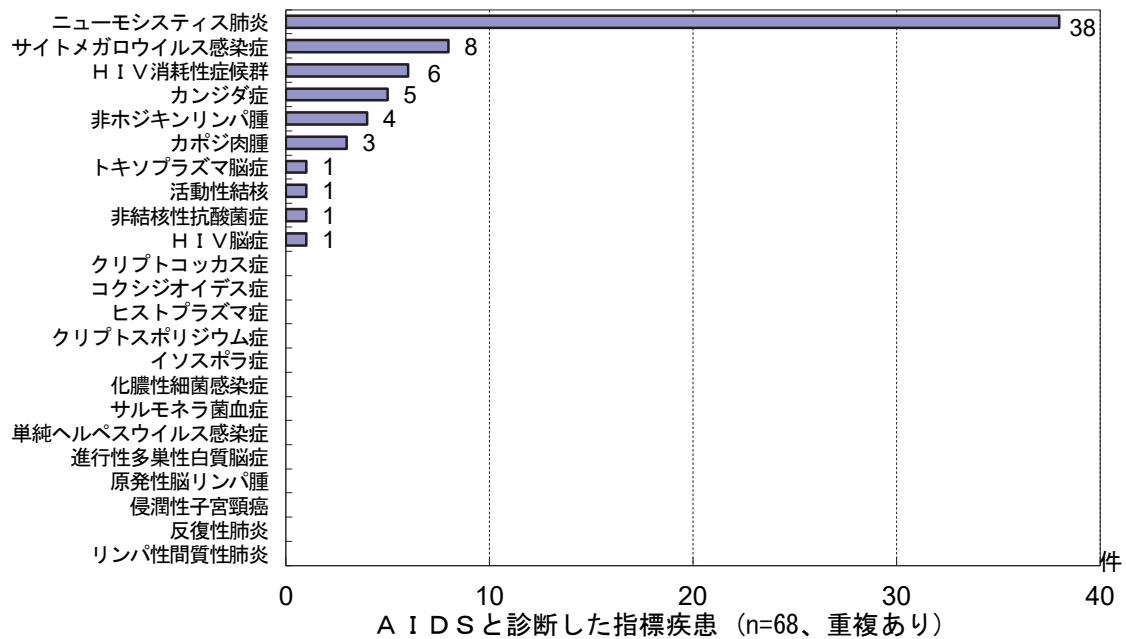
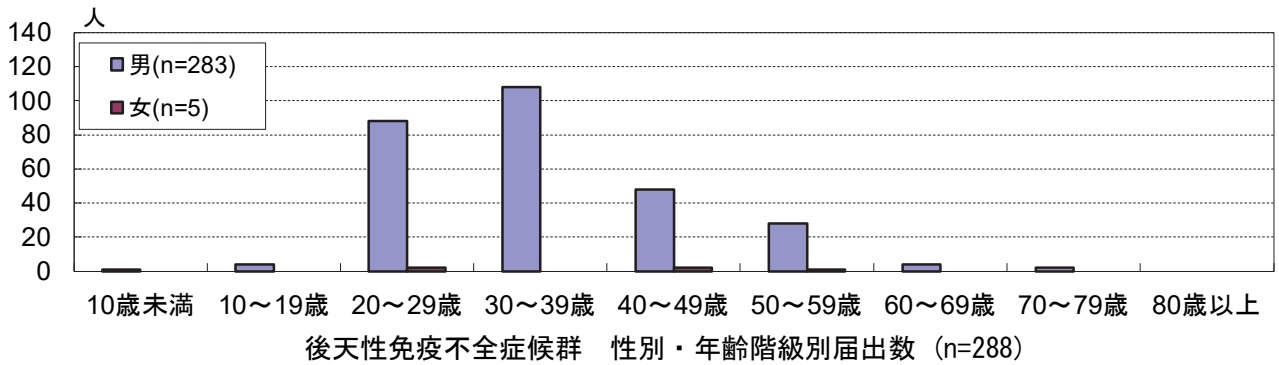
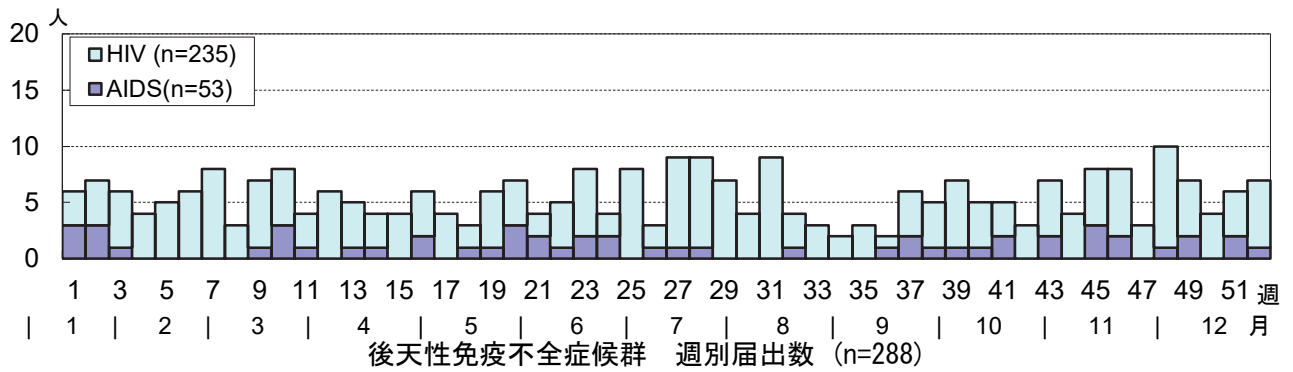
AIDS 指標疾患の患者では、ニューモシスティス肺炎（38 件）が最多で、次にサイトメガロウイルス感染症（8 件）、HIV 消耗性症候群（6 件）が多かった。

HIV 感染者のうち無症候性キャリアの 209 人の内訳は男性 205 人、女性 4 人で、年齢階級別では 5 歳未満 1 人、10～19 歳 4 人、20～29 歳 75 人、30～39 歳 81 人、40～49 歳 33 人、50～59 歳 10 人、60～69 歳 4 人、70～79 歳 1 人であった。5 歳未満 1 人は母親が HIV 感染者であった。

推定感染地は国内 245 件、国外 16 件（中国 3 件、フィリピン 2 件、台湾、カンボディア、タイ、ラオス、ミャンマー、ウガンダ、カナダ各 1 件、タイ又はバングラデシュ 1 件、その他（アフリカ北）1 件、渡航先不明 2 件）、不明 27 件であった。

届出のうち外国籍は 44 人で、AIDS 患者 5 人、HIV 感染者 39 人（指標疾患以外の有症者 2 人、無症候性キャリア 37 人）であった。

推定感染経路は性的接触 265 件（同性間 204 件、異性間 34 件、両性間 12 件、性別不明 15 件）、静注薬物使用 1 件、母子感染 1 件、同性間又は静注薬物使用 1 件、不明 20 件であった。



⑩ ジアルジア症

2022年は12件の届出があった。性別は男性8人、女性4人で、年齢階級別では5～9歳1人、20～29歳1人、30～39歳4人、40～49歳3人、60～69歳1人、70～79歳2人であった。

推定感染地は国内6件、国外6件（マリ3件、インド2件、インドネシア1件）であった。推定感染経路は経口感染4件、経口感染又は水系感染3件、性的接触3件（全て同性間）、不明2件であった。

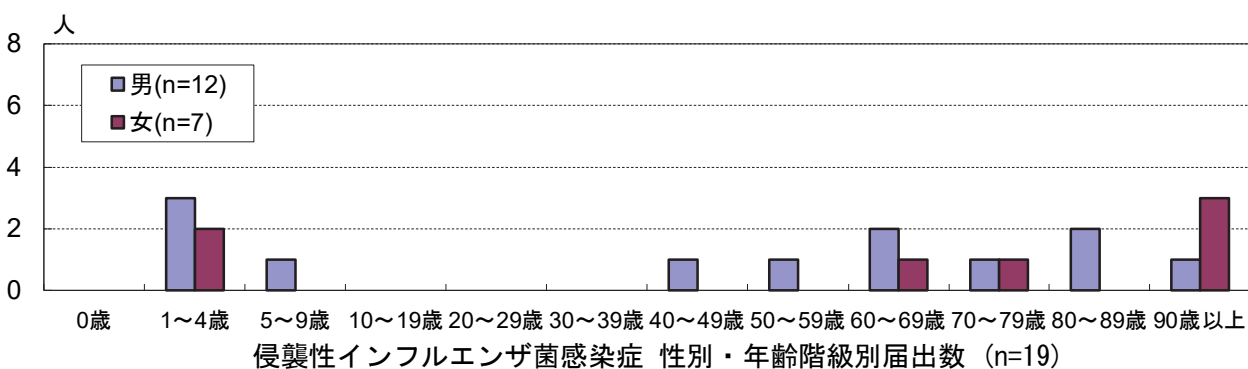
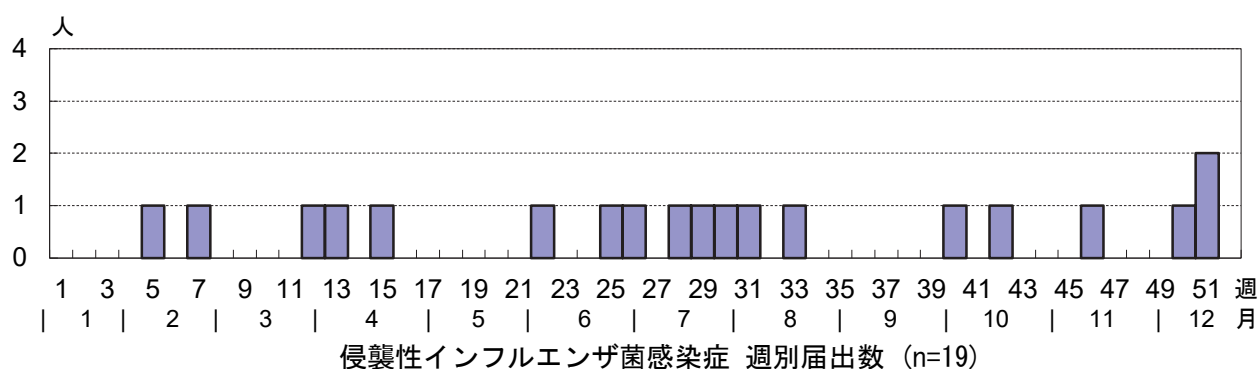
⑪ 侵襲性インフルエンザ菌感染症

2022年は19件の届出があった。性別は男性12人、女性7人で、年齢階級別では10歳未満6人（うち5歳未満5人）、40～49歳1人、50～59歳1人、60～69歳3人、70～79歳2人、80～89歳2人、90歳以上4人で、死亡例は2人（5歳未満5人、80～89歳1人）の報告があった。

血清型はf型1件、型別不能16件、検査未実施2件であった。

推定感染地は、国内14件、国外1件（ベトナム）、不明4件であった。推定感染経路は飛沫・飛沫核感染2件、不明17件であった。

Hib ワクチン接種歴は4回3件（5歳未満）、3回2件（5歳未満）、なし5件、不明9件であった。



⑫ 侵襲性髄膜炎菌感染症

2022年は1件の届出があった。性別は男性で、年齢階級別では70～79歳であった。血清型は検査未実施であった。推定感染地は国内で、推定感染経路は不明であった。ワクチン接種歴は不明であった。

⑬ 侵襲性肺炎球菌感染症

2022年は141件の届出があった。性別は男性87人、女性54人であった。年齢階級別では5歳未満28人（0歳6人、1～4歳22人）、10～19歳1人、20～29歳1人、30～39歳4人、40～49歳11人、50～59歳11人、60～69歳18人、70～79歳36人、80～89歳26人、90歳以上5人で、死亡例は10人報告

された。推定感染地は国内 123 件、不明 18 件であった。推定感染経路は飛沫・飛沫核感染 38 件、接触感染 2 件、その他 6 件、飛沫・飛沫核感染又は接触感染 1 件、不明 94 件であった。

ワクチン接種歴は 4 回 18 件、3 回 10 件、2 回 3 件、1 回 5 件、なし 40 件、不明 65 件であった。

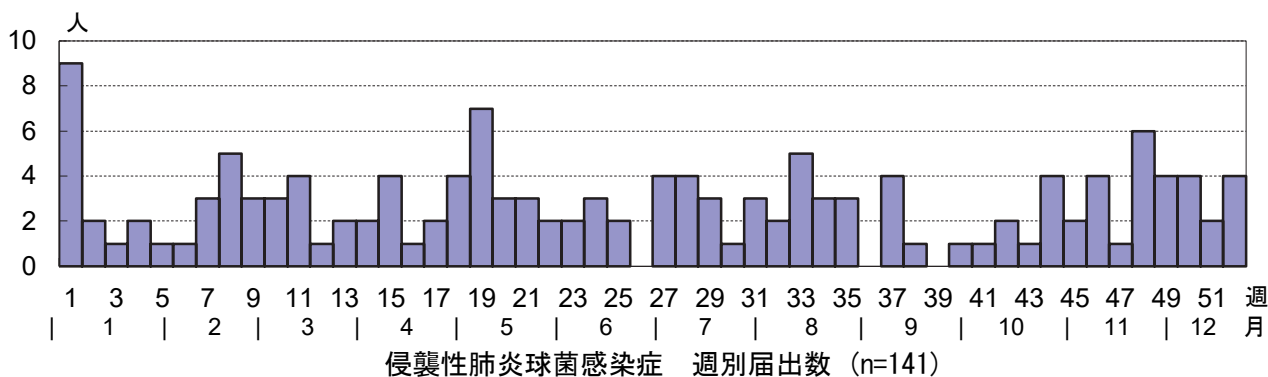
届出のうち、血清型別検査を実施したのは 53 件で、全て血清型が判明した。最も多い血清型は 3 型、10A 型、35B 型各 7 件で、24F 型 5 件、15C 型、23A 型各 4 件、15A 型、24B 型各 3 件、6C 型、19A 型各 2 件、6D 型、7C 型、14 型、15B 型、20 型、22F 型、23B 型、33F 型、35F 型各 1 件であった。

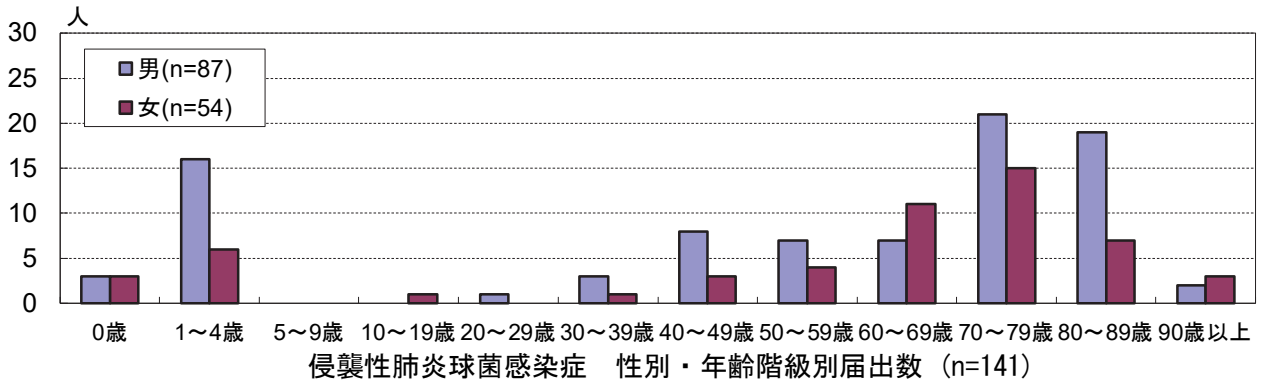
年齢階級別・種類別ワクチン接種歴 (n=141)

	13 価		13 価+ 価数不明		23 価	7 価+ 13 価		価数不明		接種歴 なし	接種歴 不明	総計
	3 回	4 回	3 回	2 回		4 回	1 回	2 回	3 回			
5 歳未満	7	13	1					1	1	1	4	28
10~64 歳	1					1				15	18	35
65 歳以上				1			4	1		25	47	78
合 計	8	13	1	1	1	5	2	1	4	40	65	141

侵襲性肺炎球菌感染症 血清型 (n=53)

血清型	届出数	血清型	届出数	血清型	届出数	血清型	届出数
3 型	7	14 型	1	20 型	1	24F 型	5
6C 型	2	15A 型	3	22F 型	1	33F 型	1
6D 型	1	15B 型	1	23A 型	4	35B 型	7
7C 型	1	15C 型	4	23B 型	1	35F 型	1
10A 型	7	19A 型	2	24B 型	3		



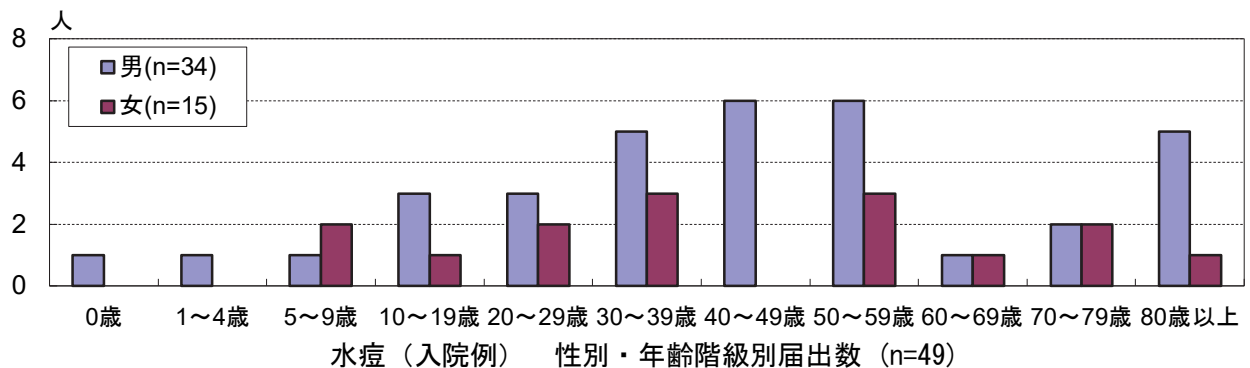
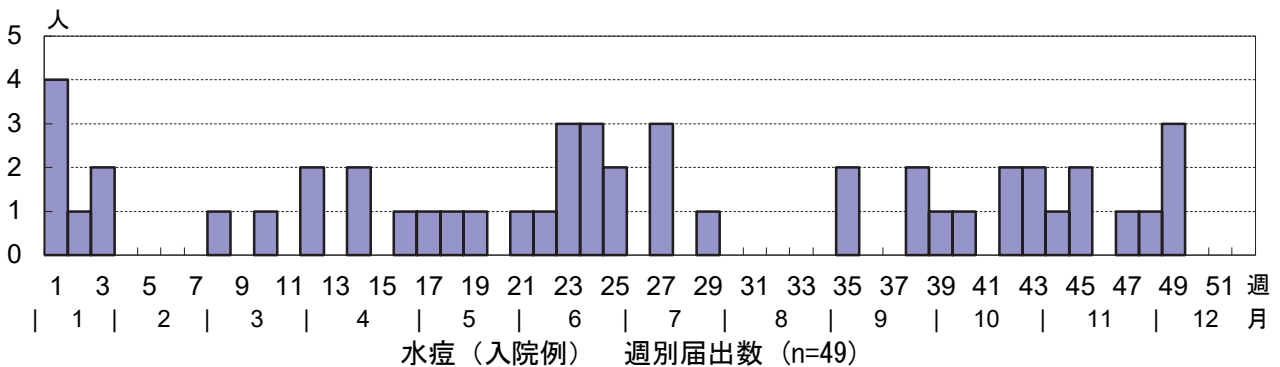


⑭ 水痘（入院例）

2022年は49件の届出があった。性別は男性34人、女性15人で、年齢階級別では5歳未満2人、5～9歳3人、10～19歳4人、20～29歳5人、30～39歳8人、40～49歳6人、50～59歳9人、60～69歳2人、70～79歳4人、80歳以上6人であった。死亡例の報告はなかった。

推定感染地は国内43件、不明6件で、推定感染経路は飛沫・飛沫核感染17件、院内感染、接触感染各3件、飛沫・飛沫核感染又は接触感染3件、その他2件、不明21件であった。

ワクチン接種歴は2回、1回各3件、無し12件、不明31件であった。



⑮ 梅毒

2022年は3,677件の届出があった。病型は、早期顕症梅毒Ⅰ期1,496件、早期顕症梅毒Ⅱ期1,351件、晩期顕症梅毒33件、無症候797件であった。性別は男性2,291人、女性1,386人であった。年齢階級別では10～19歳113人、20～29歳1,494人、30～39歳844人、40～49歳660人、50～59歳406人、60～

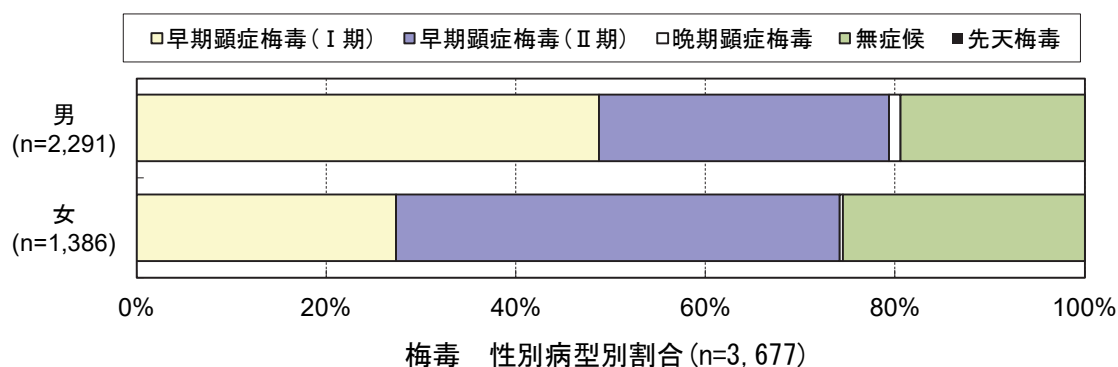
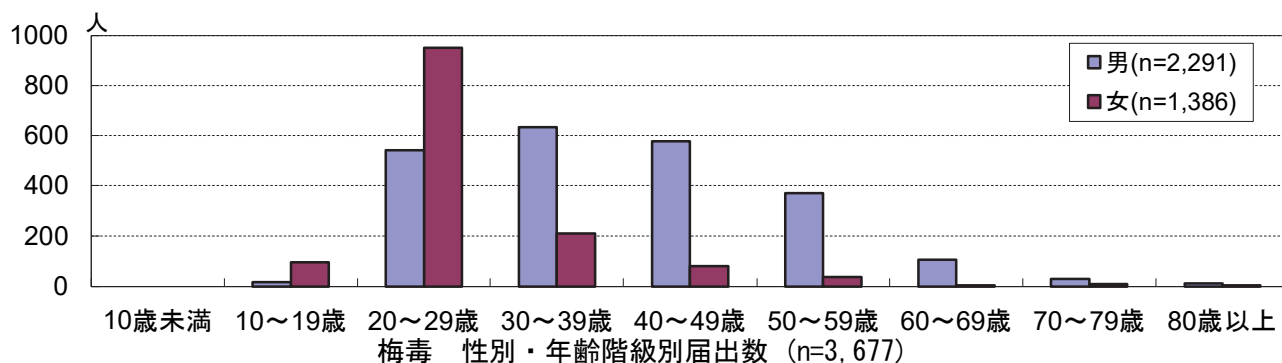
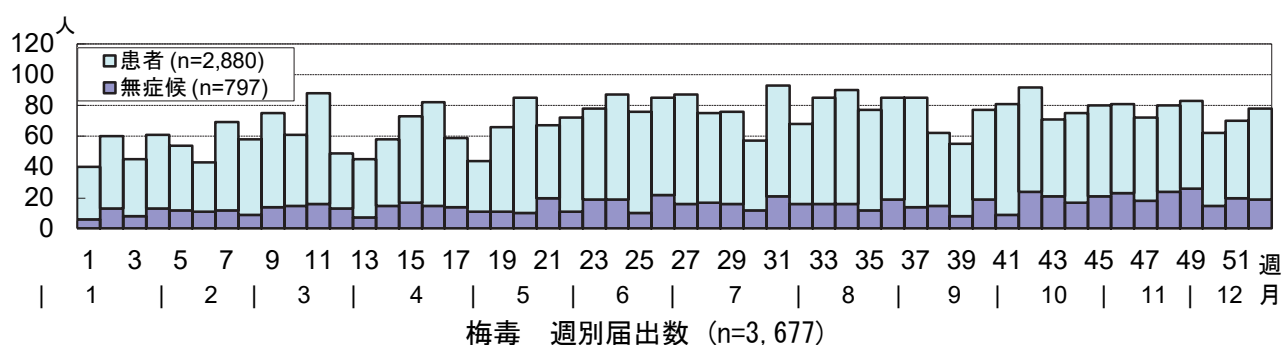
69歳110人、70～79歳37人、80歳以上13人で、20～49歳の男性が1,757人で男性全体の76.7%を占めた。妊娠可能年齢の女性（15～49歳）は1,337人で女性全体の96.5%を占めた。

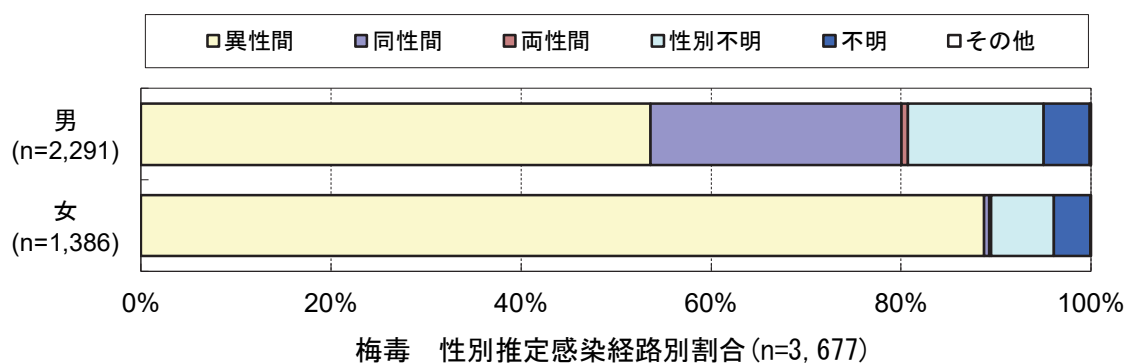
推定感染地は国内3,375件、国外10件（中国5件、台湾、フィリピン、インドネシア、フランス、渡航先不明各1件）、国内又は国外2件（韓国、渡航先不明各1件）、不明290件であった。

推定感染経路は性的接触3,509件（同性間614件、異性間2,458件、両性間17件、性別不明420件）、母子感染1件、異性間又は静注薬物使用2件、同性間又は静注薬物使用1件、不明164件であった。

HIV感染症合併の有無は353件（男性351件、女性2件）が合併有り、推定感染経路は、男性は性的接触343件（同性間309件、異性間6件、両性間4件、性別不明24件）、異性間又は静注薬物使用1件、不明7件で、女性は異性間性的接触1件、性別不明1件であった。

梅毒治療歴有りは559件（男性428件、女性131件）であった。妊娠中は62件であった。直近6か月の性風俗産業の従事者は768件（男性29件、女性739件）で、利用者は677件（男性663件、女性14件）であった。





⑯ 播種性クリプトコックス症

2022年は15件の届出があった。性別は男性8人、女性7人で、年齢階級別では60～69歳3人、70～79歳6人、80歳以上6人であった。死亡例は3人報告された。

推定感染地は国内14件、不明1件であった。

推定感染原因は、免疫不全11件、鳥類の糞又は免疫不全1件、不明3件であった。免疫不全11件のうち、基礎疾患のあるものは9件（重症節無力症2件、ANCA関連血管炎、ネフローゼ症候群（膜性腎症）、ホジキンリンパ腫、下腿蜂窩織炎及び甲状腺機能亢進症、菌状息肉症、腎移植及び膀胱癌、多発性骨髄腫各1件）であった。基礎疾患のあるもの9件のうち5件はステロイド投与中であった。

⑰ 破傷風

2022年は6件の届出があった。性別は男性5人、女性1人で、年齢階級別では60～69歳1人、70～79歳3人、80歳以上2人であった。

推定感染地は全て国内（東京都5件、都道府県不明1件）で、推定感染経路は創傷感染4件、針等の鋭利なものによる感染2件であった。破傷風含有ワクチン接種歴は、不明4件、なし2件であった。

⑱ バンコマイシン耐性腸球菌感染症

2022年は8件の届出があった。性別は男性5人、女性3人で、年齢階級別では30～39歳1人、40～49歳1人、50～59歳1人、70～79歳3人、80歳以上2人であった。菌種は全て *Enterococcus faecium* で、耐性遺伝子は *vanA* 2件、*vanB* 2件、*vanD* 1件、検査未実施3件であった。

推定感染地は国内5件、不明3件であった。推定感染経路は、飛沫・飛沫核感染1件、その他2件、不明5件であった。

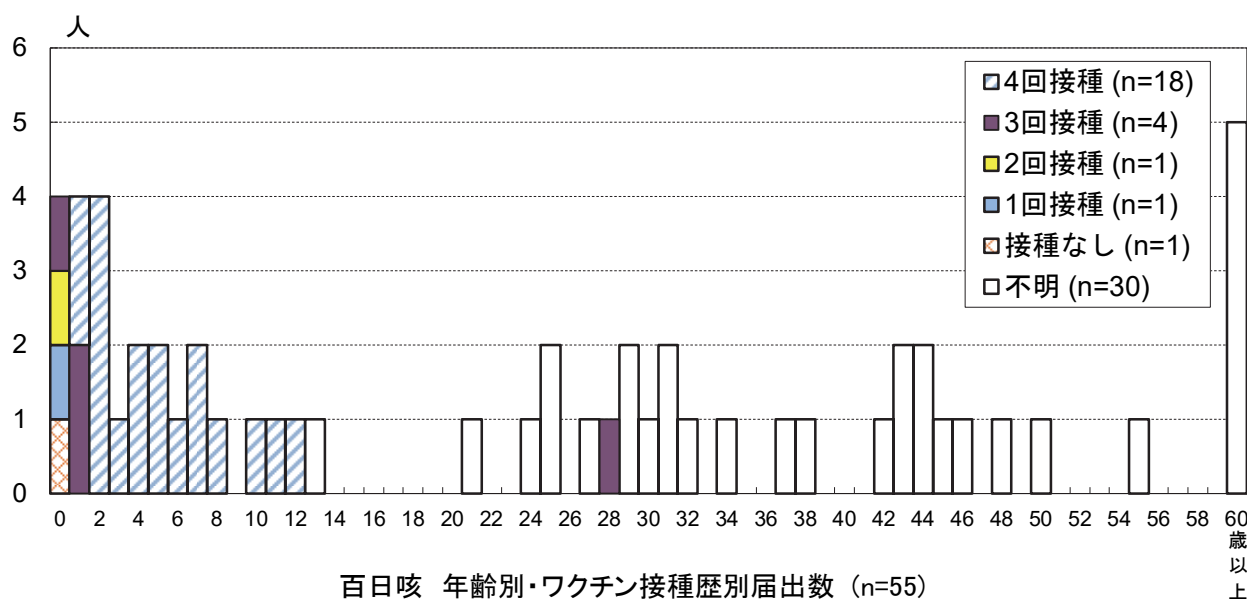
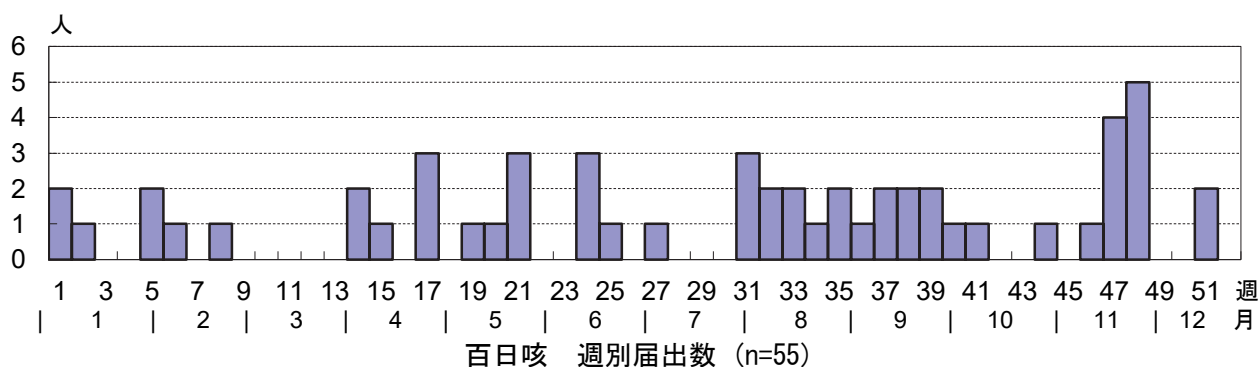
⑲ 百日咳

2022年は55件の届出があった。性別は男性20人、女性35人で、年齢階級別では10歳未満21人（うち5歳未満15人）、10～19歳4人、20～29歳8人、30～39歳7人、40～49歳8人、50～59歳2人、60～69歳2人、70～79歳2人、80歳以上1人であった。

推定感染地は国内45件、不明10件であった。

百日咳含有ワクチン接種歴は、4回18件、3回4件、2回1件、1回1件、なし1件、不明30件であった。

診断方法は、抗体検査33件、抗原検査20件、遺伝子検査（PCR法）2件であった。



⑳ 風しん

2022年は4件の届出があり、全て検査診断例（抗体検査）であった。

性別は男性1人、女性3人で、年齢階級別は10～19歳、20～29歳、30～39歳、50～59歳各1人であった。

推定感染地は国内3件、不明1件で、推定感染経路は飛沫感染1件、不明3件であった。

風しん含有ワクチン接種歴は、2回2件、1回1件、不明1件であった。

風しん届出例 (n=4)

受理日	性別	年齢	推定感染地	推定感染経路	ワクチン接種歴
6/23	女	28	不明	不明	不明
8/29	男	57	国内	不明	1回
11/1	女	31	国内	飛沫感染	2回
12/19	女	19	国内	不明	2回

㉑ 薬剤耐性アシネトバクター感染症

2022年は2件の届出があり、性別は男性、女性各1人で、年齢階級別では50～59歳、70～79歳各1人であった。推定感染地はいずれも国内であった。症状は、肺炎、膿胸各1件であった。

菌種は全て *Acinetobacter* spp.であった。

② その他の五類感染症

先天性風しん症候群、バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症、麻しんの届出はなかった。

カ 新型インフルエンザ等感染症

① 新型コロナウイルス感染症(病原体がベータコロナウイルス属のコロナウイルス(令和二年一月に、中華人民共和国から世界保健機関に対して、人に伝染する能力を有することが新たに報告されたものに限る。)であるものに限る。)

2022年9月26日以降は、発生届の対象者を、65歳以上の者、入院を要する者、重症化リスクがあり、新型コロナ治療薬や酸素投与が必要と医師が判断する者、妊婦の4類型に限定されることとなった。2023年3月27日現在、新型コロナウイルス感染症等情報把握・管理支援システムHER-SYSで、2022年9月25日までの届出のうち保健所確認済となっている登録データ、及び2022年9月26日以降において、同システム上に日次報告として報告されたデータによると、2022年に3,369,318件の届出・報告があった。

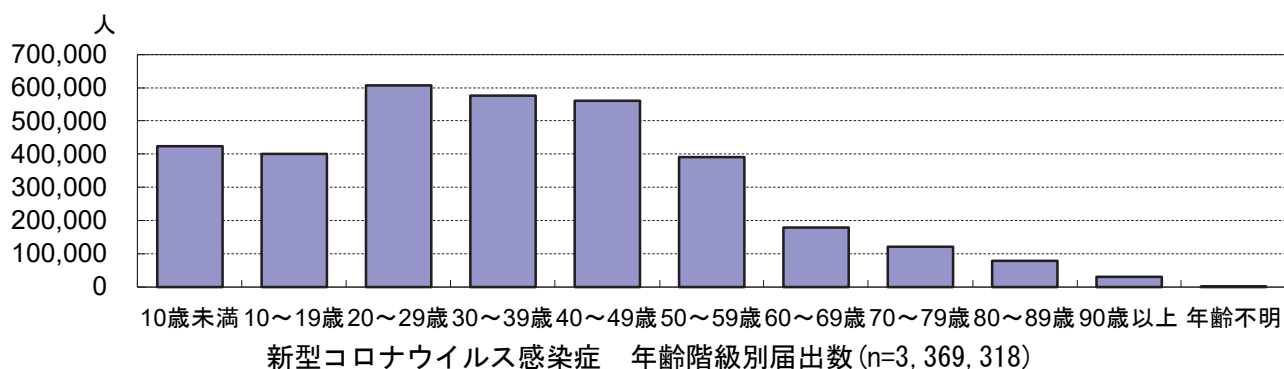
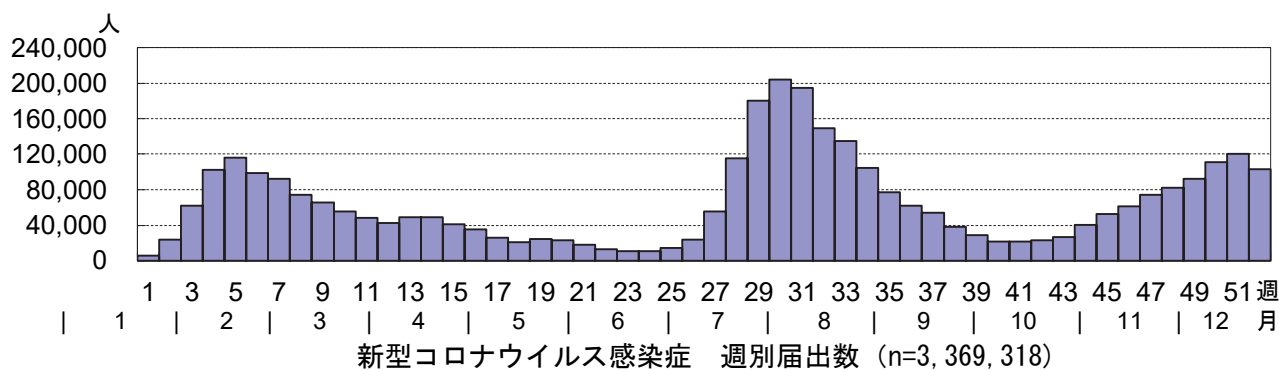


表3-1(1) 一、二、三類感染症 週別患者報告数

2022年第1週～2022年第52週

週	期 間	一 類							二 類						三 類							
		エボラ出血熱	クリミア・コンゴ出血熱	痘そう	南米出血熱	ペスト	マールブルグ病	ラッサ熱	急性灰白髄炎	結核*	ジフテリア	重症急性呼吸器症候群	中東呼吸器症候群	鳥インフルエンザ	鳥インフルエンザ(H5N1)	鳥インフルエンザ(H7N9)	コレラ	細菌性赤痢	腸管出血性大腸菌感染症	腸チフス	パラチフス	
1	1. 3～ 1. 9																				3	
2	1. 10～ 1. 16																				3	
3	1. 17～ 1. 23																				5	
4	1. 24～ 1. 30																				2	
5	1. 31～ 2. 6																				1	
6	2. 7～ 2. 13																				3	
7	2. 14～ 2. 20																					
8	2. 21～ 2. 27																					
9	2. 28～ 3. 6																				2	
10	3. 7～ 3. 13																				2	
11	3. 14～ 3. 20																					
12	3. 21～ 3. 27																				1	
13	3. 28～ 4. 3																				3	
14	4. 4～ 4. 10																				2	
15	4. 11～ 4. 17																				1	1
16	4. 18～ 4. 24																				2	
17	4. 25～ 5. 1																				4	
18	5. 2～ 5. 8																				2	
19	5. 9～ 5. 15																				4	
20	5. 16～ 5. 22																				10	
21	5. 23～ 5. 29																				13	1
22	5. 30～ 6. 5																				11	
23	6. 6～ 6. 12																				9	
24	6. 13～ 6. 19																				16	1
25	6. 20～ 6. 26																				11	
26	6. 27～ 7. 3																				12	1
27	7. 4～ 7. 10																1				8	
28	7. 11～ 7. 17															1					13	
29	7. 18～ 7. 24																				8	
30	7. 25～ 7. 31																				20	
31	8. 1～ 8. 7																				27	
32	8. 8～ 8. 14																				10	
33	8. 15～ 8. 21																1				13	
34	8. 22～ 8. 28																				19	
35	8. 29～ 9. 4																				8	1 1
36	9. 5～ 9. 11																				17	
37	9. 12～ 9. 18																				11	
38	9. 19～ 9. 25																				8	
39	9. 26～ 10. 2																				10	
40	10. 3～ 10. 9																				12	1 1
41	10. 10～ 10. 16																				4	
42	10. 17～ 10. 23																				10	
43	10. 24～ 10. 30																				6	
44	10. 31～ 11. 6																					1
45	11. 7～ 11. 13																				1	
46	11. 14～ 11. 20																				3	
47	11. 21～ 11. 27																				5	
48	11. 28～ 12. 4																				5	
49	12. 5～ 12. 11																				5	
50	12. 12～ 12. 18																				4	
51	12. 19～ 12. 25																				5	1
52	12. 26～ 1. 1																				2	
	合 計															1	2	356	6		4	

* 結核については、別途「東京都における結核の概況」として報告する。

表3-1(2) 四類感染症 週別患者報告数

2022年第1週～2022年第52週

週	期 間	四 類													
		E型肝炎	A型肝炎	エキノコックス症	オウム病	サル痘	重症熱性血小板減少症候群	チクングニア熱	つつが虫病	デング熱	ボツリヌス症	マラリア	ライム病	レジオネラ症	レプトスピラ症
1	1. 3～ 1. 9	2												5	
2	1. 10～ 1. 16	4		1										2	
3	1. 17～ 1. 23	4												1	
4	1. 24～ 1. 30	1							1					1	
5	1. 31～ 2. 6	7												2	
6	2. 7～ 2. 13	1												2	
7	2. 14～ 2. 20	8													
8	2. 21～ 2. 27	1									1			1	
9	2. 28～ 3. 6	3													
10	3. 7～ 3. 13													2	
11	3. 14～ 3. 20	5												2	
12	3. 21～ 3. 27	2	1							1				2	
13	3. 28～ 4. 3	1			1									1	
14	4. 4～ 4. 10	6		1											
15	4. 11～ 4. 17	1												1	
16	4. 18～ 4. 24	2												1	
17	4. 25～ 5. 1	3												1	
18	5. 2～ 5. 8	2													
19	5. 9～ 5. 15	1								1				4	
20	5. 16～ 5. 22	2								1				4	
21	5. 23～ 5. 29	6		1										9	
22	5. 30～ 6. 5	2												3	1
23	6. 6～ 6. 12	3	1							1				1	
24	6. 13～ 6. 19	2	1								1			5	
25	6. 20～ 6. 26	3									1			1	
26	6. 27～ 7. 3	3							1					1	
27	7. 4～ 7. 10									1				1	
28	7. 11～ 7. 17	4	1											2	
29	7. 18～ 7. 24	2									1			2	
30	7. 25～ 7. 31	4				2				1				3	
31	8. 1～ 8. 7	4										2		3	
32	8. 8～ 8. 14	1								1	1			4	
33	8. 15～ 8. 21	1													
34	8. 22～ 8. 28													1	
35	8. 29～ 9. 4	2								1				2	
36	9. 5～ 9. 11	4								1				1	1
37	9. 12～ 9. 18	3					1							8	
38	9. 19～ 9. 25	1			1	1				2				3	1
39	9. 26～ 10. 2	5	1			1				1	2			4	1
40	10. 3～ 10. 9					1				1				5	
41	10. 10～ 10. 16	1								1				1	
42	10. 17～ 10. 23	1								2				2	
43	10. 24～ 10. 30	2							1	4				4	
44	10. 31～ 11. 6	4								2				2	
45	11. 7～ 11. 13	1								3				2	
46	11. 14～ 11. 20													7	
47	11. 21～ 11. 27				1					2		1		2	
48	11. 28～ 12. 4	3								3	1	2		1	
49	12. 5～ 12. 11	3			1					1				2	
50	12. 12～ 12. 18	5								2					
51	12. 19～ 12. 25	4	1							2				2	
52	12. 26～ 1. 1	1									1			4	1
	合 計	131	6	3	4	5	1	1	14	26	1	9	2	120	5

表3-1(3) 全数把握対象の五類感染症等 週別患者報告数

2022年第1週～2022年第52週

週	期 間	五 類																新型						
		ア メ ー バ 赤 痢	ウ イ ル ス 性 肝 炎 (A 型 ・ E 型 を 除 く)	カ ル バ ベ ネ ム 耐 性 腸 内 細 菌 科 細 菌 感 染 症	急 性 弛 緩 性 麻 痺 (急 性 灰 白 髄 炎 を 除 く)	急 性 脳 炎	ク リ プ ト ス ポ リ ジ ウム 症	ク ロ イ ツ フ ェ ル ト ・ ヤ コ ブ 病	劇 症 型 溶 血 性 レ ン サ 球 菌 感 染 症	後 天 性 免 疫 不 全 症 候 群	ジ ア ル ジ ア 症	侵 襲 性 イン フル エン ザ 菌 感 染 症	侵 襲 性 髄 膜 炎 菌 感 染 症	侵 襲 性 肺 炎 球 菌 感 染 症	水 痘 (入 院 例)	梅 毒	播 種 性 ク リ プ ト コ ク ス 症	破 傷 風	パ ン コ マ イ シ ン 耐 性 腸 球 菌 感 染 症	百 日 咳	風 し ん	薬 剤 耐 性 アシ ネ ト バ ク タ ー 感 染 症	新 型 コ ロ ナ ウ イ ル ス 感 染 症	
1	1. 3～ 1. 9	6		5				3	6					9	4	40	1		1	2				5,583
2	1. 10～ 1. 16	4		4				2	7					2	1	60				1				23,163
3	1. 17～ 1. 23	3	1	4				1	1	6				1	2	45								61,884
4	1. 24～ 1. 30	4		4				5	4					2		61								102,285
5	1. 31～ 2. 6	4		2				1	3	5		1		1		54	1			2				115,649
6	2. 7～ 2. 13	2		2				3	6					1		43	1		1	1				98,800
7	2. 14～ 2. 20		2	7				4	8	1	1			3		69								91,984
8	2. 21～ 2. 27	3	2					1	3					5	1	58				1				73,927
9	2. 28～ 3. 6	3	1	7				1	7					3		75								65,497
10	3. 7～ 3. 13	3		5				1	8	1				3	1	61	2							55,285
11	3. 14～ 3. 20	2	2	4				7	4					4		88								48,337
12	3. 21～ 3. 27	4	1	2				2	6	1	1			1	2	49								42,527
13	3. 28～ 4. 3		1	3				1	2	5		1		2		45								49,232
14	4. 4～ 4. 10	3		5				2	4					2	2	58				2				49,124
15	4. 11～ 4. 17	2	2	4				3	4		1			4		73				1				41,452
16	4. 18～ 4. 24	2	1	4				4	6					1	1	82	1							34,860
17	4. 25～ 5. 1	3	1					1	3	4				2	1	59				3				25,735
18	5. 2～ 5. 8	3		2				3	3	3				4	1	44								20,757
19	5. 9～ 5. 15	4	1	4				1	1	2	6	1		7	1	66	1			1				24,522
20	5. 16～ 5. 22	2	1	2				1		7				3		85				1				22,755
21	5. 23～ 5. 29	3	1	4				1	3	4				3	1	67		1	1	3		1		17,458
22	5. 30～ 6. 5	1		3				2	5	2	1			2	1	72								12,748
23	6. 6～ 6. 12		3	9				3	8					2	3	78								10,520
24	6. 13～ 6. 19	2		8				2		3	4			3	3	87				3				10,855
25	6. 20～ 6. 26	4		3				3	8		1			2	2	76		1		1	1			14,026
26	6. 27～ 7. 3	2		4				1	3	4	1					85								23,721
27	7. 4～ 7. 10	1		4				1	3	9				4	3	87	1			1				55,316
28	7. 11～ 7. 17	3	1	5				2	9		1			4		75								115,312
29	7. 18～ 7. 24	1		1				7		1				3	1	76			1					180,060
30	7. 25～ 7. 31	5	1	5				1	4		1			1		57						1		204,046
31	8. 1～ 8. 7	3	2	3				5	1	9		1		3		93	1			3				195,003
32	8. 8～ 8. 14		1	6				1		4				2		68	1	1		2				149,630
33	8. 15～ 8. 21	2		1				2	1	3	1	1		5		85	1	1		2				134,643
34	8. 22～ 8. 28	3	1	7				1		3	2			3		90				1				104,709
35	8. 29～ 9. 4	4	1	6				2		3	3			3	2	77	1			2	1			77,217
36	9. 5～ 9. 11			3				3		1	2					85				1				62,012
37	9. 12～ 9. 18	2		5				2	6					4		85				2				53,896
38	9. 19～ 9. 25	1		2				1		5				1	2	62	1			2				38,133
39	9. 26～ 10. 2	3		4	1	1			7					1		55				2				28,593
40	10. 3～ 10. 9	2	1	7				1		5		1		1	1	77				1				21,192
41	10. 10～ 10. 16	1	1	4				1	5					1		81				1				21,668
42	10. 17～ 10. 23	1		3	2			2	3		1			2	2	92								22,517
43	10. 24～ 10. 30	1	1	7	1			3	7					1	2	71								26,337
44	10. 31～ 11. 6	2		2				1	2	4				4	1	75				1	1			40,362
45	11. 7～ 11. 13		1	7				1		2	8			2	2	80			1					52,513
46	11. 14～ 11. 20	1	1	3				1	8	1	1	1		4		81				1				61,210
47	11. 21～ 11. 27	2		4				5	3					1	1	72	1	1		4				73,867
48	11. 28～ 12. 4			4				1	2	10				6	1	80		1		5				81,818
49	12. 5～ 12. 11	2	1	3				1	7					4	3	83								91,863
50	12. 12～ 12. 18	1	1	3				3	4		1			4		62								111,187
51	12. 19～ 12. 25	3		3				2	6		2			2		70				2	1			120,413
52	12. 26～ 1. 1	4	1	5				2	7					4		78	1		2					103,115
合計		117	35	208	4	28	2	18	107	288	12	19	1	141	49	3,677	15	6	8	55	4	2		3,369,318

表3-2(1) 一、二、三類感染症 保健所別患者報告数

2022年第1週～2022年第52週

	一類							二類							三類			
	エボラ出血熱	クリミア・コンゴ出血熱	痘そう	南米出血熱	ペスト	マールブルグ病	ラッサ熱	急性灰白髄炎	結核*	ジフテリア	重症急性呼吸器症候群	中東呼吸器症候群	鳥インフルエンザ (H5N1)	鳥インフルエンザ (H7N9)	コレラ	細菌性赤痢	腸管出血性大腸菌感染症	腸チフス
千代田								/								5		
中央区								/								7	2	
みなと								/							1	14		
新宿区								/								10	1	3
文京								/								6		
台東								/								2		
墨田区								/								7	1	
江東区								/								9		
品川区								/								11		
目黒区								/								9		1
大田区								/						1		11		
世田谷								/								23		
渋谷区								/								9		
中野区								/								10		
杉並								/								13		
池袋								/								11		
北区								/								4	1	
荒川区								/								3		
板橋区								/								16	1	
練馬区								/								18		
足立								/								15		
葛飾区								/								8		
江戸川								/								15		
八王子市								/								11		
町田市								/								9		
西多摩								/								7		
南多摩								/								19		
多摩立川								/							1	19		
多摩府中								/								25		
多摩小平								/								30		
島しょ								/										
合計								/						1	2	356	6	4

* 結核については、別途「東京都における結核の概況」として報告する。

表3-2(2) 四類感染症 保健所別患者報告数

2022年第1週～2022年第52週

	四 類													
	E型 肝炎	A型 肝炎	エキノ コックス 症	オウム 病	サル 痘	重症熱 性血小 板減少 症候群	チクン グニア 熱	つつが 虫病	デング 熱	ボツリ ヌス症	マラリ ア	ライム 病	レジオ ネラ症	レプト スピラ 症
千代田	5								2				1	
中央区	1		1					1						
みなと	4								3		1		7	
新宿区	10		1	3	3		1		8	1	7	2	3	
文京	9	1			2								8	
台東	3								1					
墨田区	4								2		1		2	1
江東区	7							1					3	
品川区	13												5	
目黒区								1	1				3	
大田区	10		1						4				9	
世田谷	6							1					2	1
渋谷区	3	1		1									2	
中野区	2												2	
杉並									1					
池袋	2													
北区	2												3	
荒川区	3													
板橋区	8	1											6	
練馬区	5												2	
足立	4												2	
葛飾区	2								2				4	
江戸川	3							1					2	
八王子市	5							1	1				7	
町田市	3	2											1	
西多摩	2							2					6	
南多摩	3												3	
多摩立川	6							1					8	1
多摩府中	4	1				1		1					14	1
多摩小平	2								1				15	1
島しょ								4						
合 計	131	6	3	4	5	1	1	14	26	1	9	2	120	5

表3-2(3) 全数把握対象の五類感染症等 保健所別患者報告数

2022年第1週～2022年第52週

	五 類																				
	アメーバ赤痢	ウイルス性肝炎（A型・E型を除く）	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	急性弛緩性麻痺（急性灰白髄炎を除く）	急性脳炎	クリプトスポリジウム症	クロイツフェルト・ヤコブ病	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	後天性免疫不全症候群	ジアルジア症	侵襲性インフルエンザ菌感染症	侵襲性髄膜炎菌感染症	侵襲性肺炎球菌感染症	水痘（入院例）	梅毒	播種性クリプトコックス症	破傷風	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	百日咳	風しん	薬剤耐性アシネトバクター感染症
千代田	8		5				1	7	1	1			3		37	1					
中央区	3		4					2	13	1				1	239						
みなと	17		22				1	4	16		2		7	3	211	1					
新宿区	18	12	5			1	1	11	152	4	2		12	8	1543		1	1	1	1	
文京	8		12			1	1	8	21		3		9	2	135	3		4	1		
台東	1								2				1		173			1		1	
墨田区		1	2					1	4		1		3	2	41						
江東区	5	1	16	1					1				4	1	21					1	
品川区	1		20		3		2	6	6			1	7	2	55						
目黒区		1	3					4	4				5	2	22	2				10	
大田区	10	5	12	1			1	4	3		1		3	2	38					3	
世田谷	4	1	7		16		1	1	2	3	1		4	4	52					18	
渋谷区	2		8					3	6				7	3	281	1				3	
中野区	1	1	4					1	8					3	30	2					
杉並	3	1	4						2	1			2		29	1					
池袋								2	1				2	1	278						
北区	3	3	4				1	3	3				2		34					1	
荒川区	1														21						
板橋区	4	1	25		3		2	7	13	1	5		13	3	48	1	1			3	1
練馬区	3		1				1		2	1			6		20					1	1
足立	4	1	8					6	2				5	1	26	1				1	
葛飾区	3	2	4				1		3				1	1	23	1				1	
江戸川	2		1					1	2				1	1	45				1	1	
八王子市	3	1	9				1		1				2	2	40					1	
町田市	2	1	3					1	2						16					1	
西多摩	2		1												11		1	1			
南多摩	3	1	3					1	2				5		31		1			2	1
多摩立川	3		11				1	3	6		2		8	2	77					3	
多摩府中	1		9	2	6		1	22	8		1		22	3	49	1				3	
多摩小平	2	2	5				2	8	2		1		7	2	51		2				1
島しょ								1													
合 計	117	35	208	4	28	2	18	107	288	12	19	1	141	49	3,677	15	6	8	55	4	2

表3-3(1) 一、二、三類感染症 年齢階級別患者報告数
2022年第1週～2022年第52週

	一 類							二 類						三 類					
	エボラ出血熱	クリミア・コンゴ出血熱	痘そう	南米出血熱	ペスト	マールブルグ病	ラッサ熱	急性灰白髄炎	結核*	ジフテリア	重症急性呼吸器症候群	中東呼吸器症候群	鳥インフルエンザ(H5N1)	鳥インフルエンザ(H7N9)	コレラ	細菌性赤痢	腸管出血性大腸菌感染症	腸チフス	パラチフス
0歳																	1		
1～4歳																	13	1	
5～9歳																	32	1	1
10～14歳																	14	1	
15～19歳																	16		
20～24歳																	67	1	
25～29歳															1		47	1	
30～34歳																	24		2
35～39歳																	29		
40～44歳																	26		
45～49歳														1			13	1	
50～54歳																	23		
55～59歳																	10		1
60～64歳																	11		
65～69歳																	6		
70～74歳																	10		
75～79歳																	6		
80～84歳																	4		
85～89歳																	1		
90歳以上															1		3		
合 計														1	2	356	6	4	

* 結核については、別途「東京都における結核の概況」として報告する。

表3-3(2) 四類感染症 年齢階級別患者報告数

2022年第1週～2022年第52週

	四 類													
	E型肝炎	A型肝炎	エキノコックス症	オウム病	サル痘	重症熱性血小板減少症候群	チクングニア熱	つつが虫病	デング熱	ポツリヌス症	マラリア	ライム病	レジオネラ症	レプトスピラ症
0歳											1			
1～4歳														
5～9歳														1
10～14歳													1	
15～19歳									1					
20～24歳	3		1					1	4					
25～29歳	5								2		1		1	
30～34歳	2		1		2			2	4		2		1	
35～39歳	6				1			1	4		1		2	
40～44歳	6								4		1		1	
45～49歳	20	1			1			1	2				1	1
50～54歳	24	1						3	1				9	
55～59歳	25							1	2		3	1	13	
60～64歳	14		1		1		1	2	1	1			16	1
65～69歳	10			2									14	1
70～74歳	4	1		1				2				1	19	1
75～79歳	6	1		1		1			1				13	
80～84歳	4	1						1					9	
85～89歳	1												14	
90歳以上	1	1											6	
合 計	131	6	3	4	5	1	1	14	26	1	9	2	120	5

表3-3(3) 全数把握対象の五類感染症等 年齢階級別患者報告数

2022年第1週～2022年第52週

	五 類																		新型				
	アメーバ赤痢	ウイルス性肝炎（A型・E型を除く）	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	急性弛緩性麻痺（急性灰白髄炎を除く）	急性脳炎	クリプトスポリジウム症	クロイツフェルト・ヤコブ病	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	後天性免疫不全症候群	ジアルジア症	侵襲性インフルエンザ菌感染症	侵襲性髄膜炎菌感染症	侵襲性肺炎球菌感染症	水痘（入院例）	梅毒	播種性クリプトコックス症	破傷風	パンコマイシン耐性腸球菌感染症	百日咳	風しん	薬剤耐性アシネトバクター感染症	新型コロナウイルス感染症	
0歳			4		2				1				6	1					4				22,376
1～4歳			5	1	13		1				5		22	1					11				152,620
5～9歳		1	2	2	8					1	1			3					6				249,045
10～14歳							1						1	2					4				400,339
15～19歳		1	2		1			1	4					2	113					1			607,192
20～24歳		7	1		1				28	1				4	820				2				607,192
25～29歳	2	7	4					1	62				1	1	674				6	1			607,192
30～34歳	7	6	1			1			67	2			3	6	465				5	1			576,354
35～39歳	6	3	1			1			41	2			1	2	379				1	2			576,354
40～44歳	15	3	3					2	28	1			5	2	363				1	5			561,752
45～49歳	12	4	5		1			5	22	2	1		6	4	297				3				561,752
50～54歳	13	1	8				1	6	14		1		6	4	260				1				391,360
55～59歳	23	1	10					7	15				5	5	146				1	1	1	1	391,360
60～64歳	17		13				3	14	3		1		7	1	79	1	1		2				110,064
65～69歳	7	1	16		1		3	9	1	1	2		11	1	31	2							68,088
70～74歳	8		30		1		2	13	2		1	1	20	2	26	4	1	2	1			1	121,302
75～79歳	6		32				6	12		2	1		16	2	11	2	2	1	1				121,302
80～84歳			32					12			1		21	2	5	2			1	1			78,543
85～89歳	1		21				2	14			1		5	2	6	2	2	1					78,543
90歳以上			18					10			4		5	2	2	2							29,930
不明																							353
合 計	117	35	208	4	28	2	18	107	288	12	19	1	141	49	3,677	15	6	8	55	4	2		3,369,318

(2) 小児科・内科疾患

ア インフルエンザ

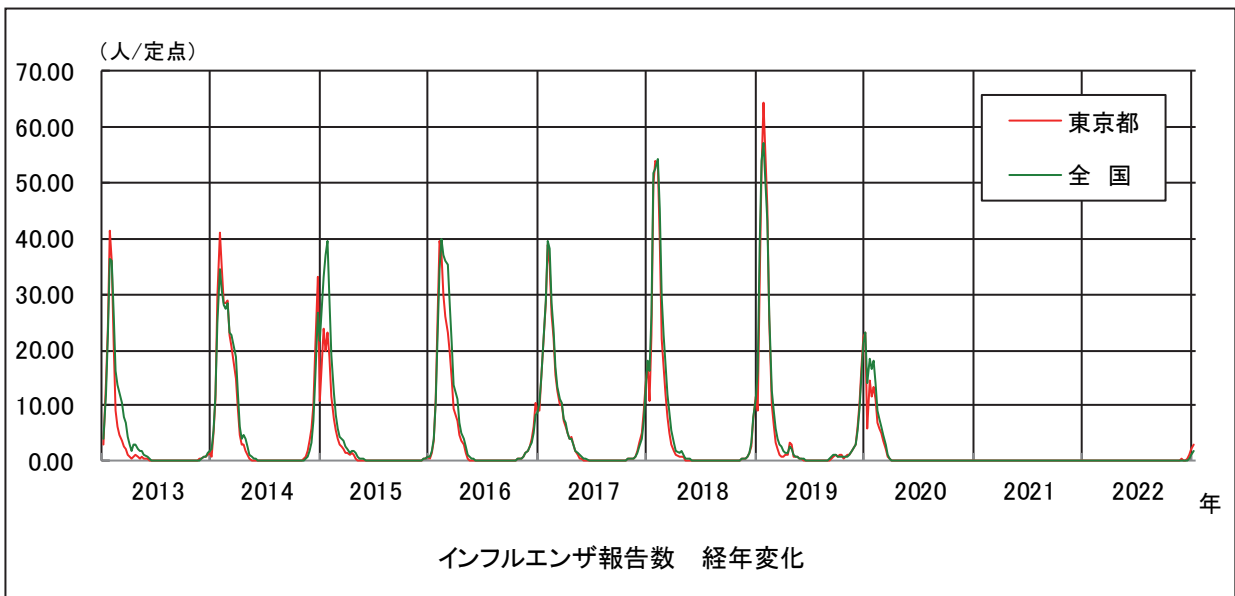
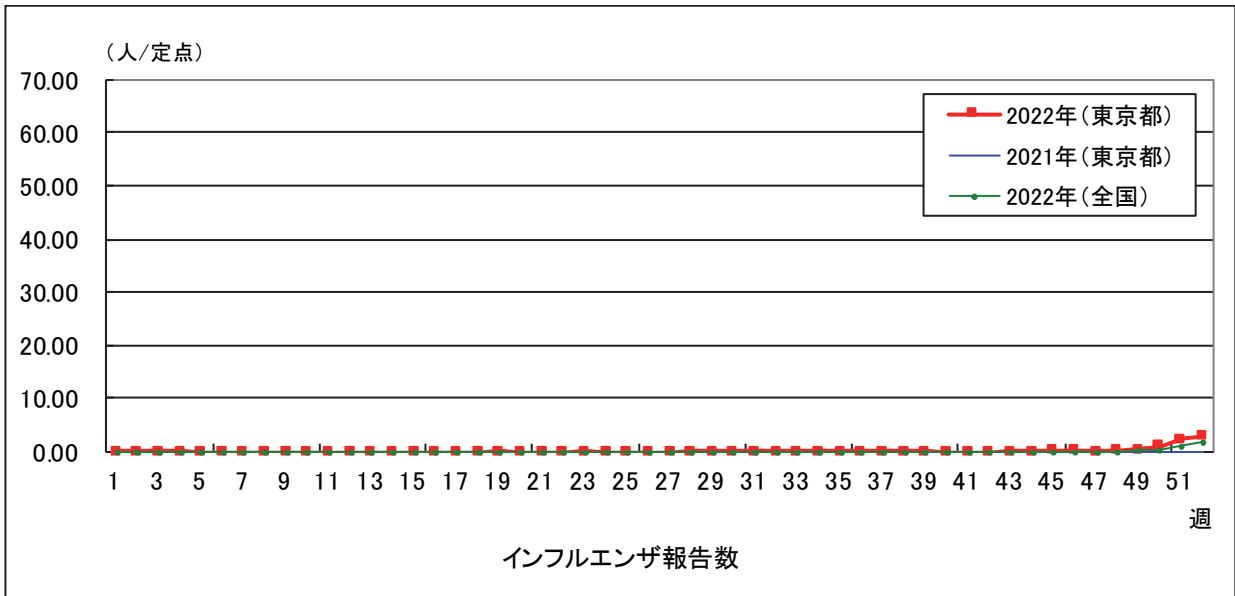
2022年の報告数は3,318人、定点当たり8.25人で、報告数が極めて少なかった前年(2021年)に比べ大きく増加したが、ここ10年の定点当たりの報告数の平均は209.30人であり、例年並みの流行は見られなかった。

2021/22シーズンの流行は、散発的な報告はあったものの、流行期を迎えても都内の週別報告数は1～6人、定点当たり0.00～0.01人の間で推移した。2022年に入っても傾向は変わらず、1週(1.3～1.9)から5週(1.31～2.6)まで0.01人だったが、以後も散発的な報告に留まった。

2022/23シーズンは、週別定点当たりの報告数が2022年50週(12.12～12.18)に1.12人と1.0人を超えて流行期に入ったと判断された。2023年7週(2.13～2.19)には10.04人と流行注意報発令基準(定点あたり10.0人以上)を超えたが、その後も10.0人前後を推移しており、本稿執筆時点で流行警報発令基準(定点あたり30.0人以上)に達しておらず、例年並みの流行は見られていない。

2022年の保健所別定点当たり患者報告数で最も多かったのは八王子市の25.88人、次いで中野区の16.20人であった。

年齢階級別に患者報告数をみると1歳未満29人(0.9%)、1歳～10歳未満1,363人(41.1%)、10歳～20歳未満811人(24.4%)、20歳～60歳未満1,052人(31.7%)、60歳以上63人(1.9%)であった。



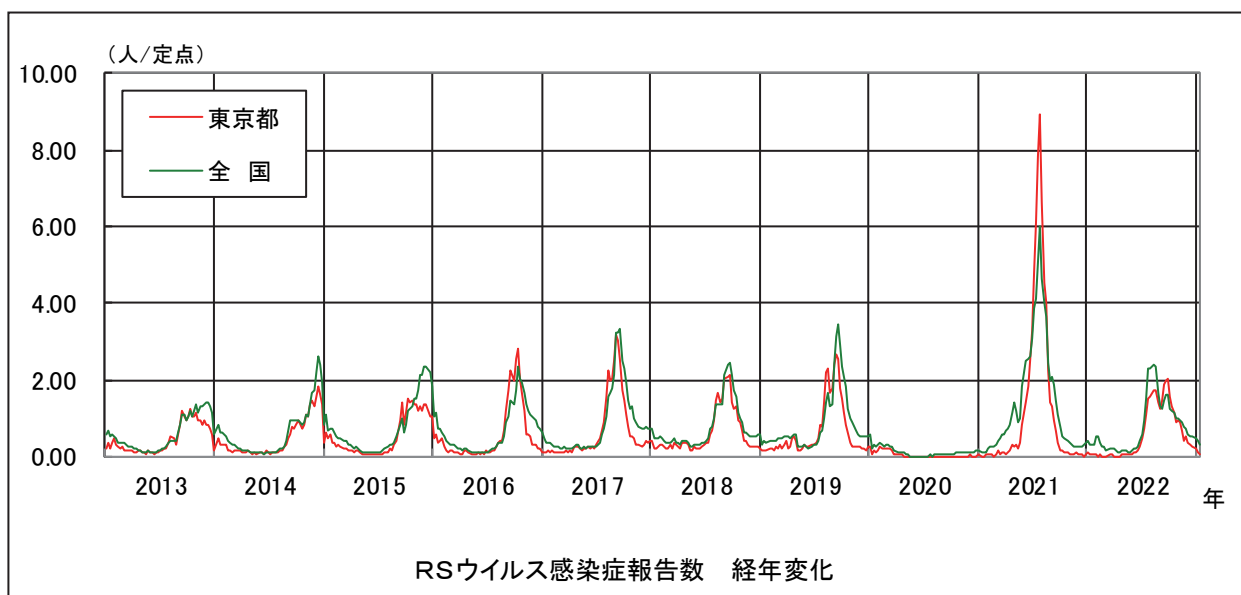
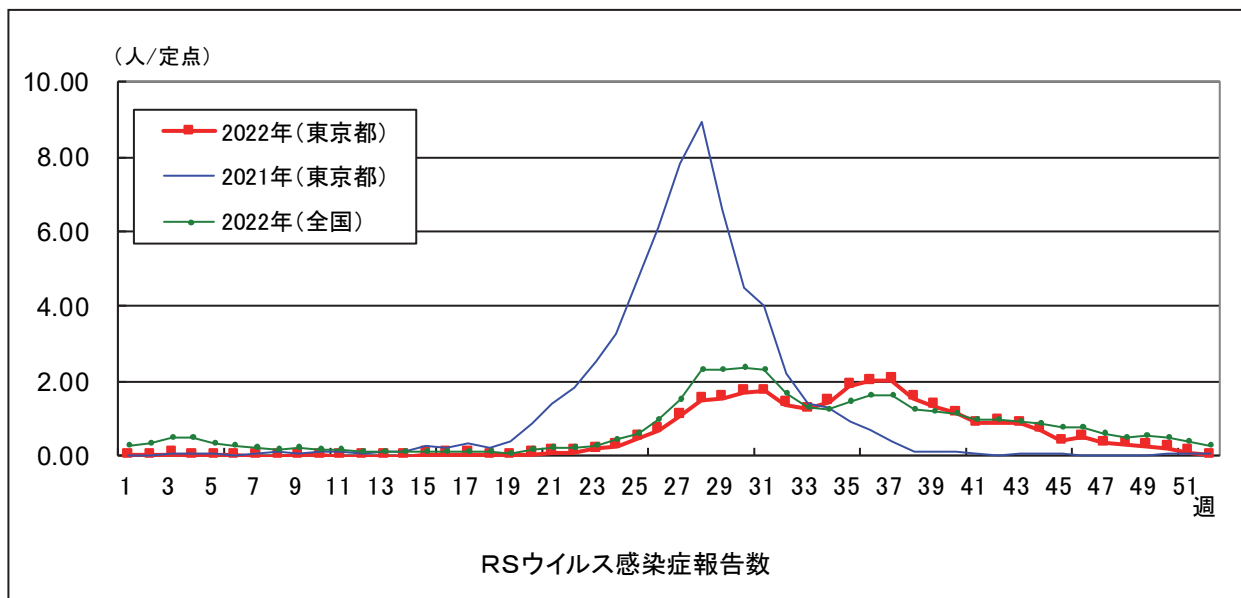
イ RSウイルス感染症

2022年の報告数は7,564人、定点当たりの報告数は29.40人であった。ここ10年の定点当たりの報告数の平均は29.56人であり、2022年の報告数は、2003年の調査開始以降最も多い報告数であった前年（2021年）より大きく減少した。

週別定点当たりの報告数では27週（7.4～7.10）に1.07人と1.0人を超え、37週（9.12～9.18）には2.03人とピークを迎え、41週（10.10～10.16）には0.88人と1.0人を下回った。

保健所別定点当たりの報告数で最も多かったのは荒川区の123.42人であった。

年齢階級別報告数では6か月未満が518人(6.8%)、6か月～12か月未満が953人(12.6%)、1歳代が2,450人(32.4%)、2歳代が1,722人（22.8%）と2歳以下で74.6%を占めている。



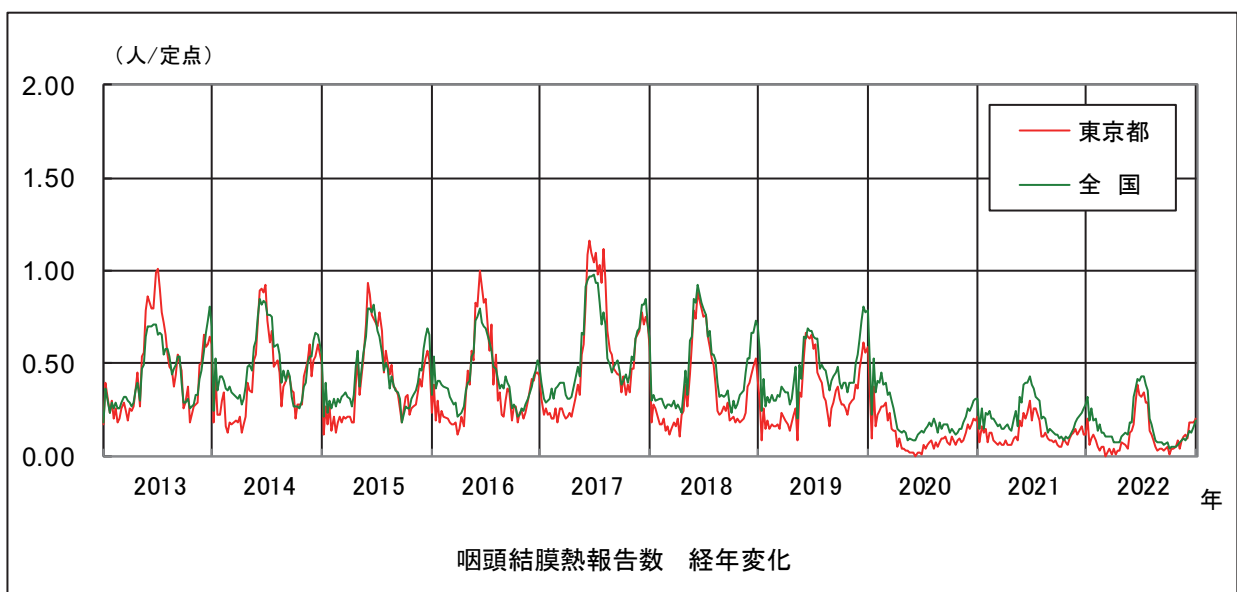
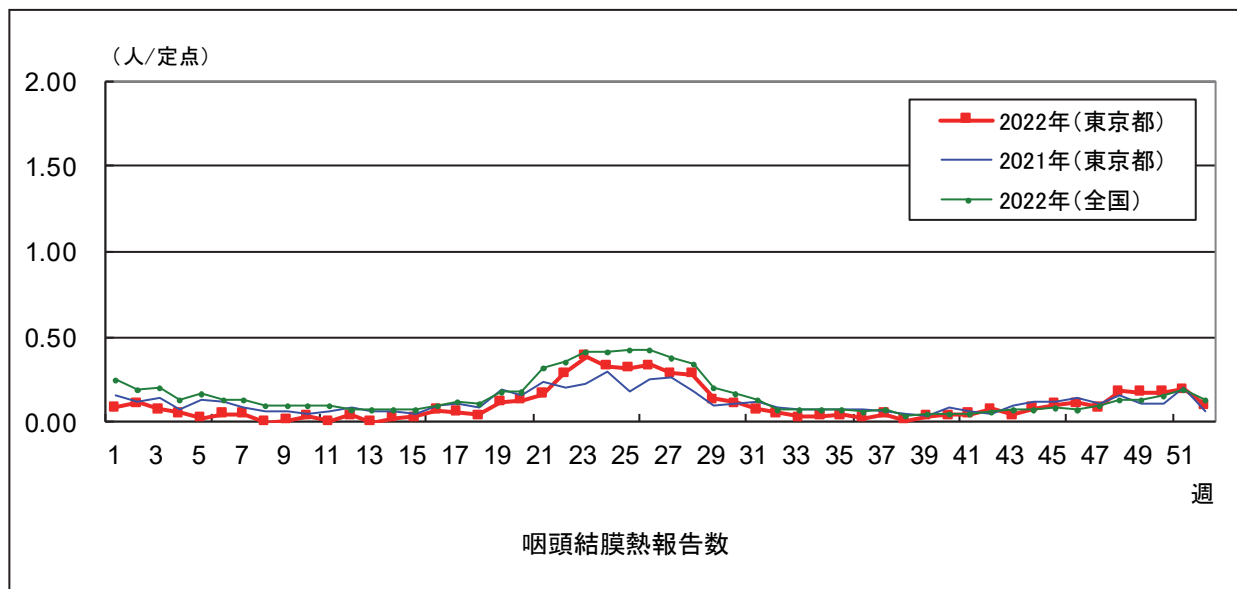
ウ 咽頭結膜熱

2022年の報告数は1,420人、定点当たりの報告は5.52人であった。ここ10年の定点当たりの報告数の平均は16.63人であり2022年の報告数はここ10年で最も少ない報告数であった。

週別定点当たりの報告数は年間を通じて1.0人を超える週はなかった。19週(5.9~5.15)から30週(7.25~7.31)にかけて、0.10人を持続的に超えていた。ピークは23週(6.6~6.12)の0.39人であった。

保健所別定点当たり報告数で最も多かったのは多摩小平の18.55人、次いで大田区の12.52人、荒川区の11.00人、足立の10.01人であった。

年齢階級別報告数では1歳代が474人(33.4%)と最も多く、5歳代以下で91.0%を占めている。



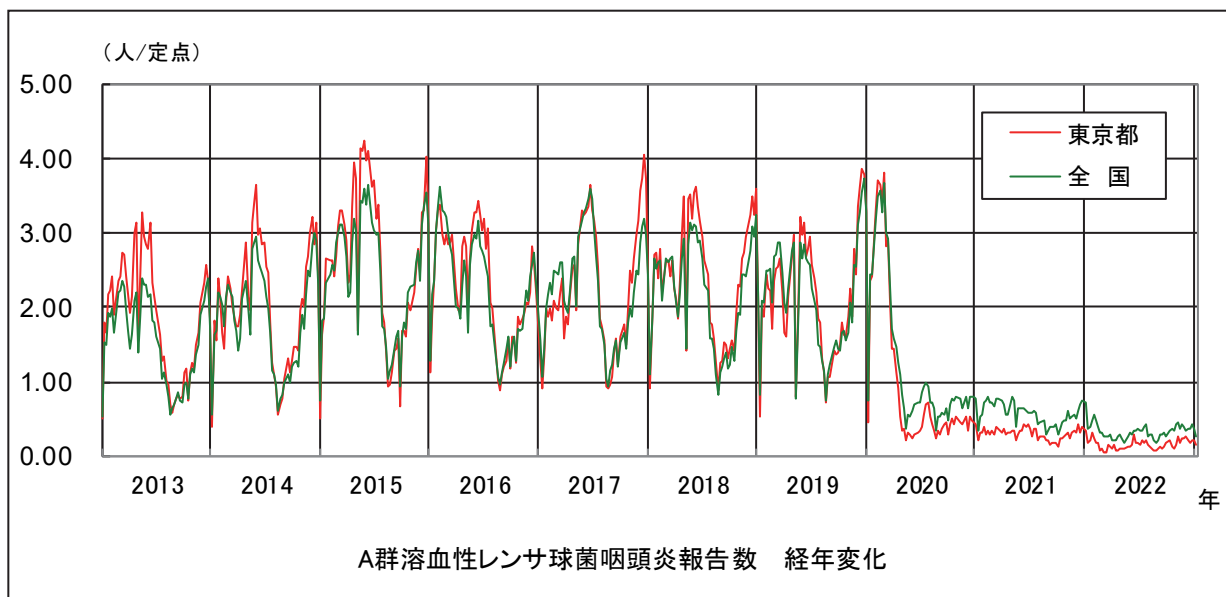
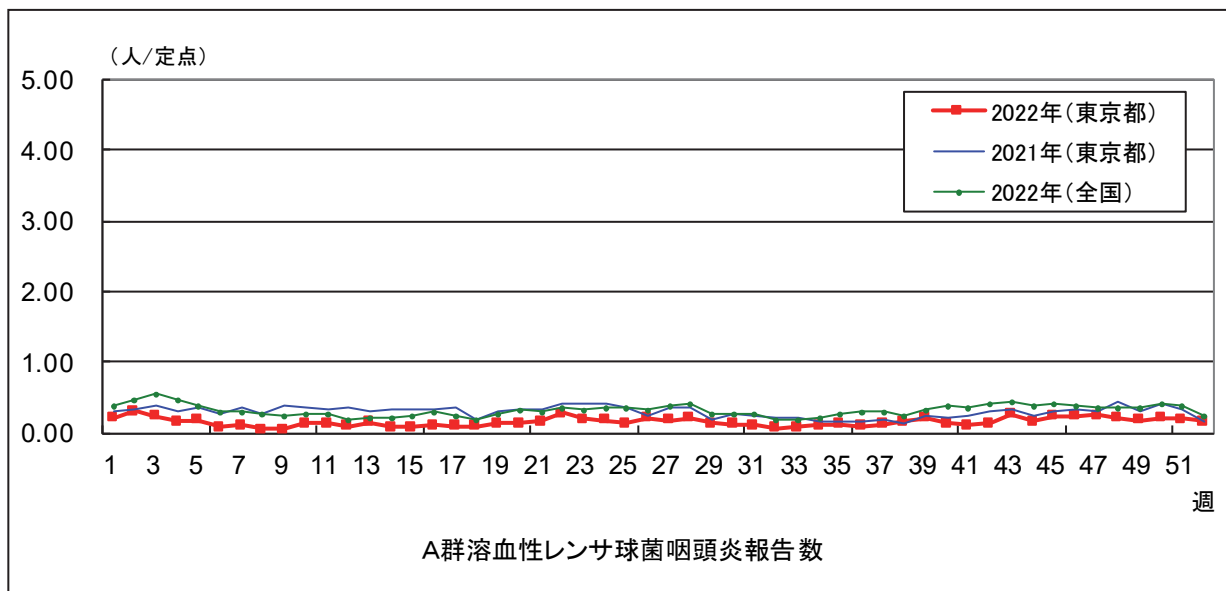
エ A群溶血性レンサ球菌咽頭炎

2022年の報告数は2,094人であり、定点当たりの報告数は8.14人であった。ここ10年の定点当たりの報告数の平均は88.46人であり、2022年の報告数はここ10年では最も少ない報告数であった。

週別定点当たりの報告数では特にピークは見られず、年間を通じて0.05人～0.31の間で推移した。

保健所別定点当たり報告数で最も多かったのは新宿区の24.71人、次いで多摩小平の17.33人、荒川区の17.17人であった。

年齢階級別報告数では2歳代が182人(8.7%)、3歳代が199人(9.5%)、4歳代が251人(12.0%)、5歳代が258人(12.3%)、6歳代が194人(9.3%)と、2歳代から6歳代で51.8%を占めている。



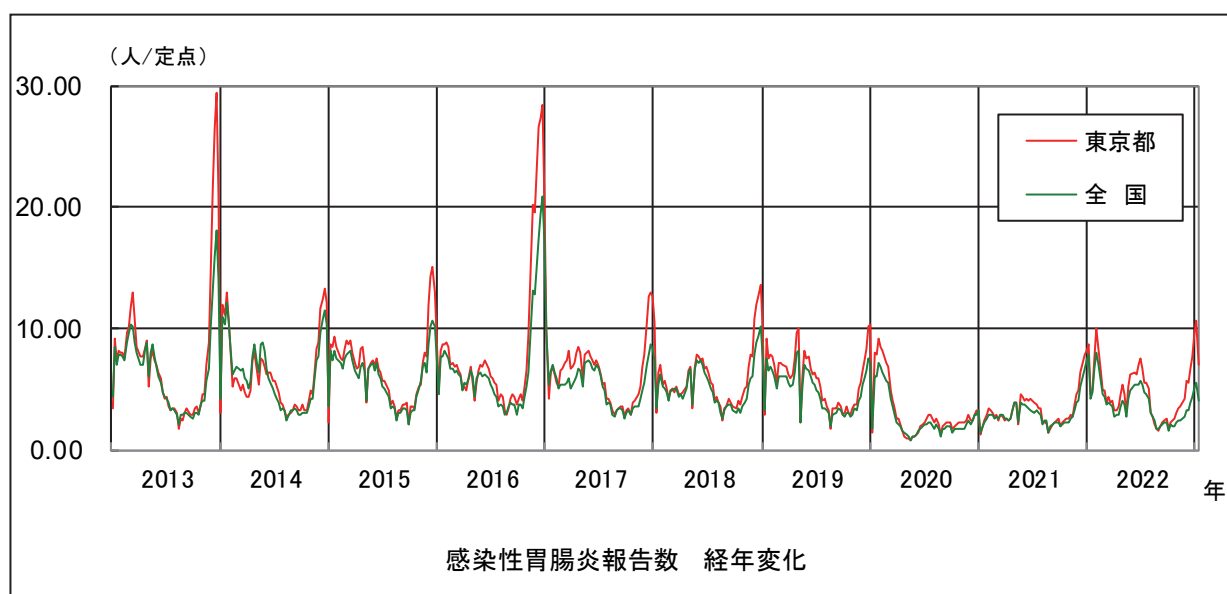
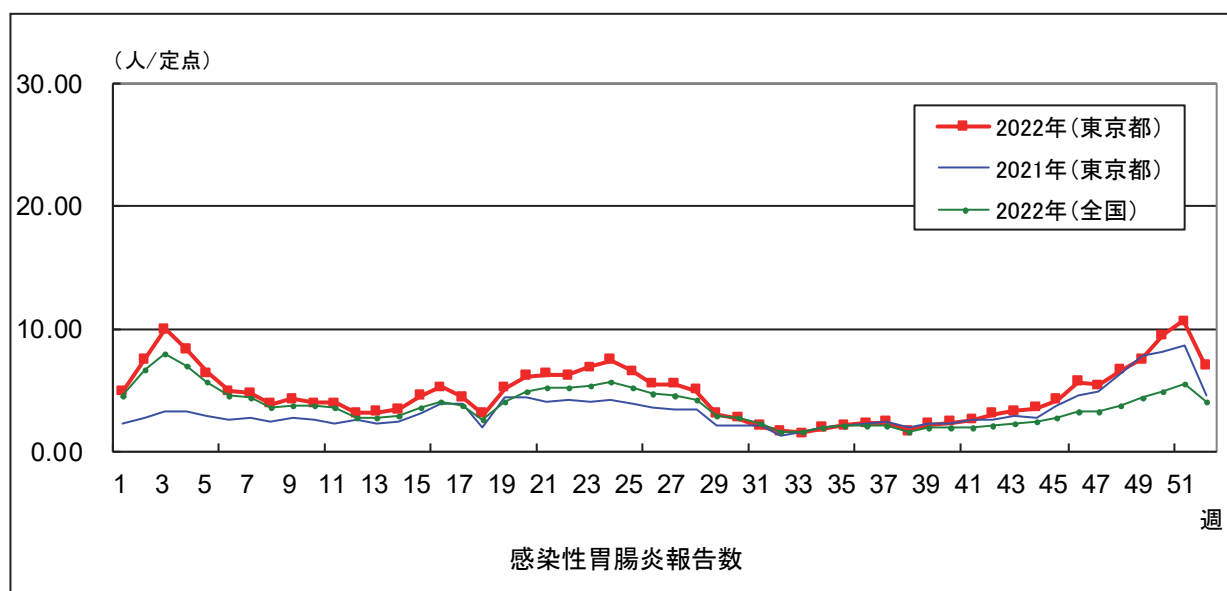
オ 感染性胃腸炎

2022年の報告数は63,079人、定点当たりの報告数は248.04人であった。ここ10年の定点当たりの報告数の平均300.22人であり、少なめではあるが新型コロナウイルス感染症（COVID-19）流行以前の例年並みの報告数に近づいた。

週別定点当たりの報告では、2週（1.10～1.16）から5週（1.31～2.6）にかけて、19週（5.9～5.15）から28週（7.11～7.17）にかけて、46週（11.14～11.20）から52週（12.26～1.1）にかけて、5.0人を超える3つの山があり、ピークは51週（12.19～12.25）の10.64人であった。

保健所別定点当たり報告数で最も多かったのは台東の602.50人であった。

年齢階級別報告数では1歳代が10,642人（16.7%）、2歳代が9,701人（15.2%）、3歳代が7,709人（12.1%）、4歳代が6,002人（9.4%）と、1歳代から4歳代で53.5%を占めている。



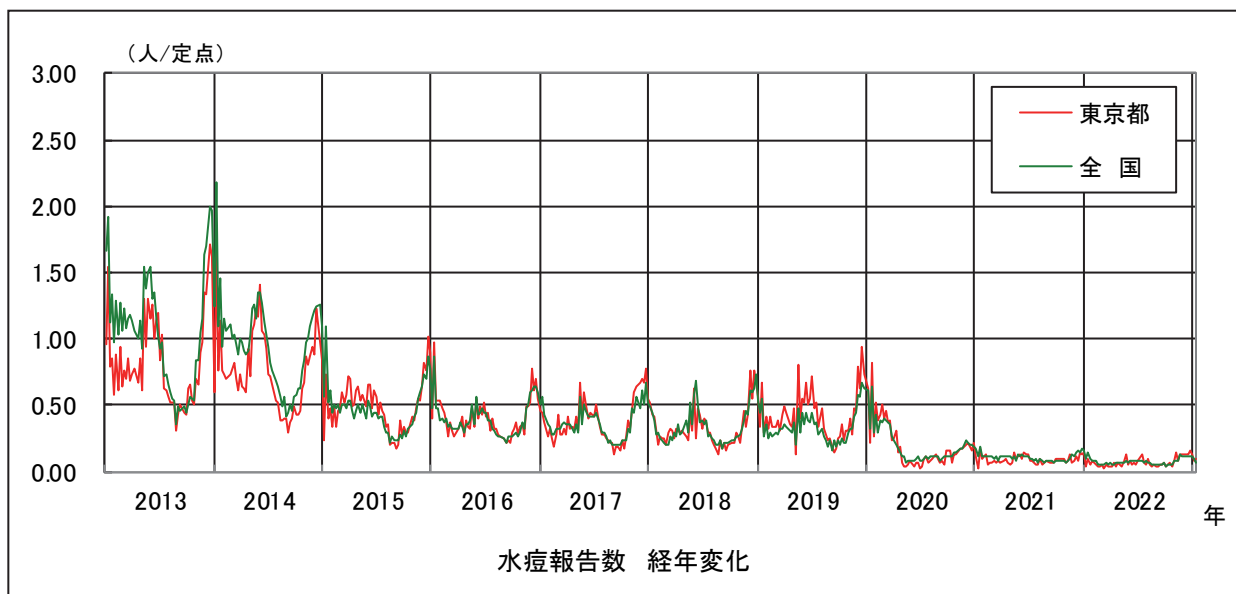
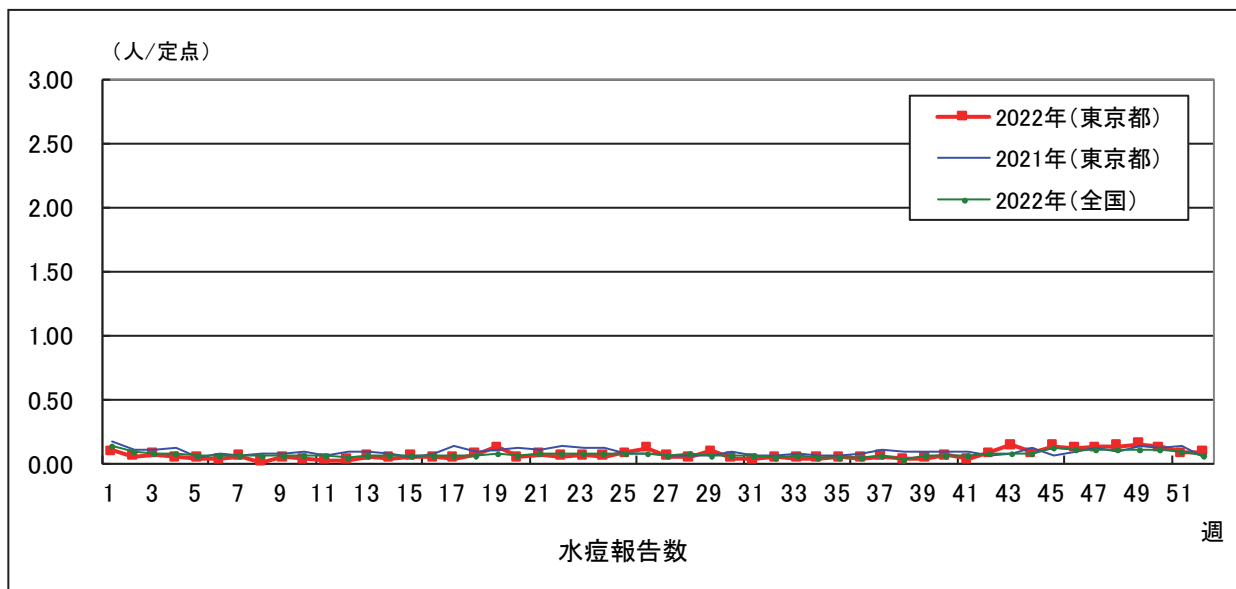
カ 水痘

2022年の報告数は990人、定点当たりの報告数は3.85人であった。ここ10年の定点当たりの報告数の平均は20.95人であり、2022年の報告数はこの10年では最も少ない報告数であった。

週別定点当たりの報告数は、年間を通じて0.15人以下で推移した。

保健所別定点当たり報告数で最も多かったのは八王子市の11.64人であった。

年齢階級別報告数では1歳代が114人（11.5%）、3歳代が95人（9.6%）で、10歳未満で801人（80.9%）だったが、10歳代も170人（17.1%）の報告があった。



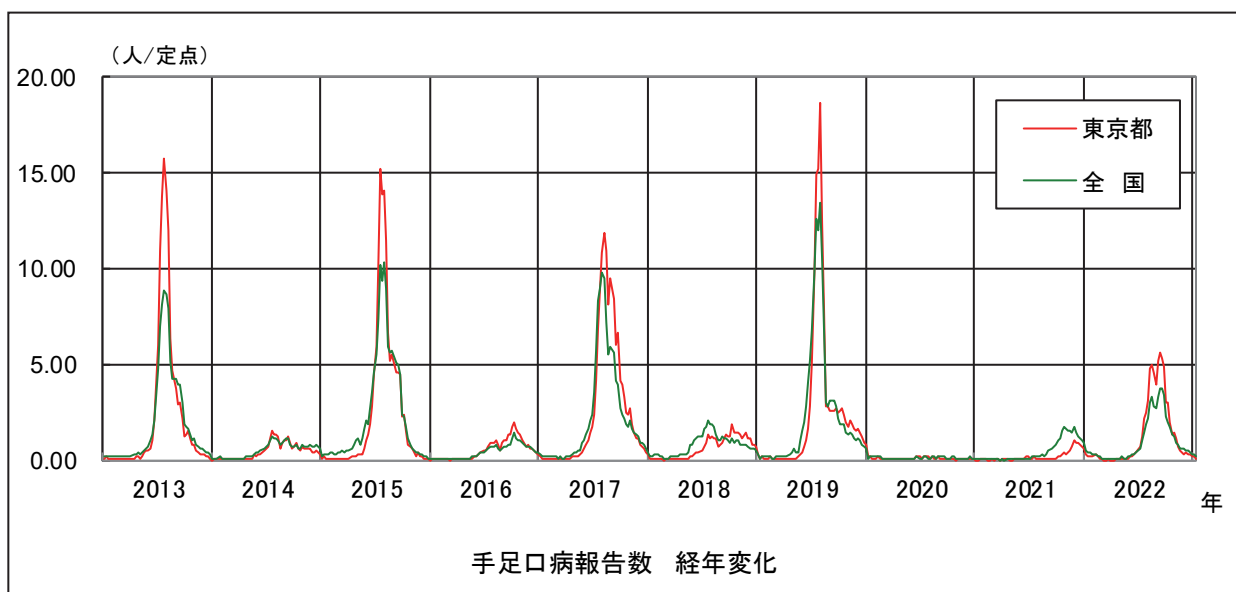
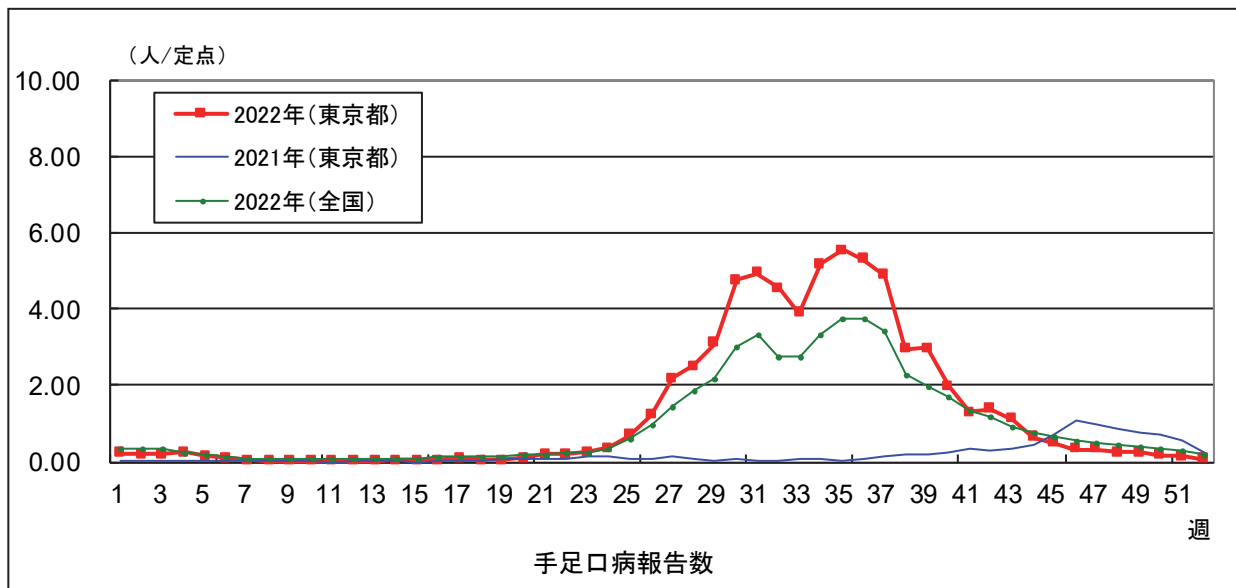
キ 手足口病

2022年の報告数は16,911人、定点当たりの報告数は65.92人であった。ここ10年の定点当たりの報告数の平均は66.55人であった。近年では2010年以降1年ごとに報告の多い年と少ない年を繰り返しており、2020年は報告数が少ない年に、2021年は報告数が多い年にあたっていたが、新型コロナウイルス感染症（COVID-19）に対する感染予防対策の影響もあってか、定点当たりの報告数は圧倒的に少ない報告数であった。この順番で行けば2022年は報告数が少ない年にあたるが、報告数が少なかった2021年の反動や、新型コロナウイルス感染症（COVID-19）に対する予防行動の変化の影響もあってか、大きく報告数が増加した。

週別定点当たりの報告数では、年初から1.0人未満で推移していたが、26週（6.27～7.3）に1.21人と1.0人を超え増加傾向を示し、35週（8.29～9.4）に5.56人とピークを迎え、以後減少して44週（10.31～11.6）に0.66人と1.0人未満となった。

保健所別定点当たり報告数で最も多かったのは、台東の121.50人で、次いで中野区が116.53人、八王子市が113.64人、多摩小平が113.36人、荒川区が111.67人であった。

年齢階級別報告数では1歳代が6,307人(37.3%)と最も多かった。



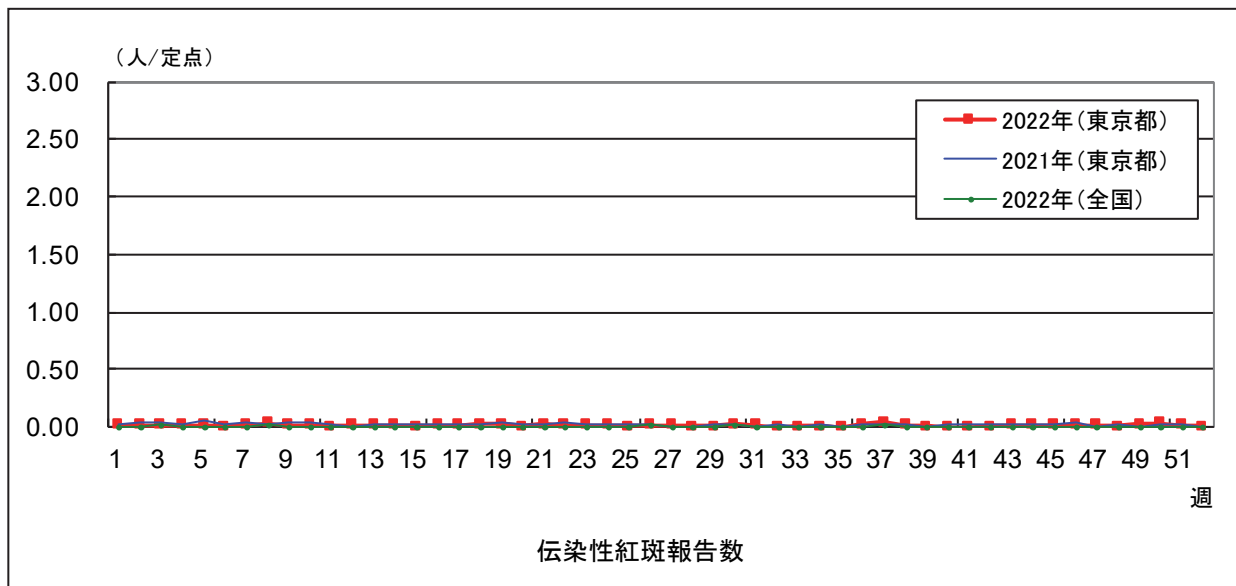
ク 伝染性紅斑

2022年の報告数は174人、定点当たりの報告数は0.68人であった。ここ10年の定点当たりの報告数の平均は14.78人であり、2022年の定点当たりの報告数はこの10年では最も少ない報告数であった。

週別定点当たりの報告数は、年間を通して0.04人以下で推移した。

保健所別定点当たり報告数で最も多かったのは板橋区の1.70人、次いで多摩小平が1.67人であった。

年齢階級別報告数では1歳代が44人(25.3%)、2歳代が25人(14.4%)、3歳代が22人(12.6%)と多かった。



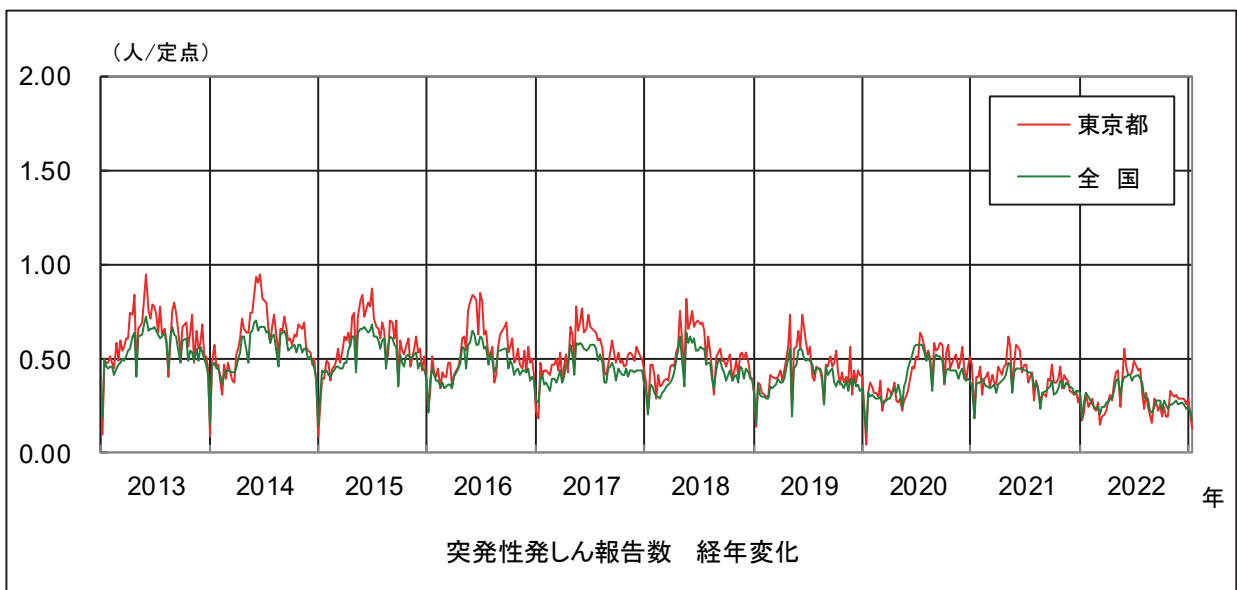
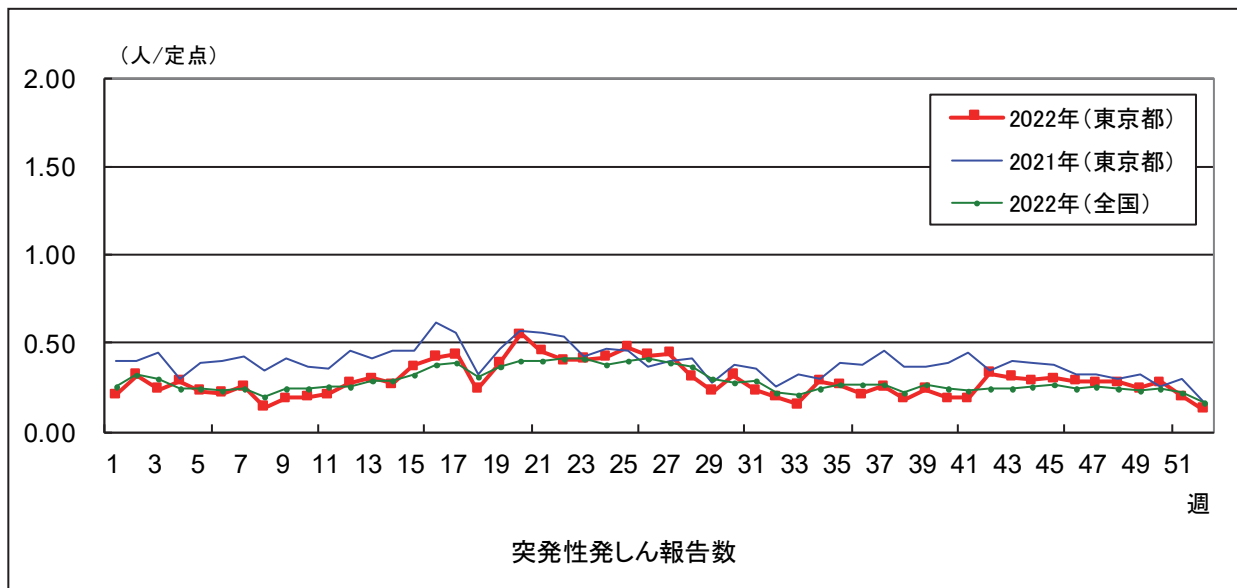
ケ 突発性発しん

2022年の報告数は3,889人、定点当たりの報告数は15.13人であった。ここ10年の定点当たりの報告数の平均は25.45人であり、2022年の定点当たりの報告数はここ10年では最も少ない報告数であった。

週別定点当たりの報告数では春から夏にかけて多い傾向はみられるが季節変動は少なかった。

保健所別定点当たり報告数で最も多かったのは荒川区の32.08人であった。

年齢階級別報告数では1歳代が2,025人（52.1%）と最も多かった。



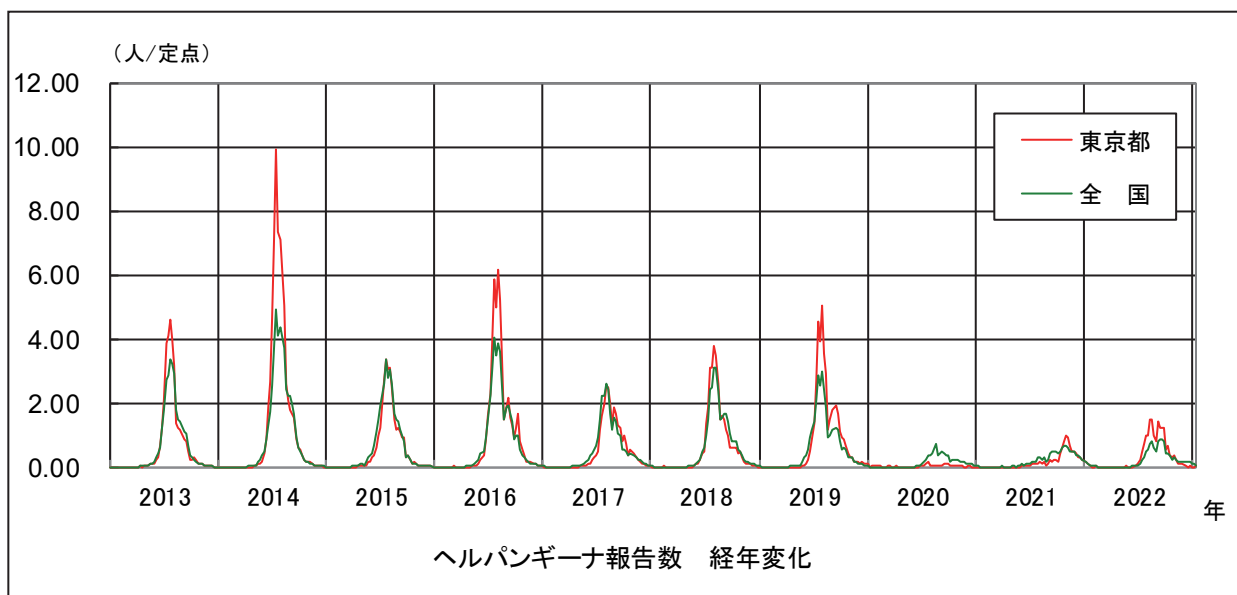
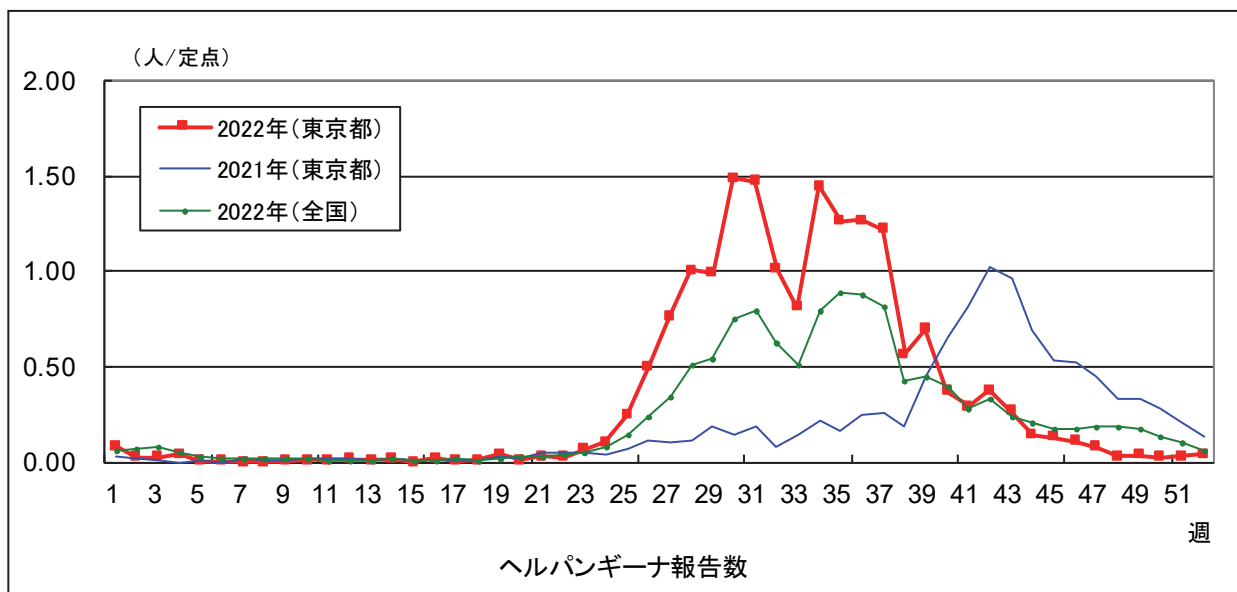
コ ヘルパンギーナ

2022年の報告数は4,423人、定点当たりの報告数は17.23人であった。ここ10年の定点当たりの平均は30.16人であり、2022年の定点当たりの報告数はここ10年では2020年、2021年に次いで少ない報告数であった。

週別定点当たりの報告数では、年初から0.10人未満で推移していたが、24週（6.13～6.19）に0.11人とやや増えたあと増加傾向を示し、28週（7.11～7.17）に1.00人となった後、1.0人前後で推移した。ピークは30週（7.25～7.31）の1.49人であった。38週（9.19～9.15）には0.57人と1.0人未満となり、47週（11.21～11.27）に0.08人となった後は、0.10人未満で推移した。

保健所別定点当たり報告数で最も多かったのは八王子市の40.64人であった。

年齢階級別報告数では1歳代が1,275人（28.8%）と最も多く、次いで2歳代が1,232人（27.9%）であった。



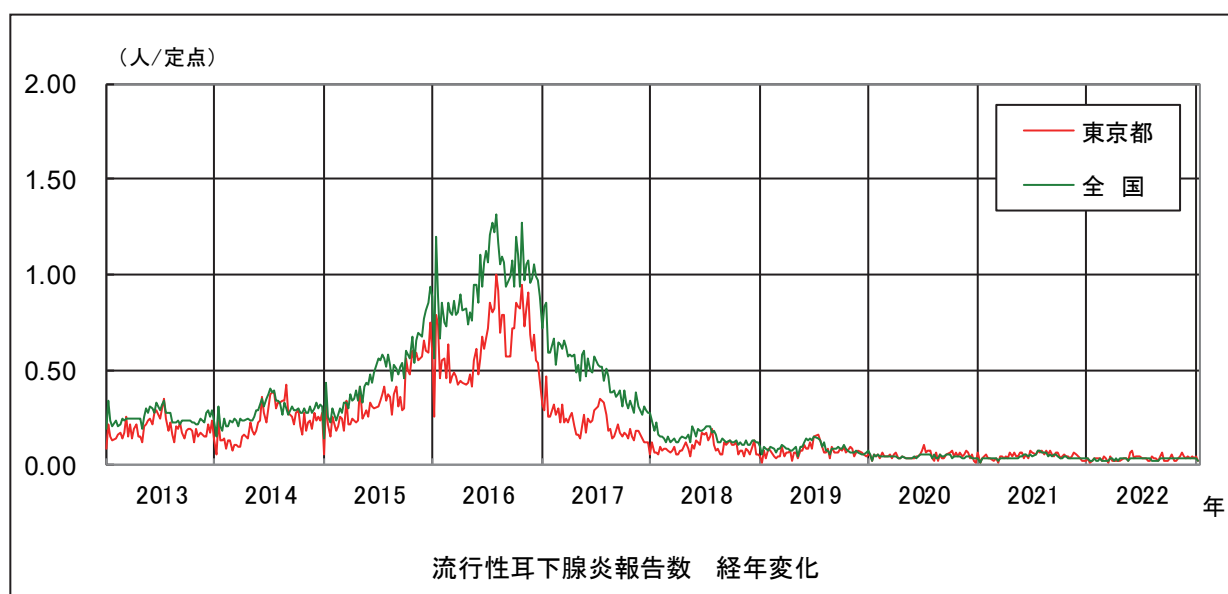
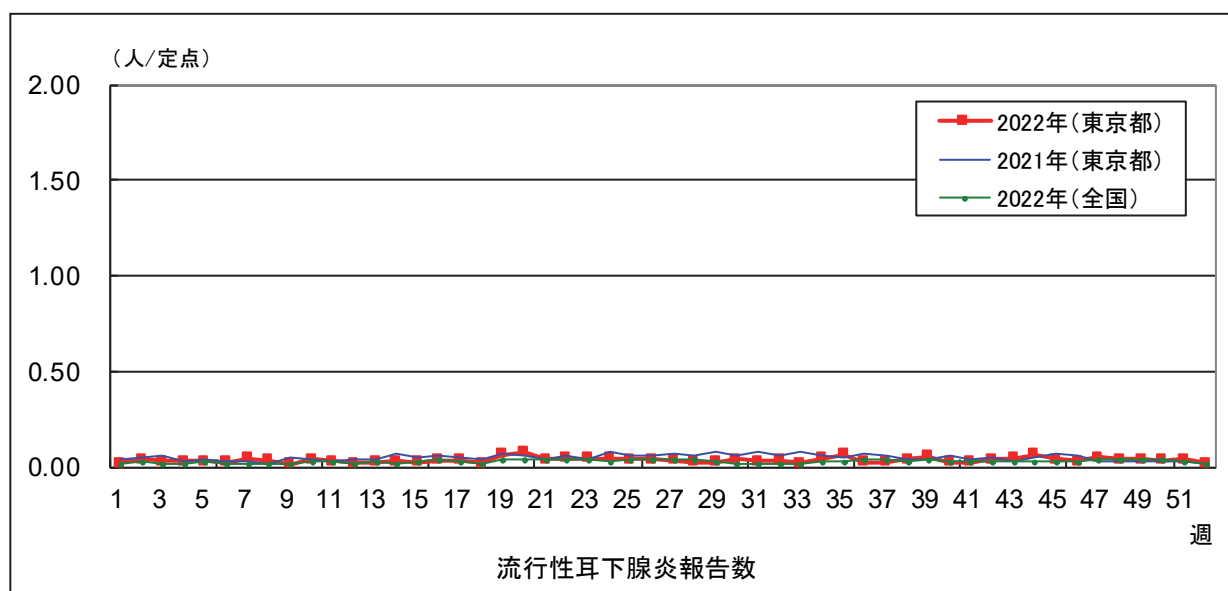
サ 流行性耳下腺炎

2022年の報告数487人、定点当たりの報告数は1.89人であった。ここ10年の定点当たりの報告数の平均は10.00人であり、2022年の報告数はここ10年で最も少ない報告数であった。ここ10年では2016年に大きな流行があった。

週別定点当たりの報告数では季節変動は明らかではない。年間を通して0.08人以下で推移した。

保健所別定点当たり報告数で最も多かったのは八王子市の3.45人、次いで南多摩の3.44人であった。

年齢階級別報告数では5歳代が77人(15.8%)と最も多かった。



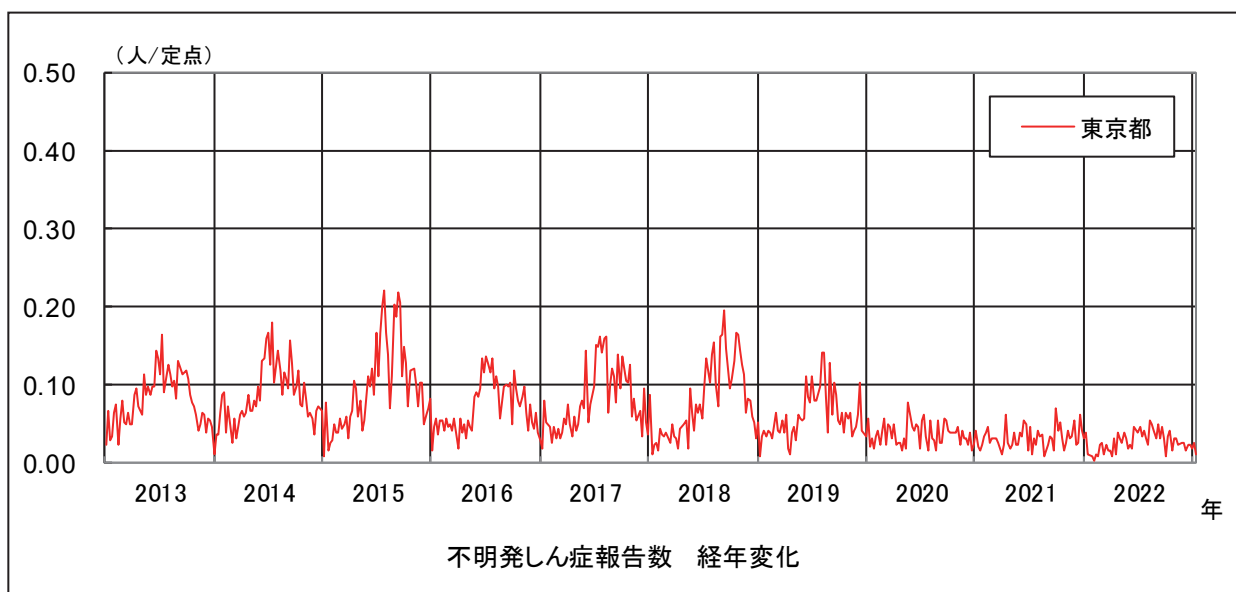
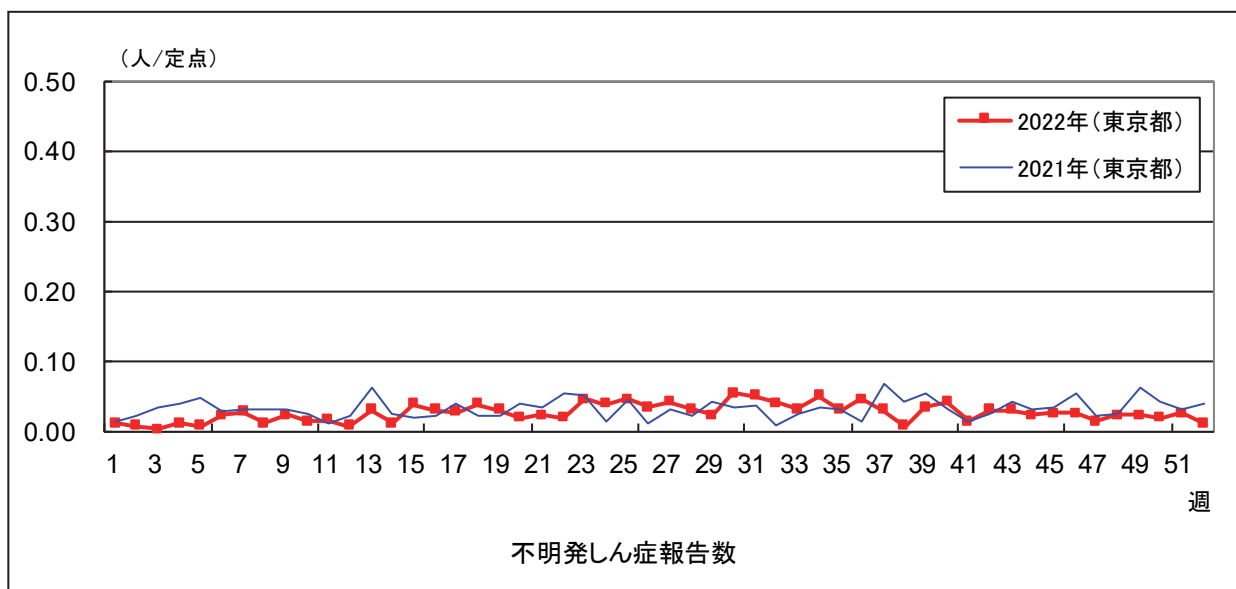
シ 不明発しん症

2022年の報告数は360人であり、定点当たりの報告は1.40人であった。ここ10年の定点当たりの報告数の平均は3.41人であり、2022年の報告数はここ10年で最も少ない報告数であった。

週別定点当たりの報告数では、2022年は季節変動は顕著ではなかった。年間を通して0.05人以下で推移した。

保健所別定点当たり報告数で最も多かったのは杉並の4.19であった。

年齢階級別報告数では1歳代が100人（27.8%）と最も多かった。



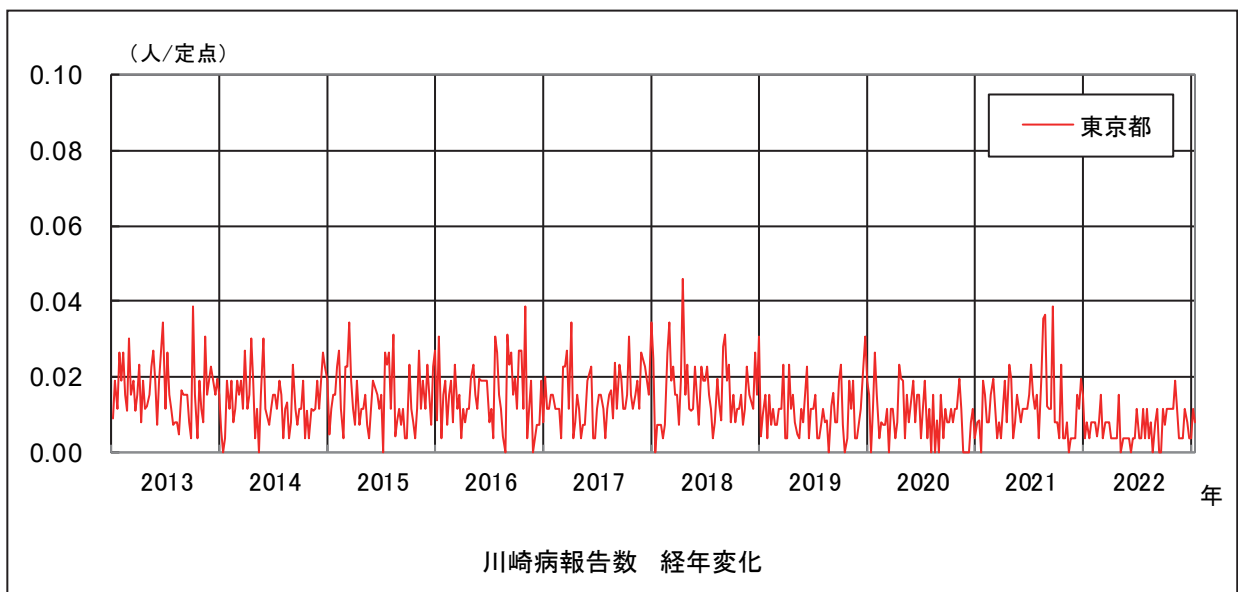
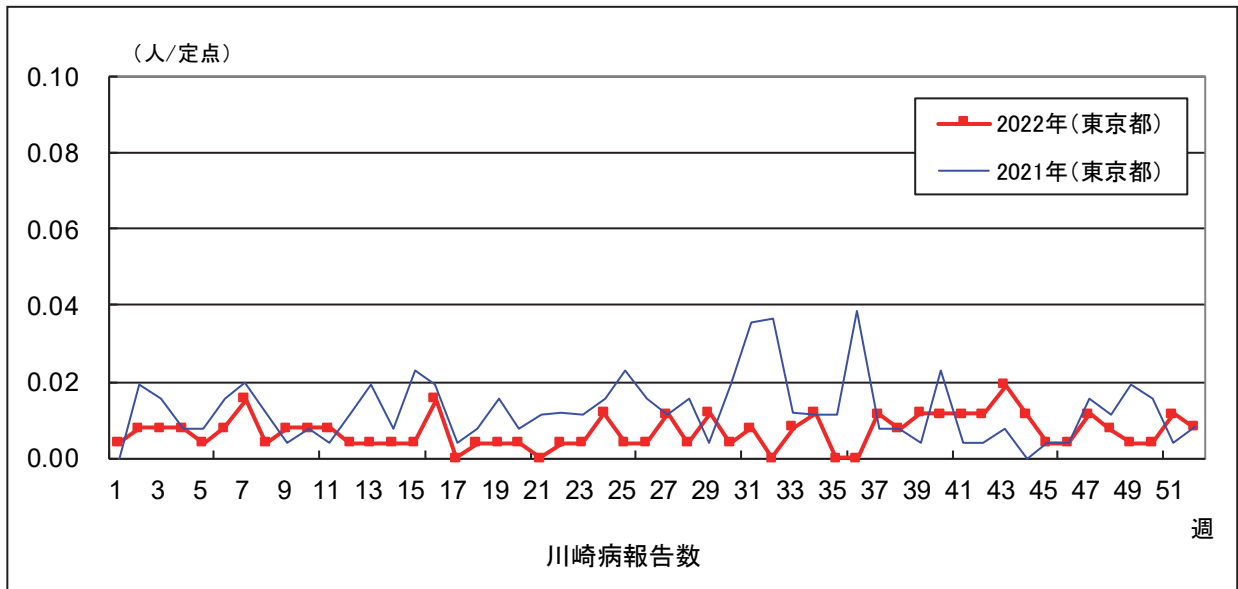
ス 川崎病

2022年の報告数は93人であり、定点当たりの報告数は0.36人であった。ここ10年の定点当たりの報告数の平均は0.68人であり、2022年は、ここ10年でみると最も少ない報告数であった。

週別定点当たりの報告数では例年と同様に季節変動は明確でない。

保健所別定点当たり報告数で最も多かったのは杉並の2.13人であった。

年齢階級別報告数では1歳代が34人（36.6%）と最も多かった。



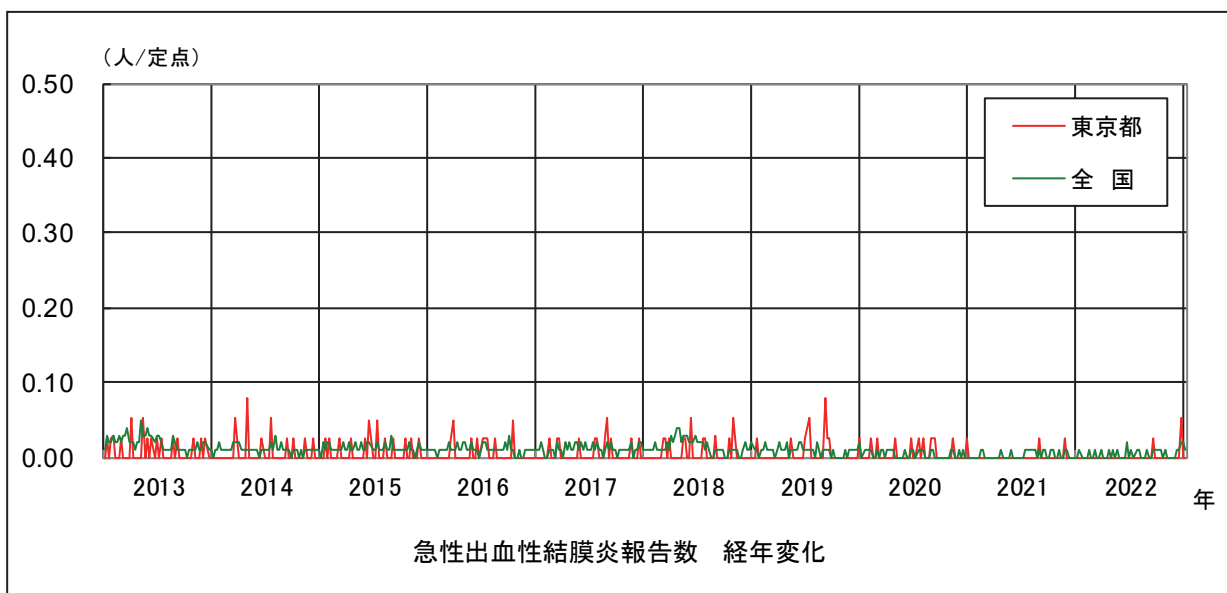
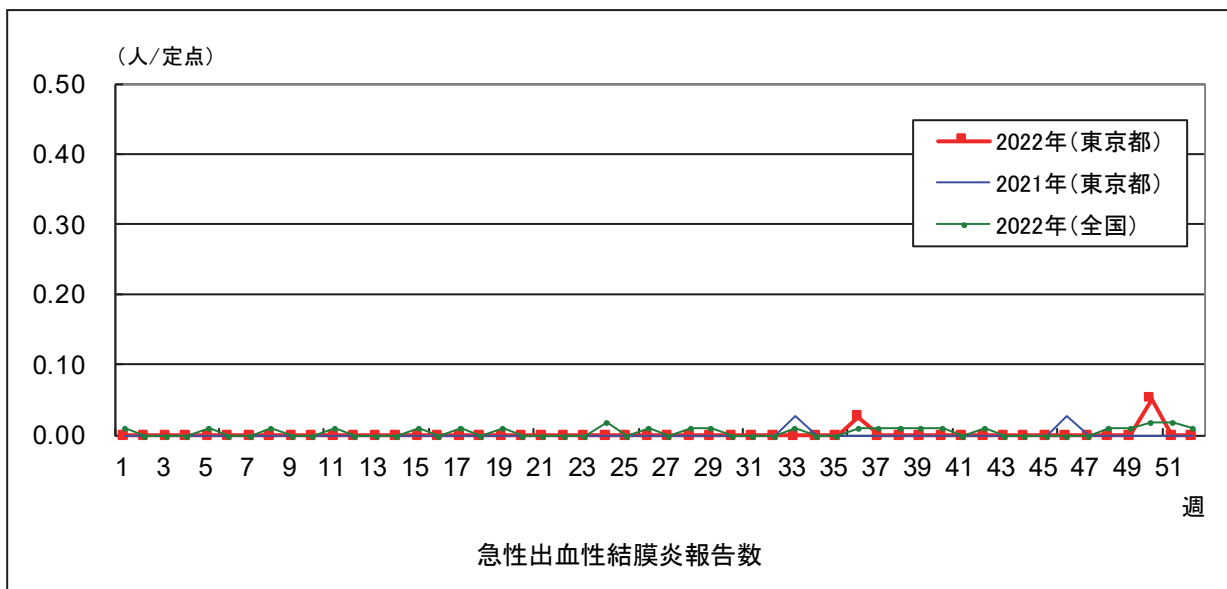
(3) 眼科疾患

ア 急性出血性結膜炎

2022年の報告数は3人、定点当たり0.08人だった。過去10年間の平均年間報告数10.80人、定点当たり0.28人よりも少数であった。

患者発生数は、36週(9.5～9.11)で1人、50週(12.12～12.18)で2人であり、その他は報告はなかった。全国的にも低いレベルの発生が続いており、東京も同様だった。

二次医療圏別では眼科定点のある12医療圏のうち、報告のあったのは2医療圏で、区西部圏が1人、区西南部圏が2人であった。報告年齢は30～39歳だけで100%を占めた。

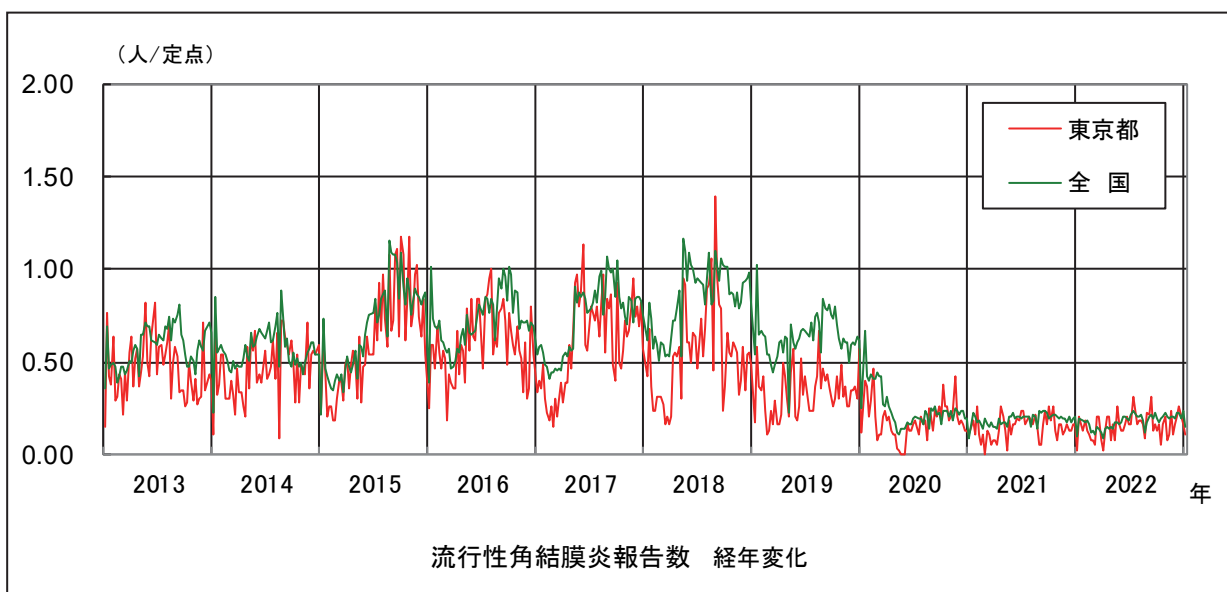
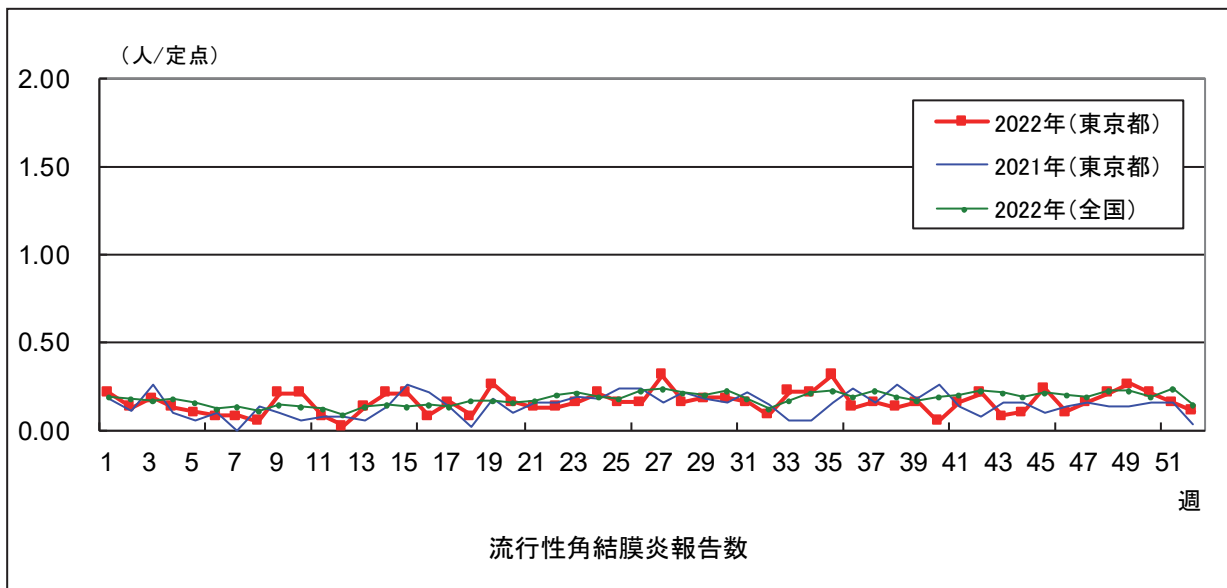


イ 流行性角結膜炎

2022年の報告数は311人、定点あたり8.21人だった。過去10年間の平均年間報告数814.70人、定点あたり21.34人よりも少数であった。

患者発生数は、19週（5.9～5.15）、27週（7.4～7.10）、35週（8.29～9.4）、49週（12.5～12.11）が10人以上と多く、その他はほぼ平坦化していた。

二次医療圏別では、定点あたり報告数では区中央部圏54.00人、区西北部圏46.50人、区西南部圏44.00人と多かった。報告年齢は20～49歳が202人と65.0%を占め、20歳以上の成人だけで272人（87.5%）だった。10歳未満は24人（7.7%）で、各年齢層に分布していた。



(4) 基幹定点医療機関における週報告疾患

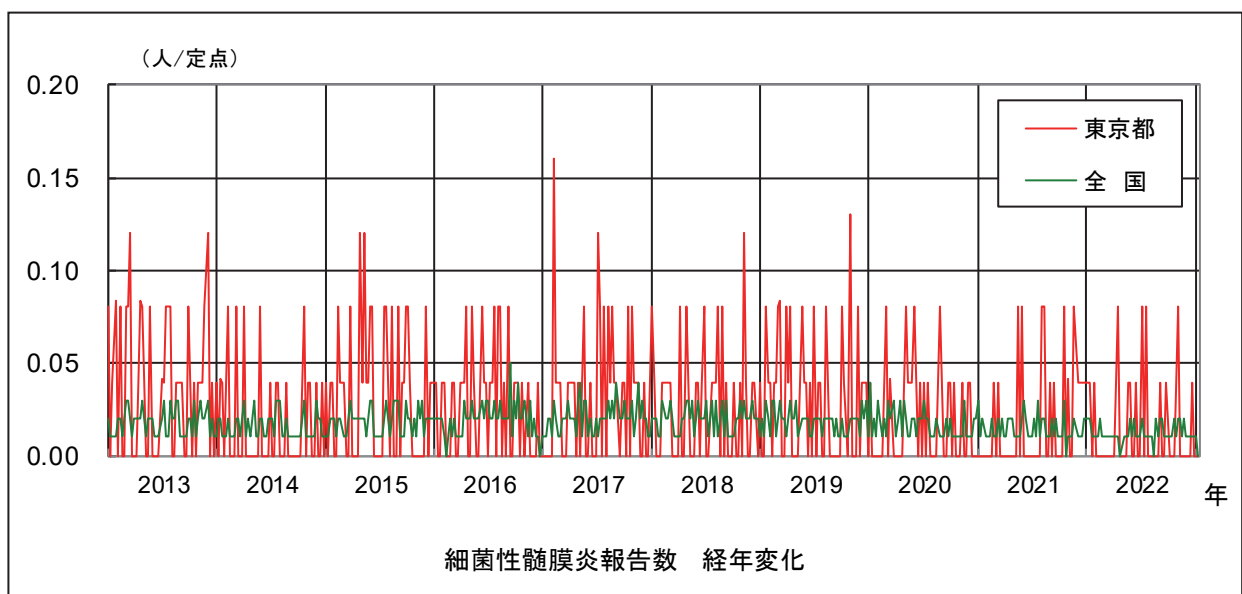
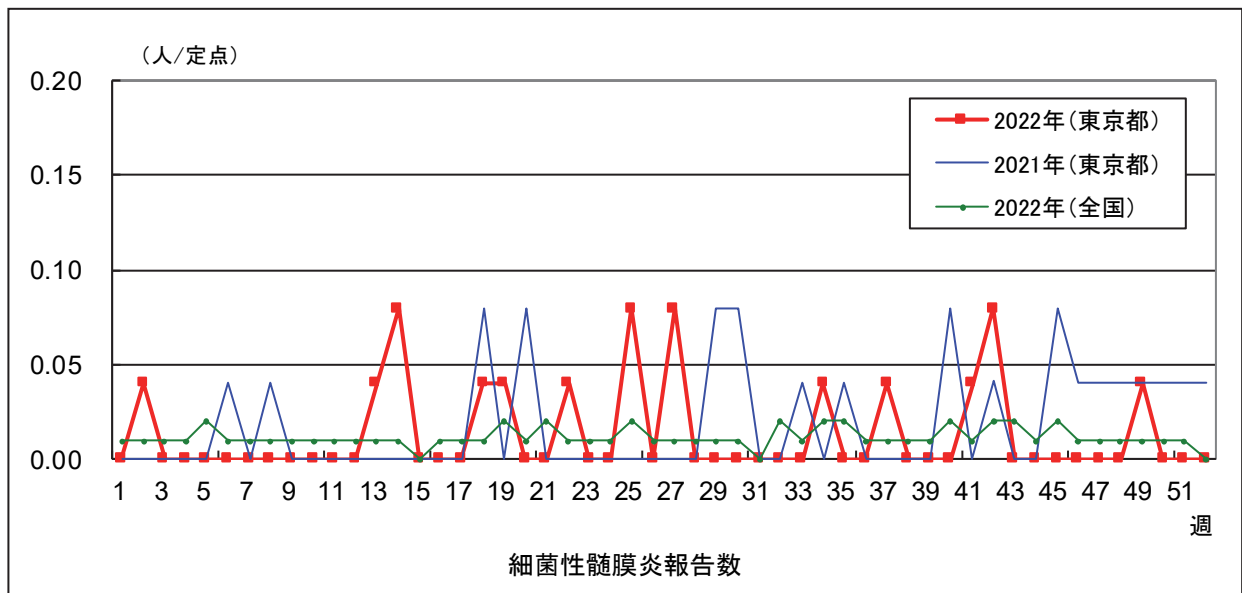
ア 細菌性髄膜炎

2022年の報告数は17人、定点当たり報告数は0.68人であった。ここ10年の定点当たりの報告数の平均は1.28人であり、2022年は、ここ10年でみると最も少ない報告数であった。

週別定点当たりの報告数では年間を通じて散発しており季節変動は明らかではない。

保健所別定点当たり報告数で最も多かったのは世田谷区の3.50人であった。

年齢階級別報告数では6か月未満が5人(29.4%)であった。



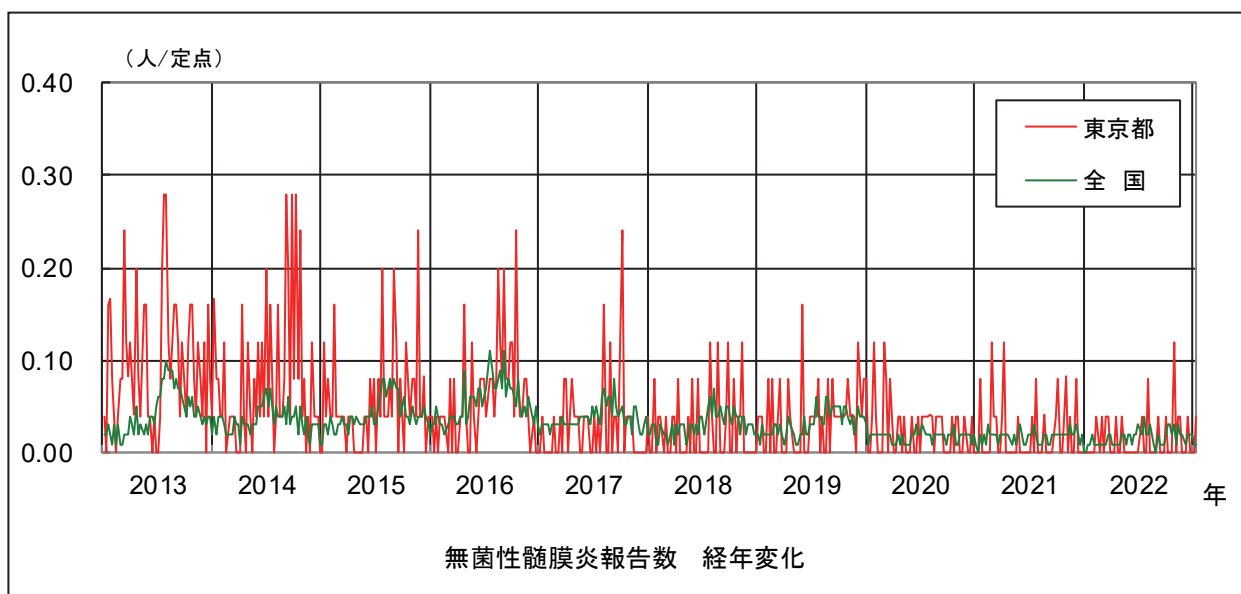
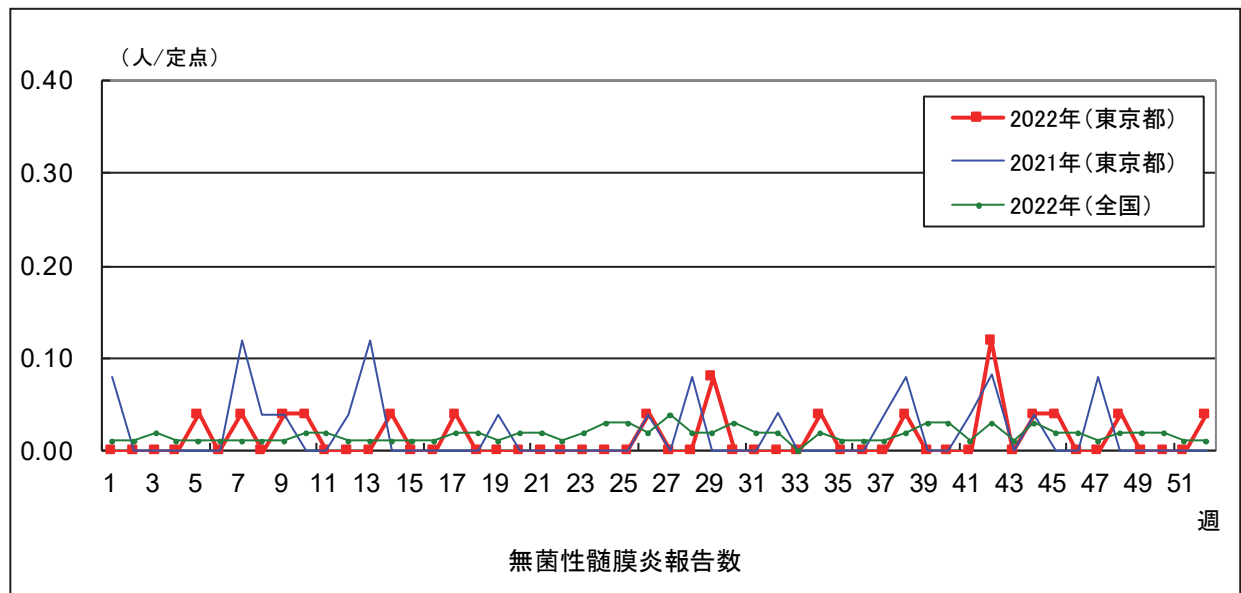
イ 無菌性髄膜炎

2022年の報告数は18人、定点当たり0.72人であった。ここ10年の定点当たりの報告数の平均は2.30人であり、2022年は、ここ10年では最も少ない報告数であった。

週別定点当たりの報告数では年間を通じて散発しており明らかな季節変動は見られなかった。

保健所別定点当たり報告数で最も多かったのは世田谷区の2.50人であった。

年齢階級別報告数では60歳以上が7人(38.9%)であった。



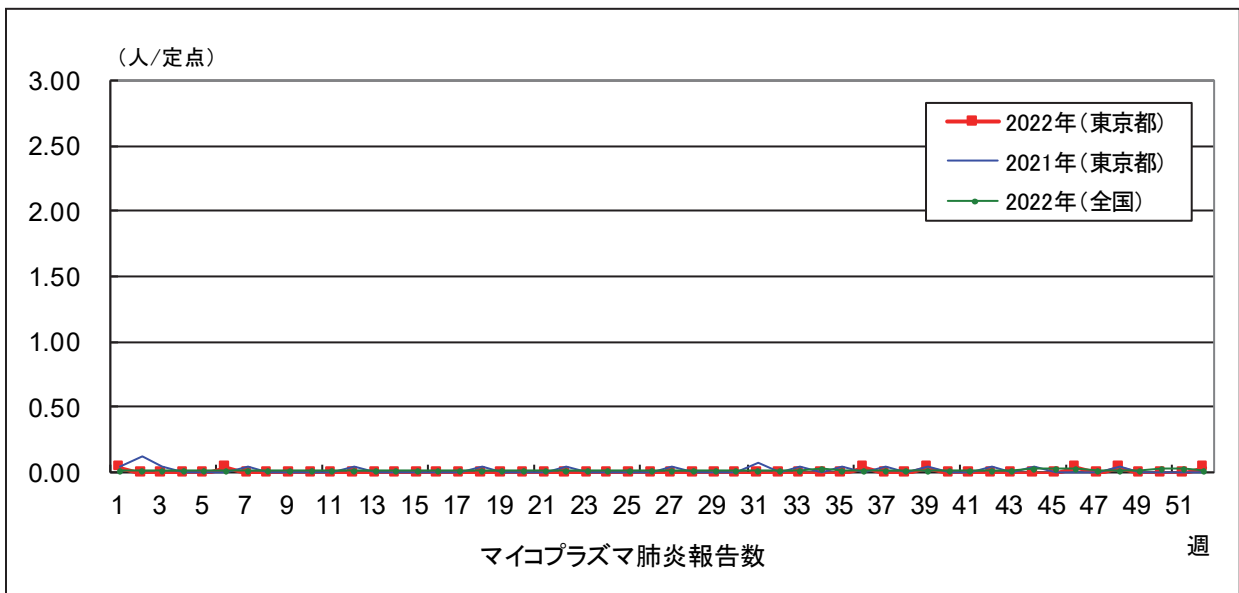
ウ マイコプラズマ肺炎

2022年の報告数は7人、定点当たりの報告数は0.28人であった。ここ10年の定点当たりの報告数の平均は14.33人であり、2022年はここ10年では最も少ない報告数であった。近年では2015年と2016年に大きな流行が見られた。

週別定点当たりの報告数では年間を通じて散発しており明らかな季節変動は見られなかった。

保健所別定点当たり報告数で最も多かったのは、みなとの2.00人であった。

年齢階級別報告数では4歳未満の報告はなく、60歳以上が3人（42.9%）であった。



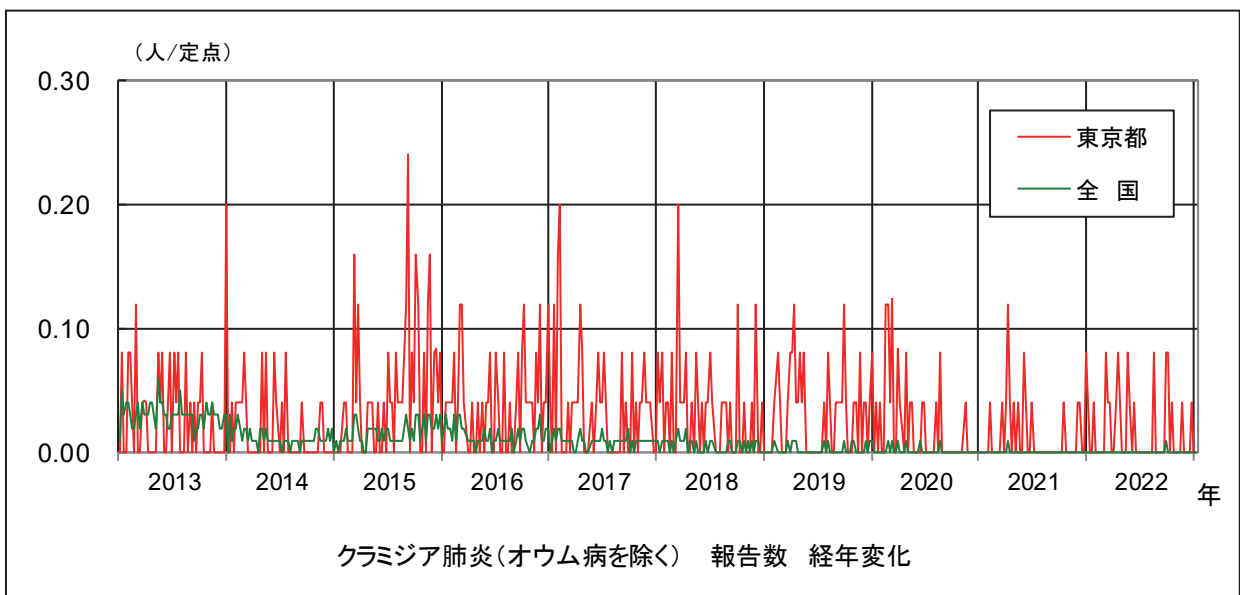
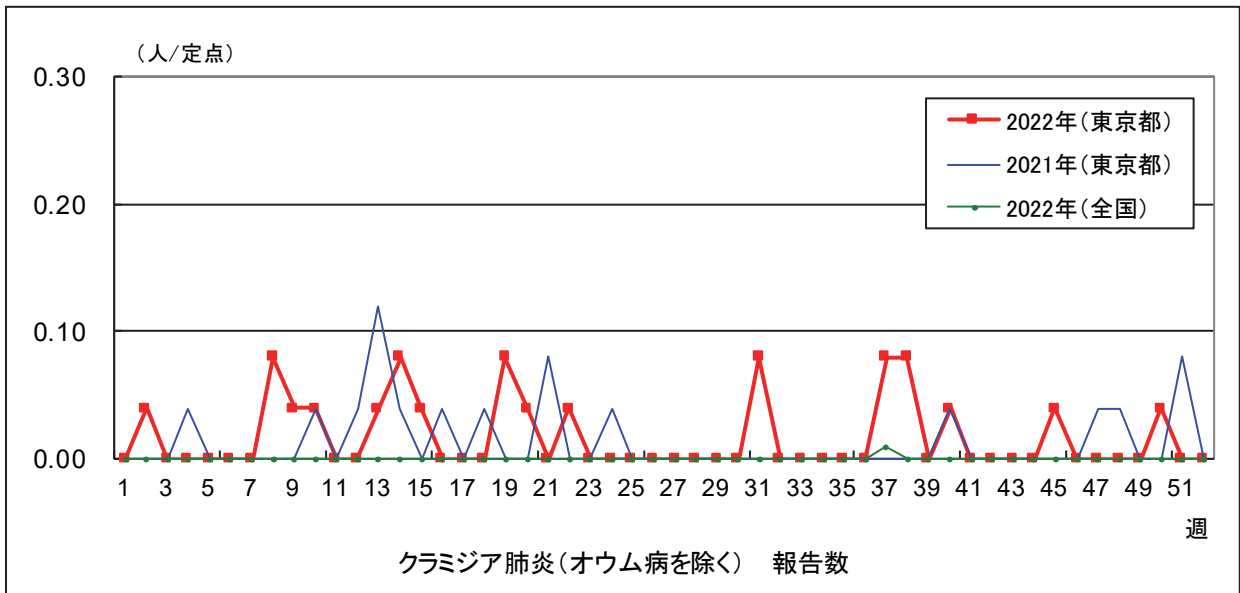
エ クラミジア肺炎（オウム病を除く）

2022年の報告数は22人であり、定点当たりの報告数は0.88人であった。ここ10年の定点当たりの報告数の平均は1.44人であり、少なめの報告数であった。

週別定点当たりの報告数では年間を通じて散発的に発生しており明らかな季節性は見られなかった。

保健所別定点当たり報告数で最も多かったのは、みなとの13.00人であった。

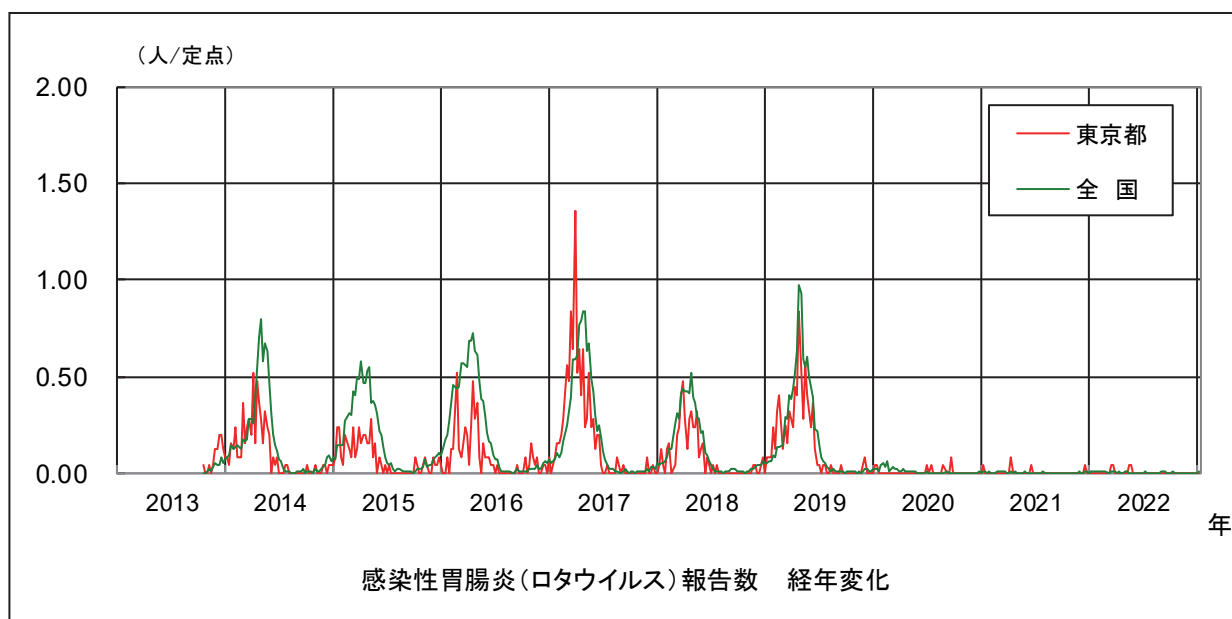
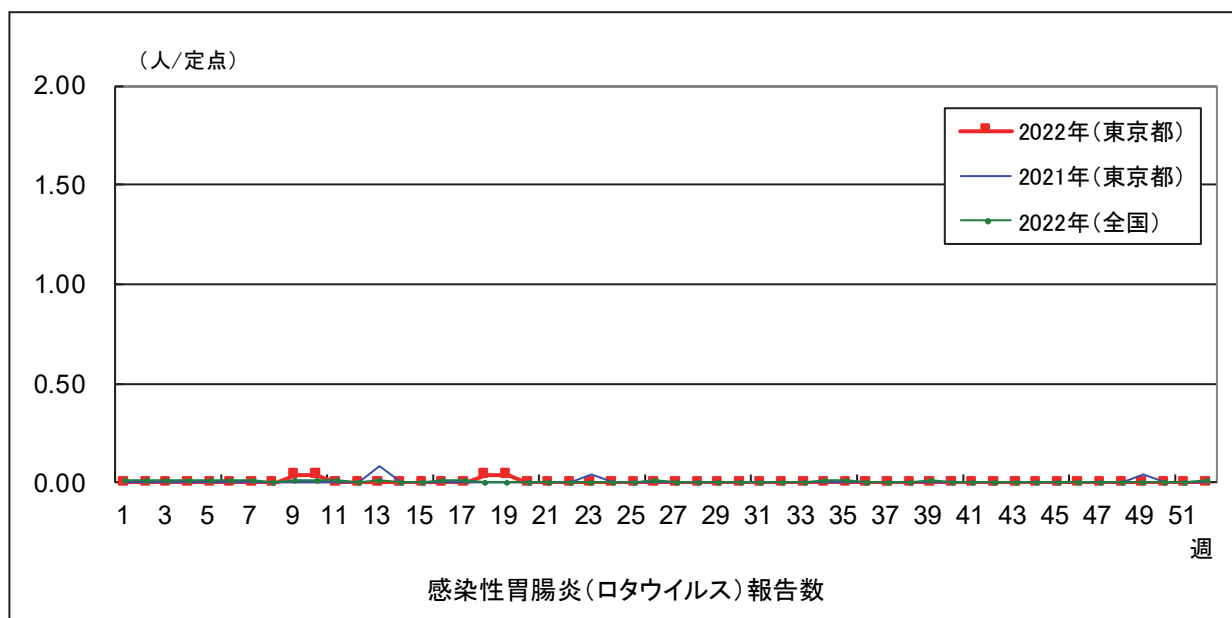
年齢階級別報告数では60歳以上が11人（50.0%）であった。



オ 感染性胃腸炎（ロタウイルスによる）

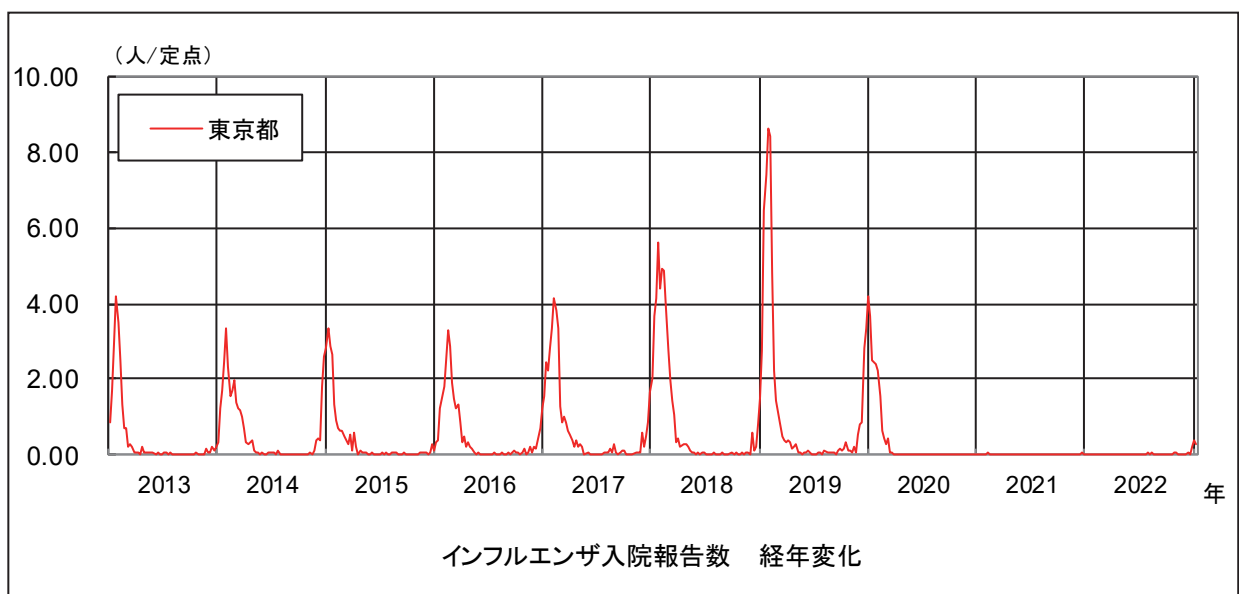
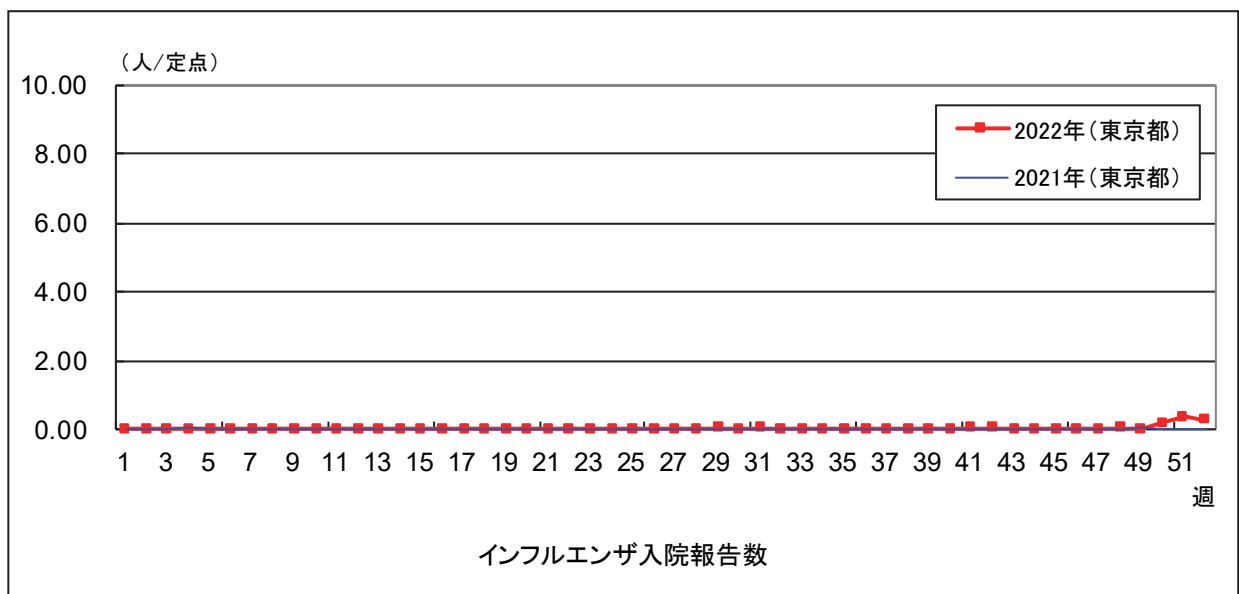
2022年の報告数は4人であり、定点当たりの報告数は0.16人であった。報告は2013年42週より開始されているが、2021年に引き続き報告開始以降、最も少ない報告数であった。

週別定点当たりの報告数では、明らかな季節性は見られなかった。



カ インフルエンザ入院

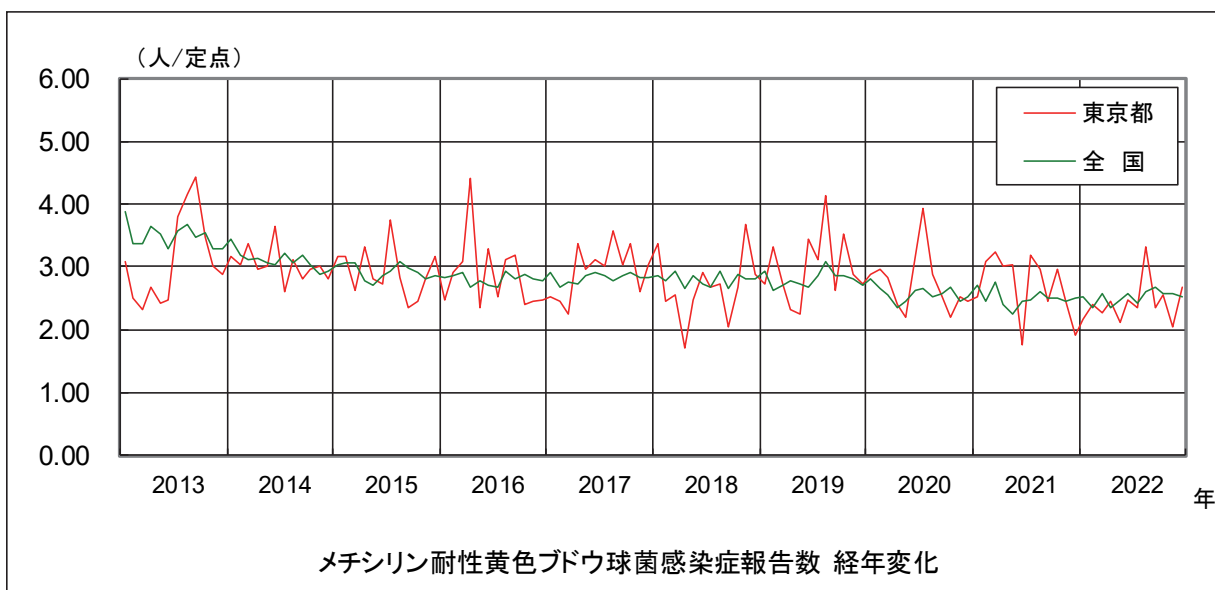
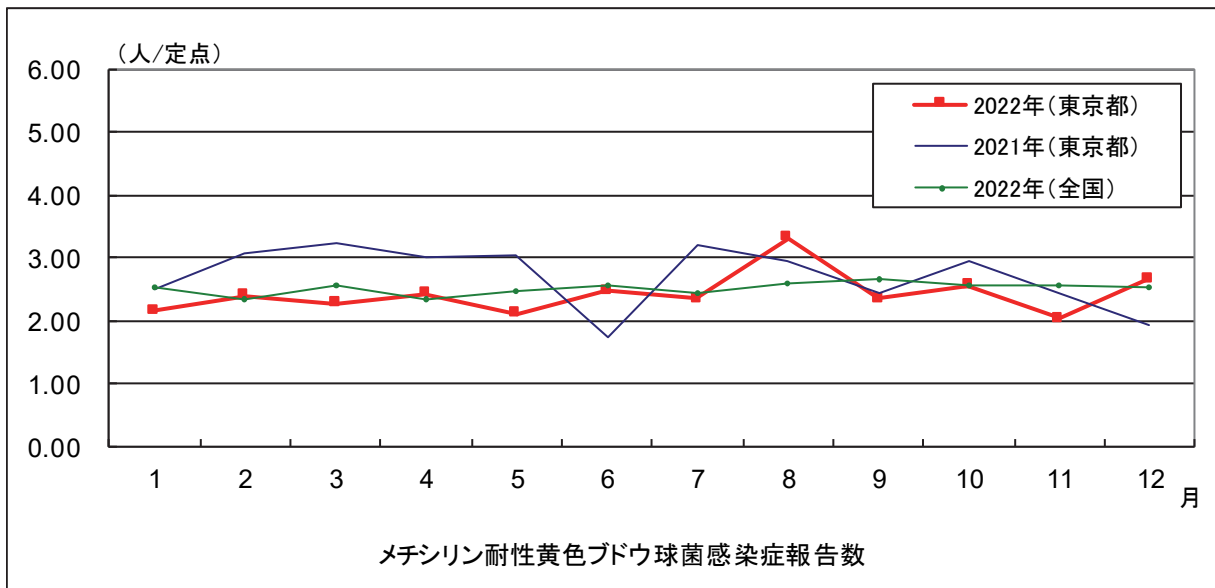
2022年の報告数は26人で、定点当たりの報告数は1.04人であった。ここ10年の定点当たりの報告数の平均は25.22人であり、2022年はここ10年でみると2021年に次いで少ない報告数であった。



(5) 基幹定点医療機関における月報告疾患

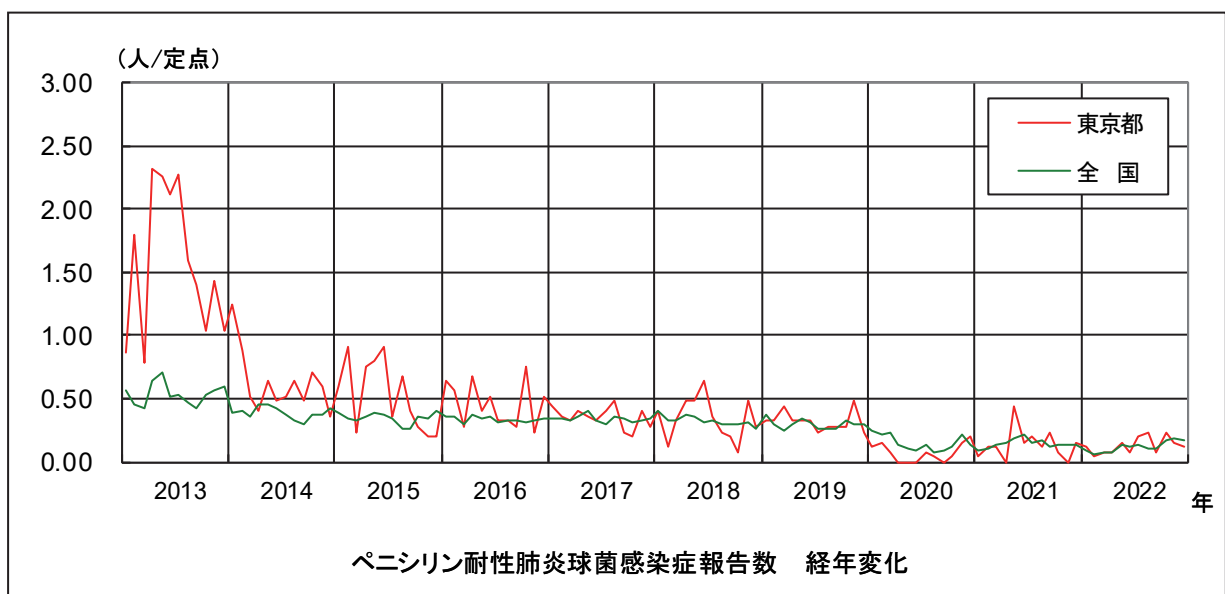
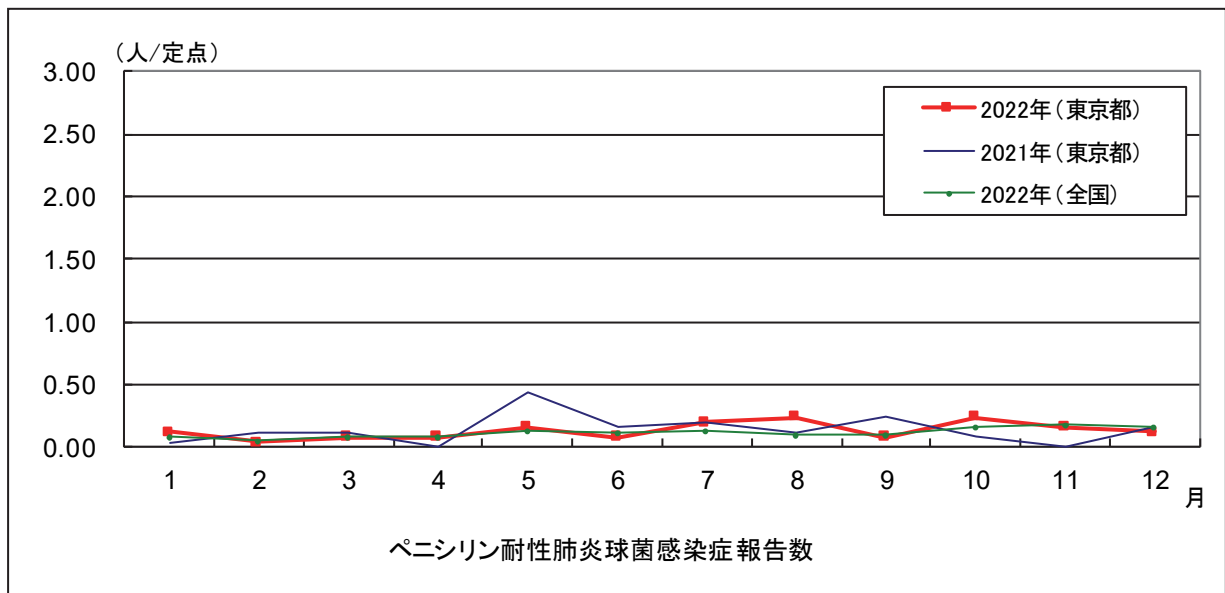
ア メチシリン耐性黄色ブドウ球菌 (MRSA) 感染症

2022年の報告数は731人、定点当たりの報告数は29.24人であった。ここ10年の定点当たりの報告数の平均は34.15人であり、2022年はここ10年でみると最も少ない報告数であった。



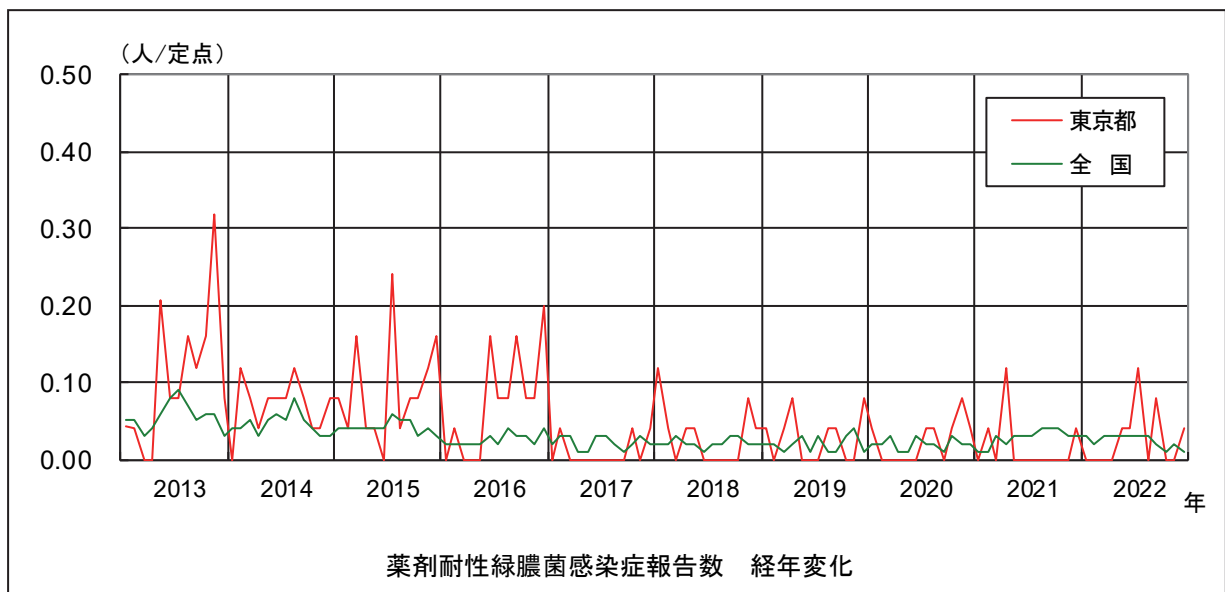
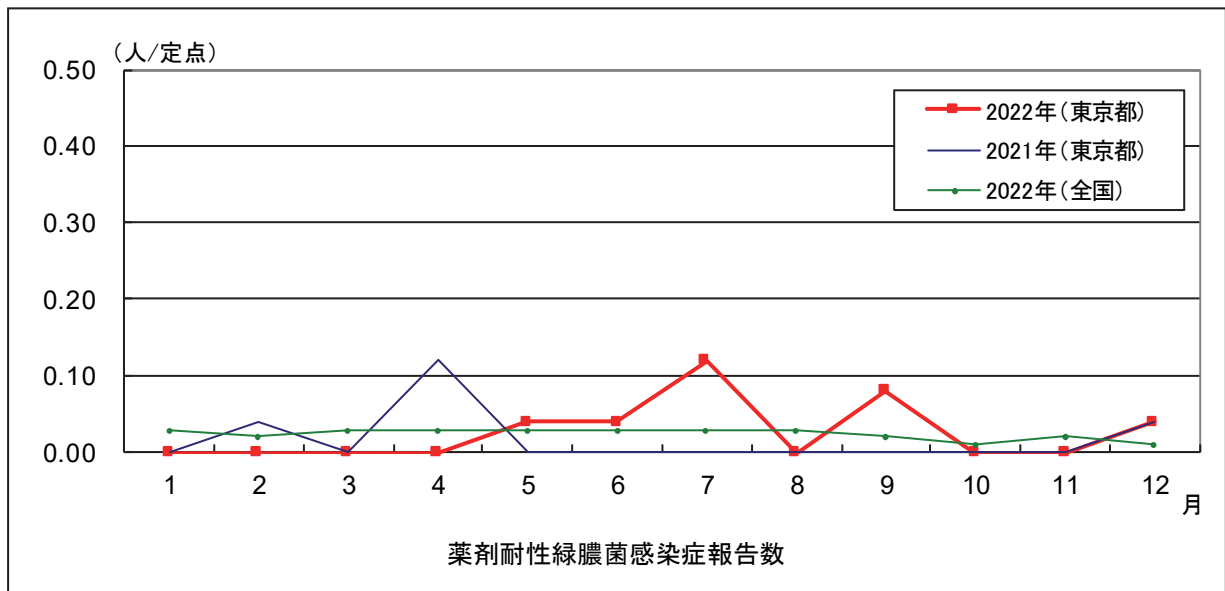
イ ペニシリン耐性肺炎球菌感染症

2022年の報告数は40人、定点当たりの報告数は1.60人であった。ここ10年の定点当たりの報告数の平均は5.46人であり、2022年は2020年に次いで少ない報告数であった。



ウ 薬剤耐性緑膿菌感染症

2022年の報告数は8人、定点当たりの報告数は0.32人であった。ここ10年の定点当たりの報告数の平均は0.57人であり、2022年はここ10年では少なめの報告数であった。



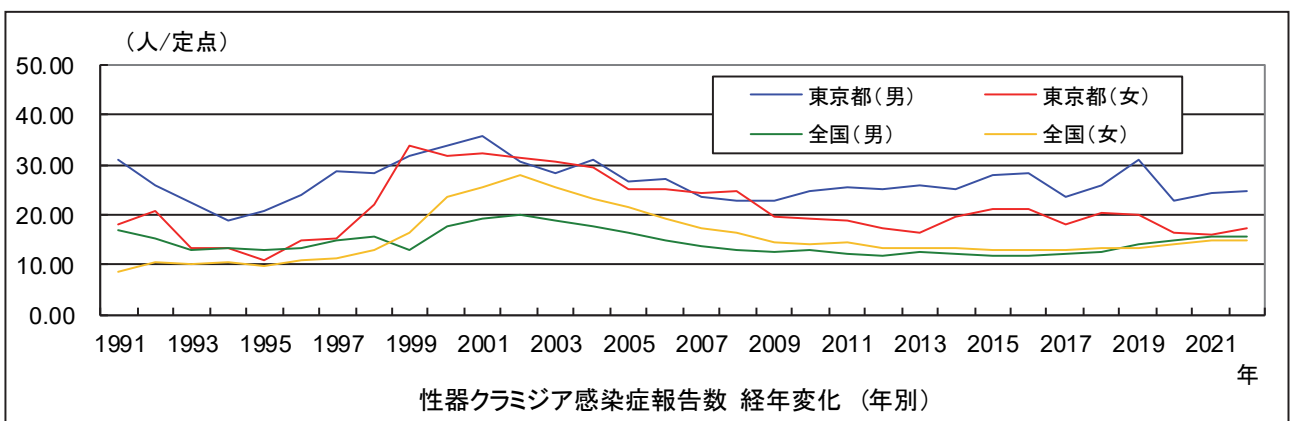
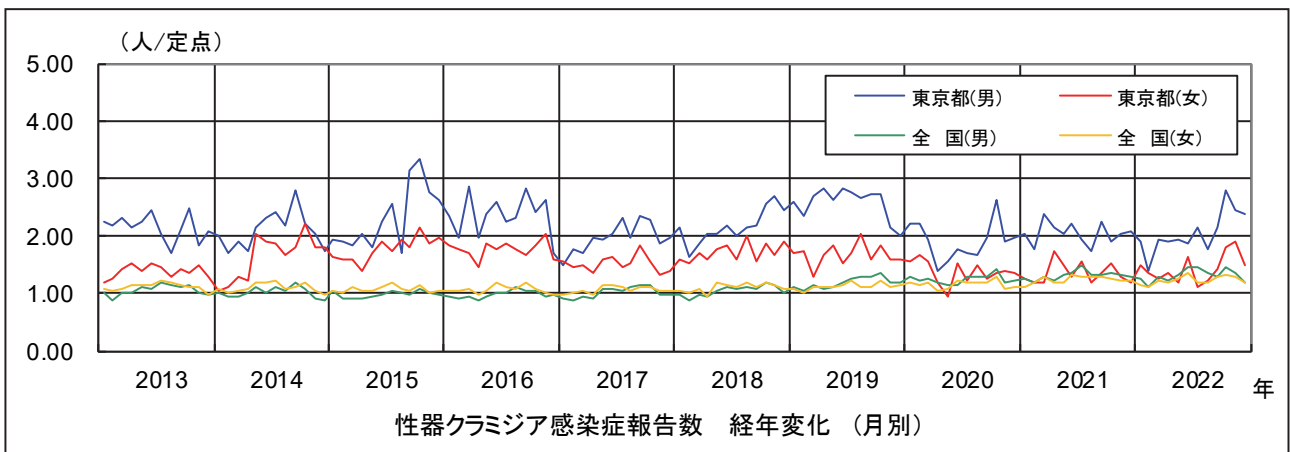
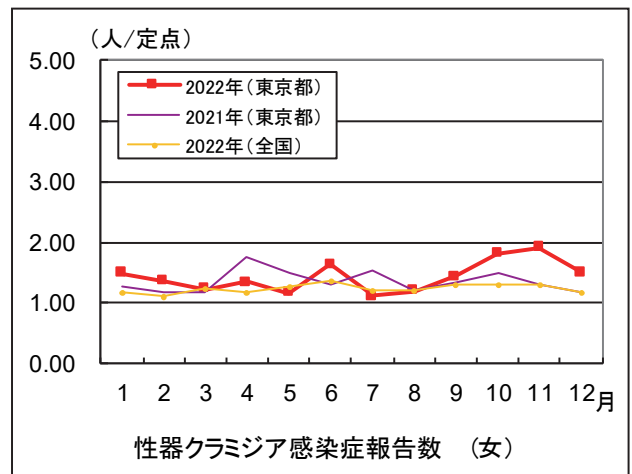
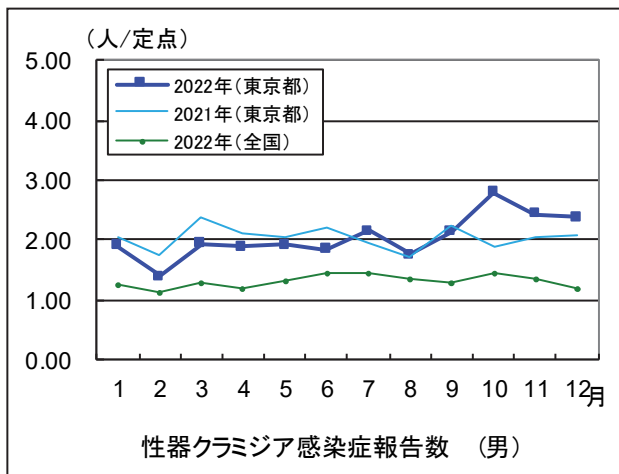
(6) 性感染症

ア 性器クラミジア感染症

年間患者報告数は2,261人、定点当たり41.78人で、前年比1.03とわずかに増加した。男性の報告数は1,330人、定点当たり24.58人(前年比1.00)、女性の報告数931人、定点当たり17.20人(前年比1.06)であった。

月別報告数では、男性は10月が最多で151人、2月が最少で77人、女性では11月が最多で101人、7月が最少で60人だった。

性別年齢階級別では、男性は25～29歳の275人(20.7%)で最多で、20歳代と30歳代で男性全体の70.1%を占めた。女性は20～24歳の285人(30.6%)が最多で、20歳代と30歳代で女性全体の77.2%を占めた。10～14歳の女性が6名報告された。

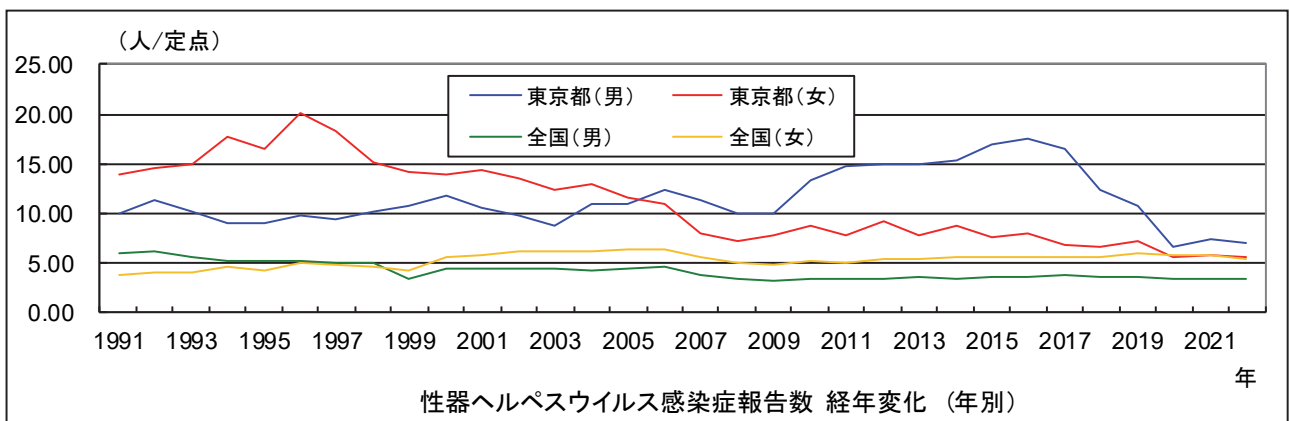
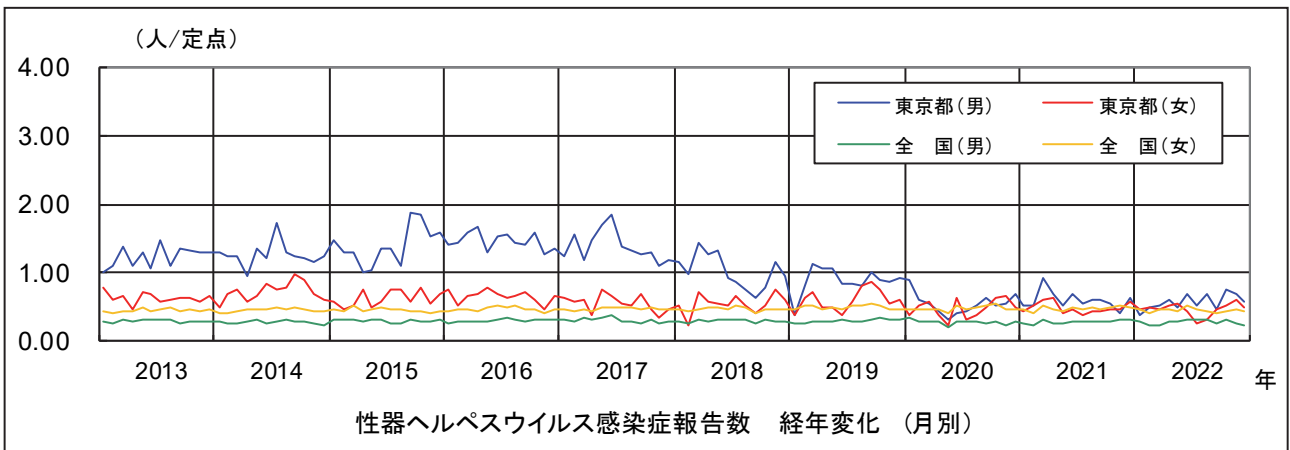
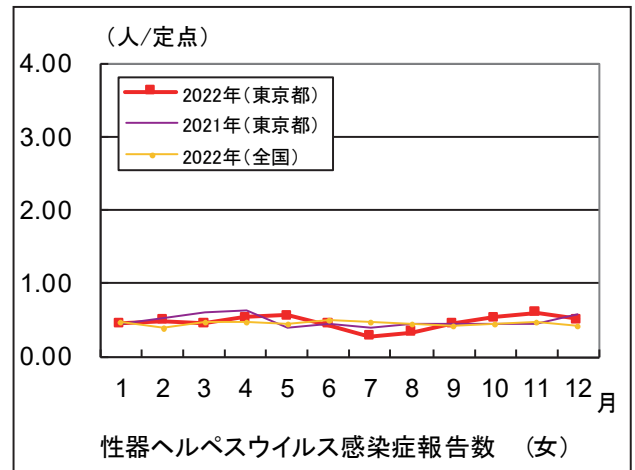
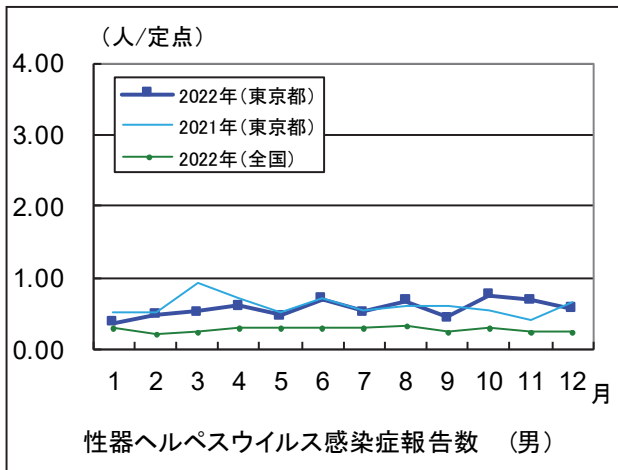


イ 性器ヘルペスウイルス感染症

年間患者報告数は679人、定点当たり12.54人で、前年比0.95とわずかに減少した。男性の報告数は374人、定点当たり6.91（前年比0.94）、女性の報告数305人、定点当たり5.63人（前年比0.97）であった。

月別報告数では、男性は10月が最多で41人、1月が最少で21人、女性では11月が最多で32人、7月が最少で15人だった。

性別年齢階級別では、男性は25～29歳の62人（16.6%）が最多で、20歳代と30歳代が男性全体の50.8%を占めた。女性は20～24歳の57人（18.7%）が最多で、20歳代と30歳代で女性全体の63.9%を占めた。

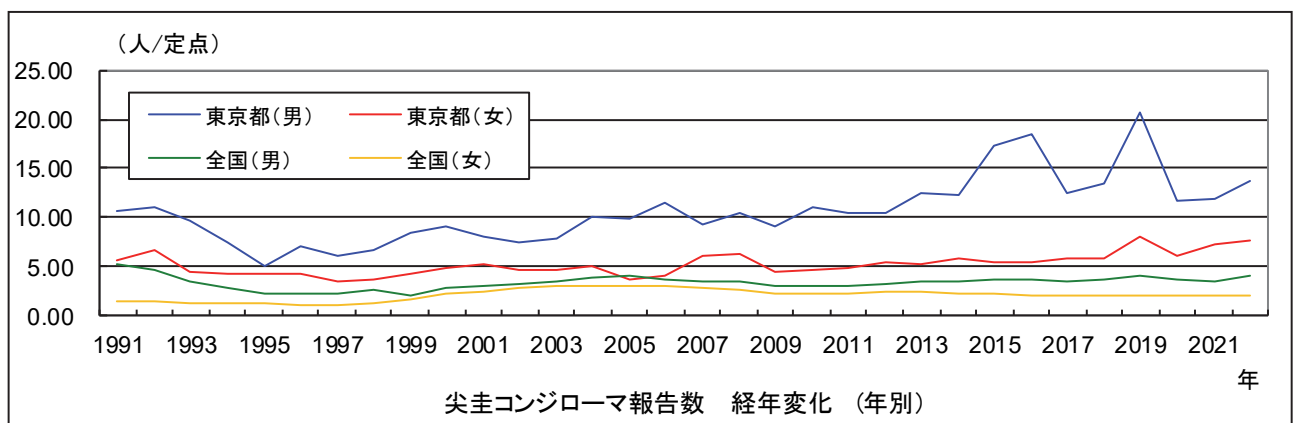
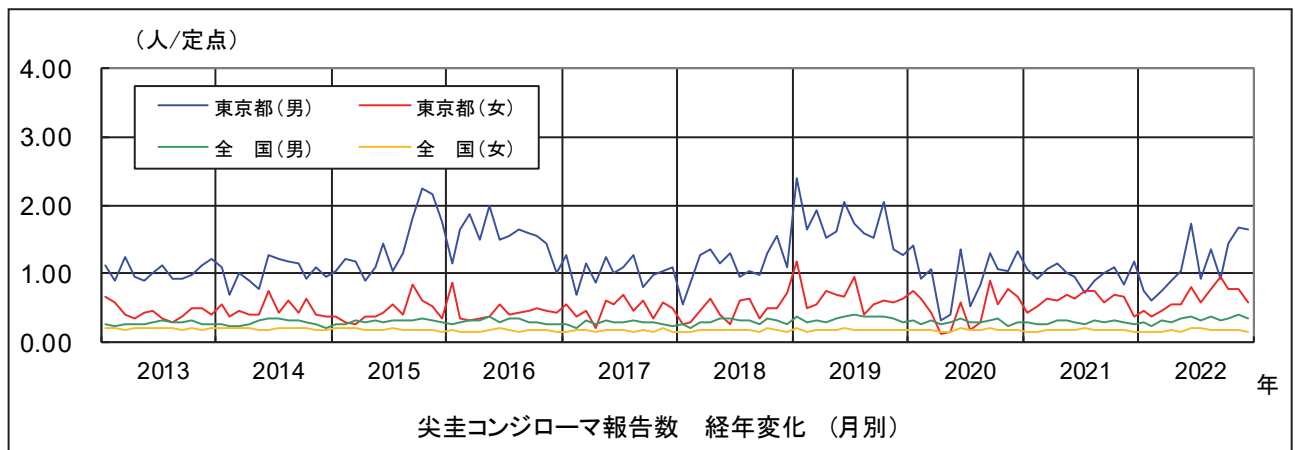
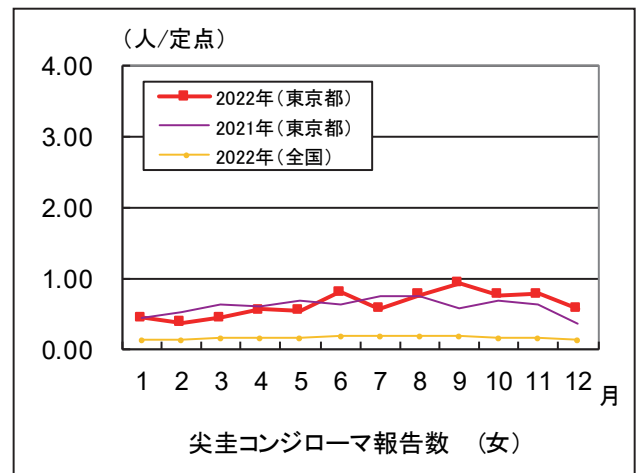
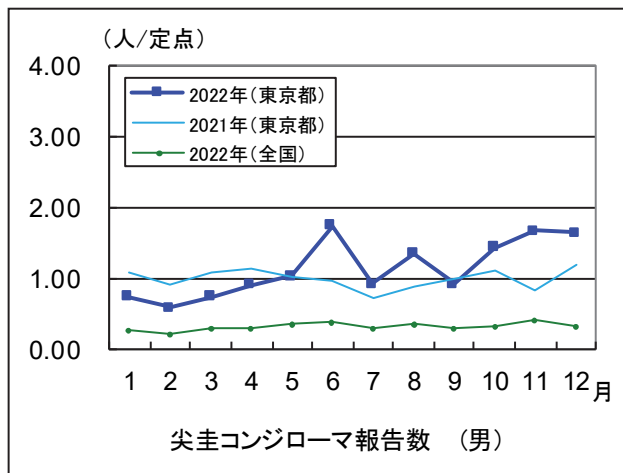


ウ 尖圭コンジローマ

年間患者報告数は1,157人、定点当たり21.42人で、前年比1.11とわずかに増加した。男性の報告数は743人、定点当たり13.75（前年比1.15）、女性の報告数414人、定点当たり7.66人（前年比1.04）であった。

月別報告数では、男性は6月が最多で94人、2月が最少で33人、女性では9月が最多で50人、2月が最少で21人だった。

性別年齢階級別では、男性は25～29歳の169人（22.7%）が最多で、20歳代と30歳代が男性全体の62.9%を占めた。女性は20～24歳の154人（37.2%）が最多で、20歳代と30歳代で女性全体の85.7%を占めた。

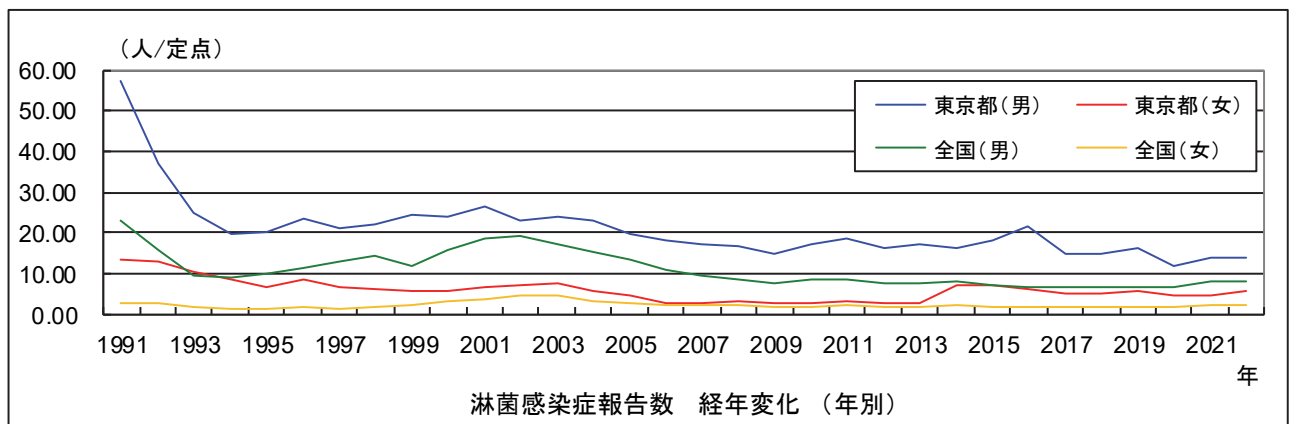
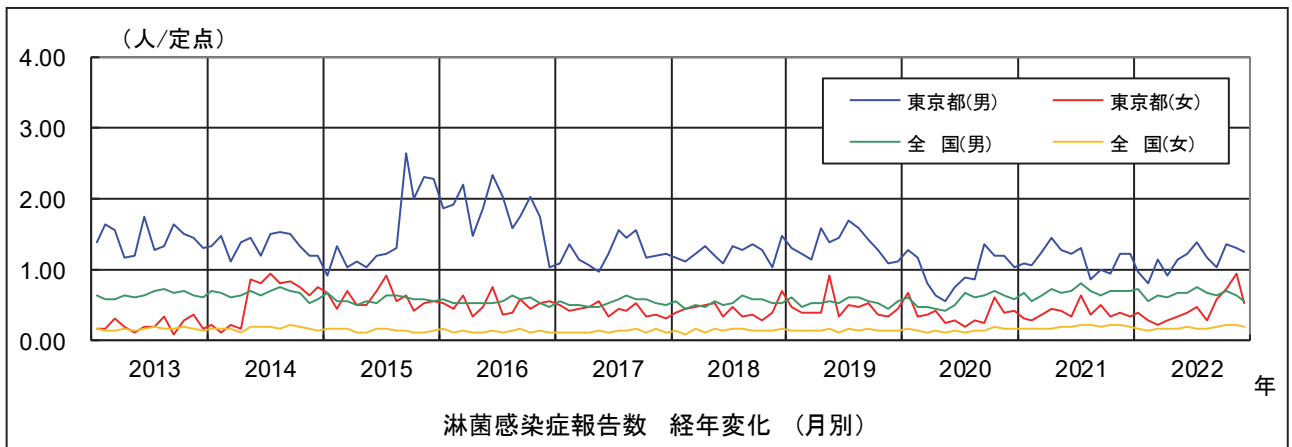
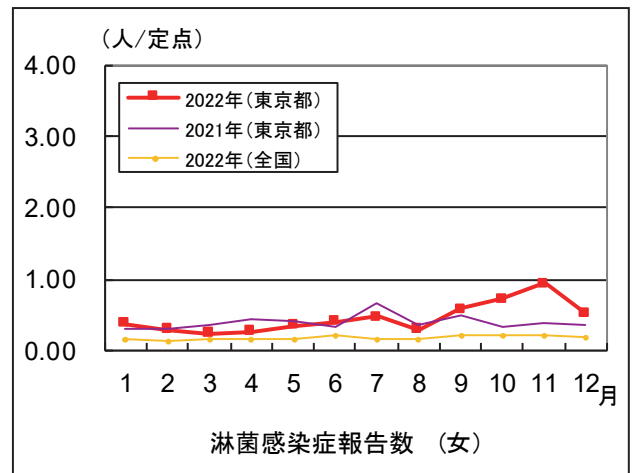
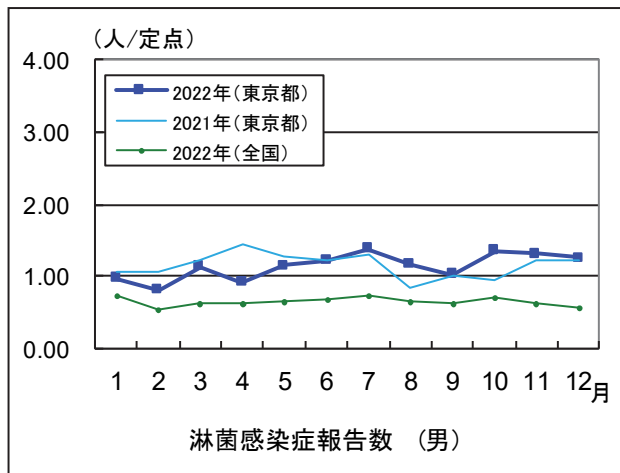


エ 淋菌感染症

年間患者報告数は1,041人、定点当たり19.26人で、前年比1.03とわずかに増加した。男性の報告数は745人、定点当たり13.77（前年比0.99）、女性の報告数296人、定点当たり5.49人（前年比1.16）であった。

月別報告数では、男性は7月が最多で75人、2月が最少で45人、女性では11月が最多で50人、3月が最少で13人だった。

性別年齢階級別では、男性は25～29歳の154人（20.7%）が最多で、20歳代と30歳代が男性全体の67.5%を占めた。女性は20～24歳の75人（25.3%）が最多で、20歳代と30歳代で女性全体の62.5%を占めた。



オ 臙トリコモナス症

臙トリコモナス症は、東京都が独自に定点把握疾患に定めている。年間患者報告数は103人、定点当たり1.90人で、前年比1.09とわずかに増加した。男性の報告数は1人、定点当たり0.02人（前年比1.00）、女性の報告数102人、定点当たり1.88人（前年比1.09）であった。

男性は届出数が少なく、年齢階級や季節による特徴は評価できなかった。

女性の月別報告数は、6月が最多で14人、7月が最少で3人だった。女性は20～24歳の25人（24.5%）が最多で、20歳代、30歳代で女性全体の62.7%を占めた。

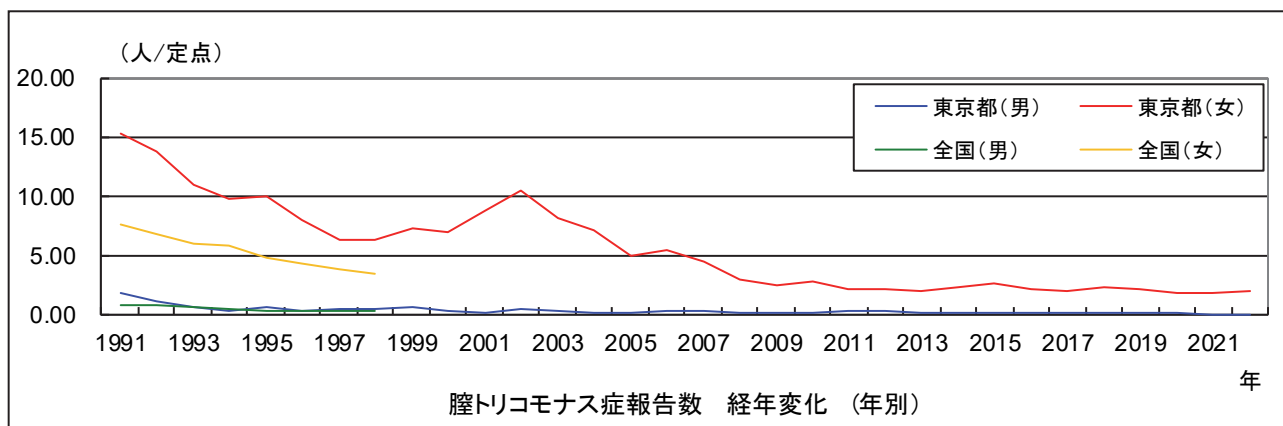
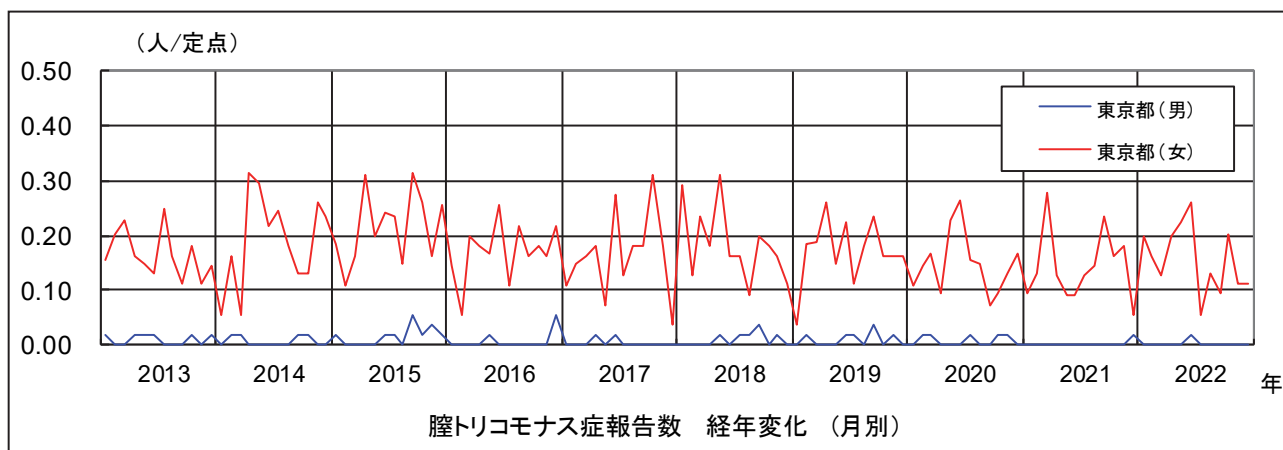
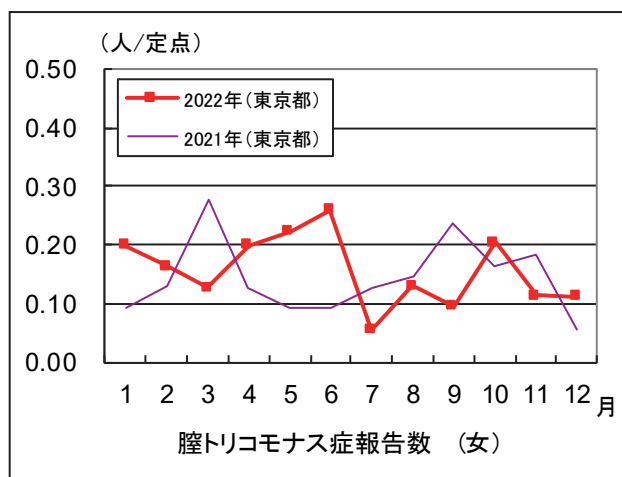
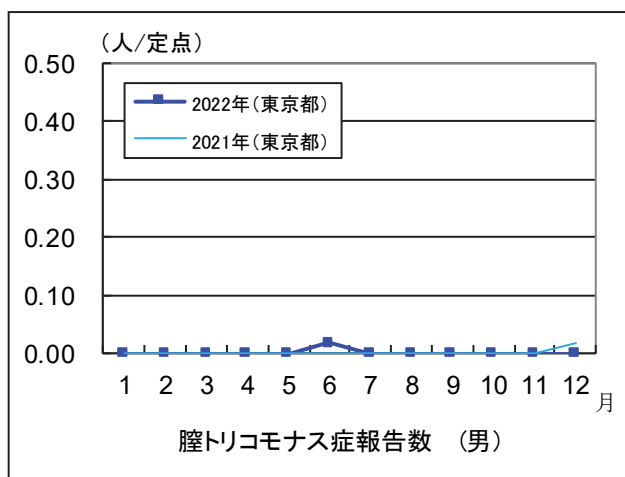


表4-1(1) 週別患者報告数(インフルエンザ・小児科) 2022年第1週~第52週

週	期 間	報 告 定 点 数 (イン フル エン ザ)	イン フル エン ザ	報 告 定 点 数 (小 児 科)	R S ウ イ ル ス 感 染 症	咽 頭 結 膜 熱	A 球 菌 咽 頭 炎 A 群 溶 血 性 レ ン サ	感 染 性 胃 腸 炎	水 痘	手 足 口 病	伝 染 性 紅 斑	突 発 性 発 し ん	ヘル パン ギー ナ	流 行 性 耳 下 腺 炎
1	1. 3~ 1. 9	404	4	254	5	23	55	1,245	25	55	4	53	21	5
2	1. 10~ 1. 16	411	4	258	8	29	79	1,926	16	55	3	83	7	10
3	1. 17~ 1. 23	403	3	253	12	20	62	2,530	20	49	3	61	7	8
4	1. 24~ 1. 30	407	4	255	4	14	44	2,147	14	62	4	73	11	8
5	1. 31~ 2. 6	402		250	7	7	45	1,617	12	40	3	58	1	8
6	2. 7~ 2. 13	408		256	4	12	21	1,265	11	25	2	57	1	6
7	2. 14~ 2. 20	408		257	3	13	28	1,244	16	11	3	67		12
8	2. 21~ 2. 27	407		254	3		12	1,002	5	3	8	36		9
9	2. 28~ 3. 6	407	1	258	9	4	14	1,111	15	2	4	50	1	3
10	3. 7~ 3. 13	409	1	258	10	9	37	1,021	10	5	3	51	2	11
11	3. 14~ 3. 20	403		254	3	2	34	1,007	9	4	2	55	2	7
12	3. 21~ 3. 27	410		256	1	11	26	820	9	4	3	71	4	5
13	3. 28~ 4. 3	410		257		1	39	834	17	4	4	79	3	6
14	4. 4~ 4. 10	404	1	253	3	6	20	891	11	9	4	69	4	7
15	4. 11~ 4. 17	407		256	12	8	22	1,159	17	14	1	96		6
16	4. 18~ 4. 24	409	2	257	11	18	29	1,371	15	12	4	109	5	9
17	4. 25~ 5. 1	400		253	16	15	26	1,129	12	25	3	111	1	9
18	5. 2~ 5. 8	410	2	257	5	11	24	788	21	10	5	63	2	5
19	5. 9~ 5. 15	409	3	256	9	31	35	1,337	35	13	6	100	10	17
20	5. 16~ 5. 22	407	1	257	11	34	35	1,599	14	23	1	142	2	20
21	5. 23~ 5. 29	409		255	24	42	41	1,617	21	50	5	116	8	10
22	5. 30~ 6. 5	411		257	25	74	71	1,611	16	51	4	105	6	12
23	6. 6~ 6. 12	411	3	258	45	100	50	1,791	18	66	3	106	18	12
24	6. 13~ 6. 19	409		256	69	84	48	1,918	16	94	4	108	27	12
25	6. 20~ 6. 26	413		259	121	82	37	1,710	22	184	2	125	64	10
26	6. 27~ 7. 3	413		260	182	88	53	1,441	33	315	5	113	131	10
27	7. 4~ 7. 10	412		259	278	75	48	1,435	17	567	4	116	197	9
28	7. 11~ 7. 17	405	6	255	379	72	55	1,289	15	641	2	80	256	6
29	7. 18~ 7. 24	410	6	257	399	36	37	795	27	796	2	59	254	6
30	7. 25~ 7. 31	406	15	258	440	30	33	706	13	1,231	5	83	384	11
31	8. 1~ 8. 7	405	23	255	441	20	29	544	11	1,259	3	61	375	8
32	8. 8~ 8. 14	380	13	245	339	13	16	419	13	1,114		48	248	9
33	8. 15~ 8. 21	399	8	248	313	8	20	377	11	965	2	39	201	5
34	8. 22~ 8. 28	409	5	256	367	10	28	504	12	1,324	1	73	370	12
35	8. 29~ 9. 4	411	8	259	482	11	31	571	14	1,440		69	327	17
36	9. 5~ 9. 11	411	7	259	516	6	24	617	13	1,376	6	56	329	6
37	9. 12~ 9. 18	412	8	260	528	13	34	646	17	1,274	10	67	318	7
38	9. 19~ 9. 25	414	7	261	403	3	44	449	11	772	4	49	148	10
39	9. 26~ 10. 2	410	5	257	340	9	55	587	13	765	2	63	179	14
40	10. 3~ 10. 9	413	2	260	299	11	36	633	19	517		50	96	7
41	10. 10~ 10. 16	411	2	258	228	12	29	676	10	339		50	76	6
42	10. 17~ 10. 23	413	2	259	238	21	37	806	22	356	1	86	98	10
43	10. 24~ 10. 30	412	9	260	227	11	68	860	39	288	4	81	69	12
44	10. 31~ 11. 6	410	31	259	178	22	44	924	22	170	4	76	36	17
45	11. 7~ 11. 13	411	84	261	101	28	64	1,103	36	126	3	79	34	11
46	11. 14~ 11. 20	412	125	260	130	30	61	1,480	33	83	5	75	28	8
47	11. 21~ 11. 27	411	72	261	89	24	67	1,431	35	90	3	74	20	13
48	11. 28~ 12. 4	410	107	260	80	48	54	1,746	36	65	2	74	8	10
49	12. 5~ 12. 11	409	203	259	68	46	48	1,969	40	64	6	65	9	11
50	12. 12~ 12. 18	411	462	261	59	47	53	2,496	35	46	8	74	7	9
51	12. 19~ 12. 25	412	940	261	31	51	52	2,777	22	38	3	53	8	11
52	12. 26~ 1. 1	387	1,139	247	9	25	40	1,738	24	20	1	32	10	5
	合 計		3,318		7,564	1,420	2,094	63,709	990	16,911	174	3,889	4,423	487

表4-1(2) 週別患者報告数(小児科・眼科・基幹) 2022年第1週~第52週

週	期間	報告定点数 (小児科)	不明発しん症	川崎病	報告定点数 (眼科)	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	報告定点数 (基幹)	細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎 (オウム病を除く)	(ロタウイルスによる) 感染性胃腸炎	報告定点数 (基幹)	インフルエンザ入院
1	1. 3~ 1. 9	254	3	1	38		8	25			1			25	
2	1.10~ 1.16	258	2	2	38		5	25	1			1		25	
3	1.17~ 1.23	253	1	2	38		7	25						25	
4	1.24~ 1.30	255	3	2	38		5	25						25	
5	1.31~ 2. 6	250	2	1	38		4	25		1				25	
6	2. 7~ 2.13	256	6	2	38		3	25			1			25	
7	2.14~ 2.20	257	7	4	38		3	25		1				25	
8	2.21~ 2.27	254	3	1	38		2	25				2		25	
9	2.28~ 3. 6	258	6	2	38		8	25		1		1	1	25	
10	3. 7~ 3.13	258	4	2	38		8	25		1		1	1	25	
11	3.14~ 3.20	254	4	2	37		3	25						25	
12	3.21~ 3.27	256	2	1	38		1	25						25	
13	3.28~ 4. 3	257	8	1	38		5	25	1			1		25	
14	4. 4~ 4.10	253	3	1	38		8	25	2	1		2		25	
15	4.11~ 4.17	256	10	1	38		8	25				1		25	
16	4.18~ 4.24	257	8	4	38		3	25						25	
17	4.25~ 5. 1	253	7		38		6	25		1				25	
18	5. 2~ 5. 8	257	10	1	38		3	25	1				1	25	
19	5. 9~ 5.15	256	8	1	38		10	25	1			2	1	25	
20	5.16~ 5.22	257	5	1	38		6	25				1		25	
21	5.23~ 5.29	255	6		38		5	25						25	
22	5.30~ 6. 5	257	5	1	38		5	25	1			1		25	
23	6. 6~ 6.12	258	12	1	38		6	25						25	
24	6.13~ 6.19	256	10	3	38		8	25						25	
25	6.20~ 6.26	259	12	1	38		6	25	2					25	
26	6.27~ 7. 3	260	9	1	38		6	25		1				25	
27	7. 4~ 7.10	259	11	3	38		12	25	2					25	
28	7.11~ 7.17	255	8	1	38		6	25						25	
29	7.18~ 7.24	257	6	3	38		7	25		2				25	1
30	7.25~ 7.31	258	14	1	38		7	25						25	
31	8. 1~ 8. 7	255	13	2	38		6	25				2		25	1
32	8. 8~ 8.14	245	10		36		3	25						25	
33	8.15~ 8.21	248	8	2	36		8	25						25	
34	8.22~ 8.28	256	13	3	37		8	25	1	1				25	
35	8.29~ 9. 4	259	8		38		12	25						25	
36	9. 5~ 9.11	259	12		38	1	5	25			1			25	
37	9.12~ 9.18	260	8	3	38		6	25	1			2		25	
38	9.19~ 9.25	261	2	2	38		5	25		1		2		25	
39	9.26~10. 2	257	9	3	38		6	25			1			25	
40	10. 3~10. 9	260	11	3	38		2	25				1		25	
41	10.10~10.16	258	4	3	38		6	25	1					25	1
42	10.17~10.23	259	8	3	38		8	25	2	3				25	1
43	10.24~10.30	260	8	5	38		3	25						25	
44	10.31~11. 6	259	6	3	38		4	25		1				25	
45	11. 7~11.13	261	7	1	38		9	25		1		1		25	
46	11.14~11.20	260	7	1	38		4	25			1			25	
47	11.21~11.27	261	4	3	38		6	25						25	
48	11.28~12. 4	260	6	2	38		8	25		1	1			25	1
49	12. 5~12.11	259	6	1	38		10	25	1					25	
50	12.12~12.18	261	5	1	38	2	8	25				1		25	5
51	12.19~12.25	261	7	3	38		6	25						25	9
52	12.26~ 1. 1	247	3	2	37		4	25		1	1			25	7
合 計			360	93		3	311		17	18	7	22	4		26

表4-2(1) 週別定点当たり患者報告数(インフルエンザ・小児科) 2022年第1週~第52週

週	期間	報告 点 数 (イン フル エン ザ)	イン フル エン ザ	報 告 定 点 数 (小 児 科)	R S ウ イ ル ス 感 染 症	咽 頭 結 膜 熱	A 球 菌 咽 頭 炎 レ ン サ	感 染 性 胃 腸 炎	水 痘	手 足 口 病	伝 染 性 紅 斑	突 発 性 発 し ん	ヘル パン ギ ー ナ	流 行 性 耳 下 腺 炎
1	1. 3~ 1. 9	404	0.01	254	0.02	0.09	0.22	4.90	0.10	0.22	0.02	0.21	0.08	0.02
2	1. 10~ 1. 16	411	0.01	258	0.03	0.11	0.31	7.47	0.06	0.21	0.01	0.32	0.03	0.04
3	1. 17~ 1. 23	403	0.01	253	0.05	0.08	0.25	10.00	0.08	0.19	0.01	0.24	0.03	0.03
4	1. 24~ 1. 30	407	0.01	255	0.02	0.05	0.17	8.42	0.05	0.24	0.02	0.29	0.04	0.03
5	1. 31~ 2. 6	402		250	0.03	0.03	0.18	6.47	0.05	0.16	0.01	0.23	0.00	0.03
6	2. 7~ 2. 13	408		256	0.02	0.05	0.08	4.94	0.04	0.10	0.01	0.22	0.00	0.02
7	2. 14~ 2. 20	408		257	0.01	0.05	0.11	4.84	0.06	0.04	0.01	0.26		0.05
8	2. 21~ 2. 27	407		254	0.01		0.05	3.94	0.02	0.01	0.03	0.14		0.04
9	2. 28~ 3. 6	407	0.00	258	0.03	0.02	0.05	4.31	0.06	0.01	0.02	0.19	0.00	0.01
10	3. 7~ 3. 13	409	0.00	258	0.04	0.03	0.14	3.96	0.04	0.02	0.01	0.20	0.01	0.04
11	3. 14~ 3. 20	403		254	0.01	0.01	0.13	3.96	0.04	0.02	0.01	0.22	0.01	0.03
12	3. 21~ 3. 27	410		256	0.00	0.04	0.10	3.20	0.04	0.02	0.01	0.28	0.02	0.02
13	3. 28~ 4. 3	410		257		0.00	0.15	3.25	0.07	0.02	0.02	0.31	0.01	0.02
14	4. 4~ 4. 10	404	0.00	253	0.01	0.02	0.08	3.52	0.04	0.04	0.02	0.27	0.02	0.03
15	4. 11~ 4. 17	407		256	0.05	0.03	0.09	4.53	0.07	0.05	0.00	0.38		0.02
16	4. 18~ 4. 24	409	0.00	257	0.04	0.07	0.11	5.33	0.06	0.05	0.02	0.42	0.02	0.04
17	4. 25~ 5. 1	400		253	0.06	0.06	0.10	4.46	0.05	0.10	0.01	0.44	0.00	0.04
18	5. 2~ 5. 8	410	0.00	257	0.02	0.04	0.09	3.07	0.08	0.04	0.02	0.25	0.01	0.02
19	5. 9~ 5. 15	409	0.01	256	0.04	0.12	0.14	5.22	0.14	0.05	0.02	0.39	0.04	0.07
20	5. 16~ 5. 22	407	0.00	257	0.04	0.13	0.14	6.22	0.05	0.09	0.00	0.55	0.01	0.08
21	5. 23~ 5. 29	409		255	0.09	0.16	0.16	6.34	0.08	0.20	0.02	0.45	0.03	0.04
22	5. 30~ 6. 5	411		257	0.10	0.29	0.28	6.27	0.06	0.20	0.02	0.41	0.02	0.05
23	6. 6~ 6. 12	411	0.01	258	0.17	0.39	0.19	6.94	0.07	0.26	0.01	0.41	0.07	0.05
24	6. 13~ 6. 19	409		256	0.27	0.33	0.19	7.49	0.06	0.37	0.02	0.42	0.11	0.05
25	6. 20~ 6. 26	413		259	0.47	0.32	0.14	6.60	0.08	0.71	0.01	0.48	0.25	0.04
26	6. 27~ 7. 3	413		260	0.70	0.34	0.20	5.54	0.13	1.21	0.02	0.43	0.50	0.04
27	7. 4~ 7. 10	412		259	1.07	0.29	0.19	5.54	0.07	2.19	0.02	0.45	0.76	0.03
28	7. 11~ 7. 17	405	0.01	255	1.49	0.28	0.22	5.05	0.06	2.51	0.01	0.31	1.00	0.02
29	7. 18~ 7. 24	410	0.01	257	1.55	0.14	0.14	3.09	0.11	3.10	0.01	0.23	0.99	0.02
30	7. 25~ 7. 31	406	0.04	258	1.71	0.12	0.13	2.74	0.05	4.77	0.02	0.32	1.49	0.04
31	8. 1~ 8. 7	405	0.06	255	1.73	0.08	0.11	2.13	0.04	4.94	0.01	0.24	1.47	0.03
32	8. 8~ 8. 14	380	0.03	245	1.38	0.05	0.07	1.71	0.05	4.55		0.20	1.01	0.04
33	8. 15~ 8. 21	399	0.02	248	1.26	0.03	0.08	1.52	0.04	3.89	0.01	0.16	0.81	0.02
34	8. 22~ 8. 28	409	0.01	256	1.43	0.04	0.11	1.97	0.05	5.17	0.00	0.29	1.45	0.05
35	8. 29~ 9. 4	411	0.02	259	1.86	0.04	0.12	2.20	0.05	5.56		0.27	1.26	0.07
36	9. 5~ 9. 11	411	0.02	259	1.99	0.02	0.09	2.38	0.05	5.31	0.02	0.22	1.27	0.02
37	9. 12~ 9. 18	412	0.02	260	2.03	0.05	0.13	2.48	0.07	4.90	0.04	0.26	1.22	0.03
38	9. 19~ 9. 25	414	0.02	261	1.54	0.01	0.17	1.72	0.04	2.96	0.02	0.19	0.57	0.04
39	9. 26~10. 2	410	0.01	257	1.32	0.04	0.21	2.28	0.05	2.98	0.01	0.25	0.70	0.05
40	10. 3~10. 9	413	0.00	260	1.15	0.04	0.14	2.43	0.07	1.99		0.19	0.37	0.03
41	10. 10~10. 16	411	0.00	258	0.88	0.05	0.11	2.62	0.04	1.31		0.19	0.29	0.02
42	10. 17~10. 23	413	0.00	259	0.92	0.08	0.14	3.11	0.08	1.37	0.00	0.33	0.38	0.04
43	10. 24~10. 30	412	0.02	260	0.87	0.04	0.26	3.31	0.15	1.11	0.02	0.31	0.27	0.05
44	10. 31~11. 6	410	0.08	259	0.69	0.08	0.17	3.57	0.08	0.66	0.02	0.29	0.14	0.07
45	11. 7~11. 13	411	0.20	261	0.39	0.11	0.25	4.23	0.14	0.48	0.01	0.30	0.13	0.04
46	11. 14~11. 20	412	0.30	260	0.50	0.12	0.23	5.69	0.13	0.32	0.02	0.29	0.11	0.03
47	11. 21~11. 27	411	0.18	261	0.34	0.09	0.26	5.48	0.13	0.34	0.01	0.28	0.08	0.05
48	11. 28~12. 4	410	0.26	260	0.31	0.18	0.21	6.72	0.14	0.25	0.01	0.28	0.03	0.04
49	12. 5~12. 11	409	0.50	259	0.26	0.18	0.19	7.60	0.15	0.25	0.02	0.25	0.03	0.04
50	12. 12~12. 18	411	1.12	261	0.23	0.18	0.20	9.56	0.13	0.18	0.03	0.28	0.03	0.03
51	12. 19~12. 25	412	2.28	261	0.12	0.20	0.20	10.64	0.08	0.15	0.01	0.20	0.03	0.04
52	12. 26~ 1. 1	387	2.94	247	0.04	0.10	0.16	7.04	0.10	0.08	0.00	0.13	0.04	0.02
平均			0.16		0.57	0.11	0.16	4.77	0.07	1.27	0.01	0.29	0.33	0.04

※定点当たり報告数は、小数点第3位を四捨五入

表4-2(2) 週別定点当たり患者報告数(小児科・眼科・基幹) 2022年第1週～第52週

週	期 間	報告 定点数 (小児科)	不明 発しん症	川崎 病	報告 定点数 (眼科)	急性 出血性 結膜炎	流行性 角結膜 炎	報告 定点数 (基幹)	細菌性 髄膜炎	無菌性 髄膜炎	マイコ プラズ マ肺炎	クラミ ジア肺 炎 (オウム 病を除く)	(ロタウ イルスによる) 感染性 胃腸炎	報告 定点数 (基幹)	イン フルエ ンザ入 院
2	1. 10～ 1. 16	258	0.01	0.01	38		0.13	25	0.04			0.04		25	
3	1. 17～ 1. 23	253	0.00	0.01	38		0.18	25						25	
4	1. 24～ 1. 30	255	0.01	0.01	38		0.13	25						25	
5	1. 31～ 2. 6	250	0.01	0.00	38		0.11	25		0.04				25	
6	2. 7～ 2. 13	256	0.02	0.01	38		0.08	25			0.04			25	
7	2. 14～ 2. 20	257	0.03	0.02	38		0.08	25		0.04				25	
8	2. 21～ 2. 27	254	0.01	0.00	38		0.05	25				0.08		25	
9	2. 28～ 3. 6	258	0.02	0.01	38		0.21	25		0.04		0.04	0.04	25	
10	3. 7～ 3. 13	258	0.02	0.01	38		0.21	25		0.04		0.04	0.04	25	
11	3. 14～ 3. 20	254	0.02	0.01	37		0.08	25						25	
12	3. 21～ 3. 27	256	0.01	0.00	38		0.03	25						25	
13	3. 28～ 4. 3	257	0.03	0.00	38		0.13	25	0.04			0.04		25	
14	4. 4～ 4. 10	253	0.01	0.00	38		0.21	25	0.08	0.04		0.08		25	
15	4. 11～ 4. 17	256	0.04	0.00	38		0.21	25				0.04		25	
16	4. 18～ 4. 24	257	0.03	0.02	38		0.08	25						25	
17	4. 25～ 5. 1	253	0.03		38		0.16	25		0.04				25	
18	5. 2～ 5. 8	257	0.04	0.00	38		0.08	25	0.04				0.04	25	
19	5. 9～ 5. 15	256	0.03	0.00	38		0.26	25	0.04			0.08	0.04	25	
20	5. 16～ 5. 22	257	0.02	0.00	38		0.16	25				0.04		25	
21	5. 23～ 5. 29	255	0.02		38		0.13	25						25	
22	5. 30～ 6. 5	257	0.02	0.00	38		0.13	25	0.04			0.04		25	
23	6. 6～ 6. 12	258	0.05	0.00	38		0.16	25						25	
24	6. 13～ 6. 19	256	0.04	0.01	38		0.21	25						25	
25	6. 20～ 6. 26	259	0.05	0.00	38		0.16	25	0.08					25	
26	6. 27～ 7. 3	260	0.03	0.00	38		0.16	25		0.04				25	
27	7. 4～ 7. 10	259	0.04	0.01	38		0.32	25	0.08					25	
28	7. 11～ 7. 17	255	0.03	0.00	38		0.16	25						25	
29	7. 18～ 7. 24	257	0.02	0.01	38		0.18	25		0.08				25	0.04
30	7. 25～ 7. 31	258	0.05	0.00	38		0.18	25						25	
31	8. 1～ 8. 7	255	0.05	0.01	38		0.16	25				0.08		25	0.04
32	8. 8～ 8. 14	245	0.04		36		0.08	25						25	
33	8. 15～ 8. 21	248	0.03	0.01	36		0.22	25						25	
34	8. 22～ 8. 28	256	0.05	0.01	37		0.22	25	0.04	0.04				25	
35	8. 29～ 9. 4	259	0.03		38		0.32	25						25	
36	9. 5～ 9. 11	259	0.05		38	0.03	0.13	25			0.04			25	
37	9. 12～ 9. 18	260	0.03	0.01	38		0.16	25	0.04			0.08		25	
38	9. 19～ 9. 25	261	0.01	0.01	38		0.13	25		0.04		0.08		25	
39	9. 26～10. 2	257	0.04	0.01	38		0.16	25			0.04			25	
40	10. 3～10. 9	260	0.04	0.01	38		0.05	25				0.04		25	
41	10. 10～10. 16	258	0.02	0.01	38		0.16	25	0.04					25	0.04
42	10. 17～10. 23	259	0.03	0.01	38		0.21	25	0.08	0.12				25	0.04
43	10. 24～10. 30	260	0.03	0.02	38		0.08	25						25	
44	10. 31～11. 6	259	0.02	0.01	38		0.11	25		0.04				25	
45	11. 7～11. 13	261	0.03	0.00	38		0.24	25		0.04		0.04		25	
46	11. 14～11. 20	260	0.03	0.00	38		0.11	25			0.04			25	
47	11. 21～11. 27	261	0.02	0.01	38		0.16	25						25	
48	11. 28～12. 4	260	0.02	0.01	38		0.21	25		0.04	0.04			25	0.04
49	12. 5～12. 11	259	0.02	0.00	38		0.26	25	0.04					25	
50	12. 12～12. 18	261	0.02	0.00	38	0.05	0.21	25				0.04		25	0.20
51	12. 19～12. 25	261	0.03	0.01	38		0.16	25						25	0.36
52	12. 26～ 1. 1	247	0.01	0.01	37		0.11	25		0.04	0.04			25	0.28
平 均			0.03	0.01		0.00	0.16		0.01	0.01	0.01	0.02	0.00		0.02

※定点当たり報告数は、小数点第3位を四捨五入

表5-1(1) 保健所別患者報告数(インフルエンザ・小児科)

2022年第1週～第52週

	設置定点数 (インフルエンザ)	インフルエンザ	設置定点数 (小児科)	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎
千代田	4	36	3	65	4	11	286		60	1	25	15	1
中央区	5	33	3	41	3	4	970	3	158	1	29	38	8
みなと	9	69	6	231	20	38	808	11	412	1	77	174	13
新宿区	12	108	8	364	50	173	1,194	18	178	3	54	52	9
文京	7	41	4	73	15	13	930	14	275	5	90	49	12
台東	7	22	4	84	18	13	2,410	32	486	1	105	137	6
墨田区	8	67	5	137	19	21	757	3	245		67	54	2
江東区	14	75	9	141	35	72	3,011	42	537	8	120	202	7
品川区	12	49	8	208	20	47	1,391	17	314	6	97	149	9
目黒区	8	54	5	171	15	33	1,252	10	421	2	76	62	6
大田区	21	139	13	617	162	129	3,808	62	991	13	239	307	40
世田谷	25	277	16	567	71	101	3,048	59	790	10	139	184	28
渋谷区	7	47	4	83	13	10	760	18	176	2	27	51	1
中野区	10	162	6	157	16	80	2,352	28	693	6	131	72	18
杉並	17	77	11	170	82	78	2,573	15	503	5	121	57	5
池袋	8	78	5	206	31	19	543	6	142		18	164	
北区	11	129	7	68	21	68	1,444	38	653	3	146	55	8
荒川区	7	75	4	459	44	63	1,656	25	404	1	127	78	1
板橋区	16	76	10	138	22	17	1,914	21	511	17	81	57	14
練馬区	21	145	13	430	71	161	3,428	35	936	4	202	303	19
足立	20	91	13	454	129	63	3,013	40	566	6	184	125	23
葛飾区	13	100	8	27	2	35	1,131	21	308	5	75	54	3
江戸川	19	111	12	395	93	132	3,082	37	586	9	165	275	21
八王子市	18	458	11	410	64	60	4,942	128	1,250	9	247	447	38
町田市	13	82	8	50	3	123	1,921	26	471	11	78	173	22
西多摩	14	57	8	16	16	35	1,387	24	324	7	79	71	14
南多摩	14	156	9	325	32	43	1,381	28	579	1	120	79	31
多摩立川	21	142	14	337	22	90	2,947	48	779	6	175	171	25
多摩府中	33	175	21	509	71	127	4,172	103	1,555	8	407	361	56
多摩小平	23	187	15	617	255	235	5,185	78	1,566	23	386	404	46
島しょ	2		1	14	1		13		42		2	3	1
合計	419	3,318	264	7,564	1,420	2,094	63,709	990	16,911	174	3,889	4,423	487
定点当たり報告数		8.25		29.40	5.52	8.14	248.04	3.85	65.92	0.68	15.13	17.23	1.89
前年定点当たり報告数		0.11		62.94	6.19	15.58	176.04	4.99	9.82	1.03	20.53	10.03	2.53
当年/前年		75.0		0.47	0.89	0.52	1.41	0.77	6.71	0.66	0.74	1.72	0.75

※定点当たり報告数は、小数点第3位を四捨五入

表5-1(2) 保健所別患者報告数(小児科・眼科・基幹)

2022年第1週～第52週

	小児科			眼科			基幹						
	設置定点数	不明発しん症	川崎病	設置定点数	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	設置定点数	細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	(オウム病を除く)クラミジア肺炎	感染性胃腸炎 (ロタウイルスによる)	インフルエンザ入院
千代田	3	10					2	1	4				1
中央区	3	2		1		23							
みなと	6	6	1				1			2	13		2
新宿区	8	2	14	2	1	4	2	3					2
文京	4	1		1		31	1						
台東	4	3											
墨田区	5	8	4	1			1						
江東区	9	2	4	1			1						
品川区	8	1		1		10							
目黒区	5	12		1									
大田区	13	42	7	2		6	1		1				
世田谷	16	30	2	2	2	69	2	7	5				9
渋谷区	4	1		1		7	1		1				2
中野区	6	2		1		7							
杉並	11	45	23	1			1			1			
池袋	5		1	1		36	1				6	2	
北区	7	3	1	1			1						
荒川区	4	4	3	1		13							
板橋区	10	25	5	2		6	1		1				
練馬区	13	33		2		15							
足立	13	2	2	2		14							
葛飾区	8	14		1		5	1						2
江戸川	12	4	3	2		6							
八王子市	11	7	2	2		12	1						2
町田市	8	11	2	1		5							
西多摩	8	6		1		3	1						
南多摩	9			1		3							
多摩立川	14	12	1	2		7	1						
多摩府中	21	67	15	3		11	3	5	5	3	3	1	4
多摩小平	15	5	3	2		18	2	1	2			1	2
島しょ	1						1						
合計	264	360	93	39	3	311	25	17	18	7	22	4	26
定点当たり報告数		1.40	0.36		0.08	8.21		0.68	0.72	0.28	0.88	0.16	1.04
前年定点当たり報告数		1.72	0.65		0.05	7.51		0.96	1.01	0.76	0.68	0.16	0.08
当年/前年		0.81	0.55		1.60	1.09		0.71	0.71	0.37	1.29	1.00	13.00

※定点当たり報告数は、小数点第3位を四捨五入

表5-2(1) 保健所別定点当たり患者報告数(インフルエンザ・小児科)

2022年1週～第52週

	設置定点数(インフルエンザ)	インフルエンザ	設置定点数(小児科)	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎
千代田	4	9.00	3	21.67	1.33	3.67	95.33		20.00	0.33	8.33	5.00	0.33
中央区	5	6.60	3	13.67	1.00	1.33	326.00	1.00	53.00	0.33	9.83	12.83	2.67
みなと	9	7.67	6	38.50	3.33	6.33	135.10	1.83	68.67	0.17	12.90	29.00	2.20
新宿区	12	9.82	8	52.00	7.14	24.71	170.57	2.57	25.43	0.43	7.71	7.43	1.29
文京	7	5.93	4	18.25	3.75	3.25	232.50	3.50	68.75	1.25	22.50	12.25	3.00
台東	7	3.14	4	21.00	4.50	3.25	602.50	8.00	121.50	0.25	26.25	34.25	1.50
墨田区	8	8.38	5	27.40	3.80	4.20	151.40	0.60	49.00		13.40	10.80	0.40
江東区	14	5.36	9	15.67	3.89	8.00	334.56	4.67	59.67	0.89	13.33	22.44	0.78
品川区	12	4.27	8	26.71	2.66	5.95	178.40	2.16	40.13	0.79	12.56	19.18	1.18
目黒区	8	6.75	5	34.20	3.00	6.60	250.40	2.00	84.20	0.40	15.20	12.40	1.20
大田区	21	6.62	13	47.69	12.52	10.03	295.94	4.80	76.84	1.00	18.65	23.72	3.10
世田谷	25	12.85	16	36.71	4.47	6.48	193.27	3.73	51.11	0.63	8.85	11.97	1.76
渋谷区	7	6.71	4	21.25	3.33	2.58	194.00	4.50	45.33	0.50	6.92	13.00	0.25
中野区	10	16.20	6	26.37	2.67	13.40	395.63	4.70	116.53	1.00	22.03	12.10	3.00
杉並	17	4.61	11	15.77	7.59	7.24	240.71	1.40	46.96	0.45	11.35	5.28	0.47
池袋	8	9.84	5	41.20	6.20	3.80	109.55	1.20	28.40		3.60	32.85	
北区	11	12.19	7	10.19	3.02	9.83	206.83	5.55	94.98	0.43	20.95	8.10	1.14
荒川区	7	10.71	4	123.42	11.00	17.17	417.25	6.42	111.67	0.25	32.08	20.33	0.25
板橋区	16	4.75	10	13.80	2.20	1.70	191.13	2.10	51.10	1.70	8.10	5.70	1.39
練馬区	21	7.26	13	33.77	5.76	12.91	275.63	2.80	73.50	0.31	16.35	23.70	1.53
足立	20	5.01	13	34.99	10.01	4.87	234.45	3.08	43.76	0.47	14.25	9.63	1.78
葛飾区	13	8.00	8	3.38	0.25	4.38	141.96	2.64	39.83	0.63	9.46	6.83	0.38
江戸川	19	5.85	12	33.55	7.84	11.04	259.90	3.13	50.09	0.76	13.86	23.68	1.77
八王子市	18	25.88	11	37.27	5.82	5.45	449.27	11.64	113.64	0.82	22.45	40.64	3.45
町田市	13	6.31	8	6.25	0.38	15.38	240.13	3.25	58.88	1.38	9.75	21.63	2.75
西多摩	14	4.21	8	2.00	2.05	4.43	174.73	3.02	40.91	0.91	10.04	8.89	1.75
南多摩	14	11.40	9	36.11	3.57	4.81	153.89	3.11	64.33	0.11	13.33	8.78	3.44
多摩立川	21	7.09	14	24.14	1.58	6.45	212.63	3.45	56.12	0.43	12.56	12.30	1.80
多摩府中	33	5.89	21	27.31	3.83	6.85	224.46	5.57	84.66	0.42	21.91	19.44	2.98
多摩小平	23	8.89	15	44.45	18.55	17.33	382.36	5.68	113.36	1.67	28.69	29.31	3.41
島しょ	2		1	14.00	1.00		13.00		42.00		2.00	3.00	1.00
定点当たり報告数		8.25		29.40	5.52	8.14	248.04	3.85	65.92	0.68	15.13	17.23	1.89
前年定点当たり報告数		0.11		62.94	6.19	15.58	176.04	4.99	9.82	1.03	20.53	10.03	2.53
当年/前年		75.00		0.47	0.89	0.52	1.41	0.77	6.71	0.66	0.74	1.72	0.75

※定点当たり報告数は、小数点第3位を四捨五入

表5-2(2) 保健所別定点当たり患者報告数(小児科・眼科・基幹)

2022年第1週～第52週

	小児科			眼科			基幹						
	設置定点数	不明発しん症	川崎病	設置定点数	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	設置定点数	細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	(オウム病を除く)クラミジア肺炎	(ロタウイルスによる)感染性胃腸炎	インフルエンザ入院
千代田	3	3.33					2	0.50	2.00				0.50
中央区	3	0.67		1		23.00							
みなと	6	1.00	0.17				1			2.00	13.00		2.00
新宿区	8	0.29	2.00	2	1.00	4.00	2	1.50					1.00
文京	4	0.25		1		31.00	1						
台東	4	0.75											
墨田区	5	1.60	0.80	1			1						
江東区	9	0.22	0.44	1									
品川区	8	0.13		1		10.00							
目黒区	5	2.40		1									
大田区	13	3.28	0.54	2		3.00	1		1.00				
世田谷	16	1.90	0.13	2	1.00	37.00	2	3.50	2.50				4.50
渋谷区	4	0.25		1		7.00	1		1.00				2.00
中野区	6	0.33		1		7.00							
杉並	11	4.19	2.13	1			2			0.50			
池袋	5		0.20	1		36.00	1				6.00	2.00	
北区	7	0.43	0.14	1									
荒川区	4	1.00	0.75	1		13.00							
板橋区	10	2.50	0.50	2		3.00	1		1.00				
練馬区	13	2.59		2		7.50							
足立	13	0.15	0.15	2		7.00							
葛飾区	8	1.75		1		5.00	1						2.00
江戸川	12	0.34	0.25	2		3.00							
八王子市	11	0.64	0.18	2		6.00	1						2.00
町田市	8	1.38	0.25	1		5.00							
西多摩	8	0.77		1		3.00	1						
南多摩	9			1		3.00							
多摩立川	14	0.86	0.07	2		3.50	1						
多摩府中	21	3.63	0.81	3		3.67	3	1.67	1.67	1.00	1.00	0.33	1.33
多摩小平	15	0.36	0.21	2		9.00	2	0.50	1.00			0.50	1.00
島しょ	1						1						
定点当たり報告数		1.40	0.36		0.08	8.21		0.68	0.72	0.28	0.88	0.16	1.04
前年定点当たり報告数		1.72	0.65		0.05	7.51		0.96	1.01	0.76	0.68	0.16	0.08
当年/前年		0.81	0.55		1.60	1.09		0.71	0.71	0.37	1.29	1.00	13.00

※定点当たり報告数は、小数点第3位を四捨五入

表6 年齢階級別患者報告数(インフルエンザ・小児科・眼科・基幹)

2022年第1週～第52週

	インフルエンザ	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎
6か月未満	4	518	8	5	495	13	163	1	41	20	1
12か月未満	25	953	95	22	4,090	40	1,562	12	909	305	4
1歳	64	2,450	474	118	10,642	114	6,307	44	2,025	1,275	19
2歳	90	1,722	315	182	9,701	67	4,674	25	575	1,232	29
3歳	116	1,058	197	199	7,709	59	2,373	22	187	743	47
4歳	186	482	137	251	6,002	71	783	13	84	348	54
5歳	250	209	66	258	4,939	95	417	10	41	194	77
6歳	218	85	40	194	3,455	83	180	14	13	97	61
7歳	172	22	14	148	2,433	91	88	6	9	51	51
8歳	146	13	11	111	2,069	80	48	7	2	31	42
9歳	121	9	9	105	1,541	88	39	6	1	23	37
10～14歳	470	15	16	266	4,134	150	66	11	2	41	51
15～19歳	341	6	2	51	1,031	20	7	2		9	6
20～29歳	568	22	36	184	5,468	19	204	1		54	8
30～39歳	241										
40～49歳	161										
50～59歳	82										
60～69歳	32										
70～79歳	17										
80歳以上	14										
合計	3,318	7,564	1,420	2,094	63,709	990	16,911	174	3,889	4,423	487

	不明発しん症	川崎病	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎 (オウム病を除く)	感染性胃腸炎 (ロタウイルス)	インフルエンザ入院
6か月未満	7	1		4	5	2			1	1
12か月未満	43	17		1		1				
1歳	100	34		1	2					2
2歳	66	14		6	1	1			1	1
3歳	46	6		2	2	1				
4歳	17	8		2			1			2
5歳	17	4			2					1
6歳	14	3		3		1			1	2
7歳	9	2				1	1			2
8歳	3	2		1						
9歳	6	1		4						2
10～14歳	12	1		4					1	
15～19歳	6			11	1					2
20～29歳	14			66		1	1	4		4
30～39歳			3	80		3		5		
40～49歳				56						
50～59歳				32			1	2		
60～69歳				22		1	1	6		
70～79歳				16	4	2	2	2		
80歳以上						4		3		7
合計	360	93	3	311	17	18	7	22	4	26

※ 小児科定点把握対象疾患の「20～29歳」は「20歳以上」と読みかえる。

※ 眼科定点把握対象疾患の「70～79歳」は「70歳以上」と読みかえる。

表7-1 二次医療圏別患者報告数(インフルエンザ・小児科・眼科・基幹)

2022年第1週～第52週

	設置定点数 (インフルエンザ)	インフルエンザ	設置定点数 (小児科)	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎
1 区中央部圏	32	201	20	494	60	79	5,404	60	1,391	9	326	413	40
2 区南部圏	33	188	21	825	182	176	5,199	79	1,305	19	336	456	49
3 区西南部圏	40	378	25	821	99	144	5,060	87	1,387	14	242	297	35
4 区西部圏	39	347	25	691	148	331	6,119	61	1,374	14	306	181	32
5 区西北部圏	56	428	35	842	145	265	7,329	100	2,242	24	447	579	41
6 区東北部圏	40	266	25	940	175	161	5,800	86	1,278	12	386	257	27
7 区東部圏	41	253	26	673	147	225	6,850	82	1,368	17	352	531	30
8 西多摩圏	14	57	8	16	16	35	1,387	24	324	7	79	71	14
9 南多摩圏	45	696	28	785	99	226	8,244	182	2,300	21	445	699	91
10 北多摩西部圏	21	142	14	337	22	90	2,947	48	779	6	175	171	25
11 北多摩南部圏	33	175	21	509	71	127	4,172	103	1,555	8	407	361	56
12 北多摩北部圏	23	187	15	617	255	235	5,185	78	1,566	23	386	404	46
13 島しょ圏	2		1	14	1		13		42		2	3	1
合計	419	3,318	264	7,564	1,420	2,094	63,709	990	16,911	174	3,889	4,423	487

	設置定点数 (小児科)	不明発しん症	川崎病	設置定点数 (眼科)	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	設置定点数 (基幹)	細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	(オウム病を除く) クラミジア肺炎	(ロタウイルスによる) 感染性胃腸炎	インフルエンザ入院
1 区中央部圏	20	22	1	2		54	4	1	4	2	13		3
2 区南部圏	21	43	7	3		16	1			1			
3 区西南部圏	25	43	2	4	2	76	3	7	6				11
4 区西部圏	25	49	37	4	1	11	4	3		1			2
5 区西北部圏	35	61	7	6		57	2		1		6	2	
6 区東北部圏	25	20	5	4		32	1						2
7 区東部圏	26	14	11	4		6	1						
8 西多摩圏	8	6		1		3	1						
9 南多摩圏	28	18	4	4		20	1						2
10 北多摩西部圏	14	12	1	2		7	1						
11 北多摩南部圏	21	67	15	3		11	3	5	5	3	3	1	4
12 北多摩北部圏	15	5	3	2		18	2	1	2			1	2
13 島しょ圏	1						1						
合計	264	360	93	39	3	311	25	17	18	7	22	4	26

表7-2 二次医療圏別定点当たり患者報告数(インフルエンザ・小児科・眼科・基幹)

2022年第1週～第52週

	設置定点数 (インフルエンザ)	インフルエンザ	設置定点数 (小児科)	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎
1 区中央部圏	32	6.30	20	24.74	3.00	3.96	270.72	3.00	69.66	0.45	16.36	20.72	2.00
2 区南部圏	33	5.77	21	39.90	8.84	8.49	251.39	3.80	63.16	0.92	16.32	22.09	2.36
3 区西南部圏	40	10.24	25	33.68	4.01	5.85	204.56	3.51	57.05	0.56	9.79	12.18	1.41
4 区西部圏	39	9.25	25	29.07	6.23	14.00	258.78	2.56	58.08	0.59	12.89	7.65	1.35
5 区西北部圏	56	7.89	35	24.32	4.22	7.68	213.17	2.91	64.85	0.70	13.01	16.74	1.19
6 区東北部圏	40	7.13	25	37.98	7.03	6.50	234.44	3.47	52.05	0.49	15.53	10.39	1.09
7 区東部圏	41	6.18	26	26.10	5.68	8.67	264.90	3.16	53.09	0.66	13.58	20.64	1.16
8 西多摩圏	14	4.21	8	2.00	2.05	4.43	174.73	3.02	40.91	0.91	10.04	8.89	1.75
9 南多摩圏	45	15.67	28	28.04	3.54	8.08	294.69	6.51	82.14	0.75	15.89	24.96	3.25
10 北多摩西部圏	21	7.09	14	24.14	1.58	6.45	212.63	3.45	56.12	0.43	12.56	12.30	1.80
11 北多摩南部圏	33	5.89	21	27.31	3.83	6.85	224.46	5.57	84.66	0.42	21.91	19.44	2.98
12 北多摩北部圏	23	8.89	15	44.45	18.55	17.33	382.36	5.68	113.36	1.67	28.69	29.31	3.41
13 島しょ圏	2		1	14.00	1.00		13.00		42.00		2.00	3.00	1.00

	設置定点数 (小児科)	不明発しん症	川崎病	設置定点数 (眼科)	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	設置定点数 (基幹)	細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎 (オウム病を除く)	感染性胃腸炎 (ロタウイルスによる)	インフルエンザ入院
1 区中央部圏	20	1.10	0.05	2		27.00	4	0.25	1.00	0.50	3.25		0.75
2 区南部圏	21	2.07	0.34	3		5.33	1			1.00			
3 区西南部圏	25	1.74	0.08	4	0.50	19.67	3	2.33	2.00				3.67
4 区西部圏	25	2.07	1.56	4	0.33	3.67	4	0.75		0.25			0.50
5 区西北部圏	35	1.77	0.20	6		9.50	2		0.50		3.00	1.00	
6 区東北部圏	25	0.80	0.20	4		8.00	1						2.00
7 区東部圏	26	0.54	0.42	4		1.50	1						
8 西多摩圏	8	0.77		1		3.00	1						
9 南多摩圏	28	0.64	0.14	4		5.00	1						2.00
10 北多摩西部圏	14	0.86	0.07	2		3.50	1						
11 北多摩南部圏	21	3.63	0.81	3		3.67	3	1.67	1.67	1.00	1.00	0.33	1.33
12 北多摩北部圏	15	0.36	0.21	2		9.00	2	0.50	1.00			0.50	1.00
13 島しょ圏	1						1						

※定点当たり報告数は、小数点第3位を四捨五入

表8-1 月別患者報告数(基幹)

2022年1月~12月

	報告定点数	メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	ペニシリン耐性肺炎球菌感染症	薬剤耐性緑膿菌感染症
1月	25	54	3	
2月	25	60	1	
3月	25	57	2	
4月	25	61	2	
5月	25	53	4	1
6月	25	62	2	1
7月	25	59	5	3
8月	25	83	6	
9月	25	60	2	2
10月	25	64	6	
11月	25	51	4	
12月	25	67	3	1
合計		731	40	8

表8-2 月別定点当たり患者報告数(基幹)

2022年1月~12月

	報告定点数	メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	ペニシリン耐性肺炎球菌感染症	薬剤耐性緑膿菌感染症
1月	25	2.16	0.12	
2月	25	2.40	0.04	
3月	25	2.28	0.08	
4月	25	2.44	0.08	
5月	25	2.12	0.16	0.04
6月	25	2.48	0.08	0.04
7月	25	2.36	0.20	0.12
8月	25	3.32	0.24	
9月	25	2.40	0.08	0.08
10月	25	2.56	0.24	
11月	25	2.04	0.16	
12月	25	2.68	0.12	0.04
平均		2.44	0.13	0.03
合計		29.24	1.60	0.32
前年合計		32.56	1.68	0.20
当年/前年		0.9	1.0	1.6

※定点当たり報告数は、小数点第3位を四捨五入

表8-3 月別・性別患者報告数(基幹) 2022年1月~12月

	メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症		ペニシリン耐性肺炎球菌感染症		薬剤耐性緑膿菌感染症	
	男	女	男	女	男	女
1月	34	20	1	2		
2月	28	32	1			
3月	40	17	2			
4月	36	25	2			
5月	33	20	2	2		1
6月	33	29	1	1	1	
7月	40	19	2	3	3	
8月	55	28	2	4		
9月	37	23	1	1		2
10月	40	24	2	4		
11月	37	14	3	1		
12月	45	22	2	1		1
合計	458	273	21	19	4	4

表8-4 性別・年齢階級別患者報告数(基幹) 2022年1月~12月

	メチシリン耐性 黄色ブドウ球菌感染症		ペニシリン耐性 肺炎球菌感染症		薬剤耐性 緑膿菌感染症	
	男	女	男	女	男	女
0歳	28	28		1		
1~4歳	15	8	5	4		
5~9歳	6	8	3	3		
10~14歳	3	2		2		1
15~19歳	3		1			1
20~24歳	2	3				
25~29歳	5	3			1	
30~34歳	2	4				
35~39歳	8	6				
40~44歳	5	6	2			
45~49歳	13	2		1		
50~54歳	21	8	1			1
55~59歳	26	8			1	
60~64歳	31	14				
65~69歳	21	6	1	1		
70歳以上	269	167	8	7	2	1
合計	458	273	21	19	4	4
定点当たり報告数	18.32	10.92	0.84	0.76	0.16	0.16
前年定点当たり報告数	19.16	13.40	1.08	0.60	0.12	0.08
当年/前年	1.0	0.8	0.8	1.3	1.3	2.0

※定点当たり報告数は、小数点第3位を四捨五入

表9-1 月別患者報告数(性感染症)

2022年1月~12月

報告 定点 数	性 器 ク ラ ミ ジ ア 感 染 症	性 感 染 症 ヘ ル ペ ス ウ イ ル ス	尖 圭 コ ン ジ ロ ー マ	淋 菌 感 染 症	膣 ト リ コ モ ナ ス 症	
1月	55	187	46	66	75	11
2月	55	152	54	54	61	9
3月	55	175	54	66	76	7
4月	55	178	63	81	66	11
5月	54	167	56	86	81	12
6月	54	188	62	138	88	15
7月	54	176	44	81	101	3
8月	54	160	55	115	79	7
9月	53	189	48	99	86	5
10月	54	249	70	120	112	11
11月	53	230	69	131	120	6
12月	54	210	58	120	96	6
合計		2,261	679	1,157	1,041	103

※定点当たり報告数は、小数点第3位を四捨五入

表9-2 月別定点当たり患者報告数(性感染症)

2022年1月~12月

報告 定点 数	性 器 ク ラ ミ ジ ア 感 染 症	性 感 染 症 ヘ ル ペ ス ウ イ ル ス	尖 圭 コ ン ジ ロ ー マ	淋 菌 感 染 症	膣 ト リ コ モ ナ ス 症	
1月	55	3.40	0.84	1.20	1.36	0.20
2月	55	2.76	0.98	0.98	1.11	0.16
3月	55	3.18	0.98	1.20	1.38	0.13
4月	55	3.24	1.15	1.47	1.20	0.20
5月	54	3.09	1.04	1.59	1.50	0.22
6月	54	3.48	1.15	2.56	1.63	0.28
7月	54	3.26	0.81	1.50	1.87	0.06
8月	54	2.96	1.02	2.13	1.46	0.13
9月	53	3.57	0.91	1.87	1.62	0.09
10月	54	4.61	1.30	2.22	2.07	0.20
11月	53	4.34	1.30	2.47	2.26	0.11
12月	54	3.89	1.07	2.22	1.78	0.11
平均		3.48	1.05	1.78	1.60	0.16
合計		41.78	12.54	21.42	19.26	1.90
前年合計		40.69	13.14	19.31	18.62	1.74
当年/前年		1.03	0.95	1.11	1.03	1.09

※定点当たり報告数は、小数点第3位を四捨五入

表9-3 月別・性別患者報告数(性感染症) 2022年1月~12月

	報告 定点 数	性器クラミジア 感染症		性器ヘルペス ウイルス感染症		尖圭 コンジローマ		淋菌感染症		膣トリコモナス症	
		男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
1月	55	105	82	21	25	41	25	54	21		11
2月	55	77	75	27	27	33	21	45	16		9
3月	55	107	68	29	25	41	25	63	13		7
4月	55	104	74	34	29	50	31	51	15		11
5月	54	104	63	26	30	56	30	62	19		12
6月	54	100	88	38	24	94	44	66	22	1	14
7月	54	116	60	29	15	50	31	75	26		3
8月	54	95	65	37	18	73	42	63	16		7
9月	53	113	76	24	24	49	50	55	31		5
10月	54	151	98	41	29	78	42	73	39		11
11月	53	129	101	37	32	89	42	70	50		6
12月	54	129	81	31	27	89	31	68	28		6
合計		1,330	931	374	305	743	414	745	296	1	102

表9-4 月別・性別定点当たり患者報告数(性感染症) 2022年1月~12月

	報告 定点 数	性器クラミジア 感染症		性器ヘルペス ウイルス感染症		尖圭 コンジローマ		淋菌感染症		膣トリコモナス症	
		男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
1月	55	1.91	1.49	0.38	0.45	0.75	0.45	0.98	0.38		0.20
2月	55	1.40	1.36	0.49	0.49	0.60	0.38	0.82	0.29		0.16
3月	55	1.95	1.24	0.53	0.45	0.75	0.45	1.15	0.24		0.13
4月	55	1.89	1.35	0.62	0.53	0.91	0.56	0.93	0.27		0.20
5月	54	1.93	1.17	0.48	0.56	1.04	0.56	1.15	0.35		0.22
6月	54	1.85	1.63	0.70	0.44	1.74	0.81	1.22	0.41	0.02	0.26
7月	54	2.15	1.11	0.54	0.28	0.93	0.57	1.39	0.48		0.06
8月	54	1.76	1.20	0.69	0.33	1.35	0.78	1.17	0.30		0.13
9月	53	2.13	1.43	0.45	0.45	0.92	0.94	1.04	0.58		0.09
10月	54	2.80	1.81	0.76	0.54	1.44	0.78	1.35	0.72		0.20
11月	53	2.43	1.91	0.70	0.60	1.68	0.79	1.32	0.94		0.11
12月	54	2.39	1.50	0.57	0.50	1.65	0.57	1.26	0.52		0.11

※定点当たり報告数は、小数点第3位を四捨五入

表9-5 保健所別、二次医療圏別患者報告数(性感染症)

2022年1月～12月

	設置 定 点 数	性器クラミジア 感染症		性器ヘルペス ウイルス感染症		尖圭 コンジローマ		淋菌感染症		膣トリコモナス症	
		男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
千代田	2	35	10	10	6	12	1	20	3		1
中央区	3	44	14	35	11	12	8	11		1	
みなと	2	84	58	54	7	78	9	43	11		6
新宿区	7	218	114	114	80	458	296	147	40		4
文京	1	43		7		15		7			
台東	2	3	93	1	18	12	40	15	157		37
墨田区	2	52	2	8		11	1	21	2		
江東区	2	131	4	43		13	1	70	1		
品川区	1	114	60	6	3	37	3	58	16		1
大田区	2	7	14	1	2			4	3		1
渋谷区	5	228	103	31	64	46	10	85	2		5
中野区	2	103	6	1	3	4		65	1		3
杉並	2	40	9	2	1	10	7	13	1		
池袋	3	149	38	44	36	22	6	140	9		9
北区	1	9				7		4			
荒川区	1		26		12		2		4		2
板橋区	2	8	33	1		4		8	5		
足立	2	2	35		3		5	4			5
江戸川	2	54	104	16	7	2	12	30	10		7
八王子市	4		76		30		5		10		9
町田市	1		17		15		1		3		2
多摩立川	2	1	101		6		7		15		8
多摩府中	3	5	12		1				3		2
多摩小平	1		2								
合 計	55	1,330	931	374	305	743	414	745	296	1	102
定点当たり報告数		24.58	17.20	6.91	5.63	13.75	7.66	13.77	5.49	0.02	1.88
前年定点当たり報告数		24.50	16.20	7.32	5.82	11.95	7.36	13.87	4.75	0.02	1.72
当年/前年		1.00	1.06	0.94	0.97	1.15	1.04	0.99	1.16	1.00	1.09

区中央部圏	10	209	175	107	42	129	58	96	171	1	44
区南部圏	3	121	74	7	5	37	3	62	19		2
区西南部圏	5	228	103	31	64	46	10	85	2		5
区西部圏	11	361	129	117	84	472	303	225	42		7
区西北部圏	6	166	71	45	36	33	6	152	14		9
区東北部圏	3	2	61		15		7	4	4		7
区東部圏	6	237	110	67	7	26	14	121	13		7
南多摩圏	5		93		45		6		13		11
北多摩西部圏	2	1	101		6		7		15		8
北多摩南部圏	3	5	12		1				3		2
北多摩北部圏	1		2								

※定点当たり報告数は、小数点第3位を四捨五入

表9-6 保健所別、二次医療圏別定点当たり患者報告数(性感染症)

2022年1月~12月

	設置 定点数	性器クラミジア 感染症		性器ヘルペス ウイルス感染症		尖圭 コンジローマ		淋菌感染症		膣トリコモナス症	
		男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
千代田	2	17.50	5.00	5.00	3.00	6.00	0.50	10.00	1.50		0.50
中央区	3	14.67	4.67	11.67	3.67	4.00	2.67	3.67		0.33	
みなと	2	42.00	29.00	27.00	3.50	39.00	4.50	21.50	5.50		3.00
新宿区	7	34.52	18.33	18.12	12.64	73.83	47.64	23.36	6.43		0.62
文京	1	43.00		7.00		15.00		7.00			
台東	2	1.50	46.50	0.50	9.00	6.00	20.00	7.50	78.50		18.50
墨田区	2	26.00	1.00	4.00		5.50	0.50	10.50	1.00		
江東区	2	65.50	2.00	21.50		6.50	0.50	35.00	0.50		
品川区	1	114.00	60.00	6.00	3.00	37.00	3.00	58.00	16.00		1.00
大田区	2	3.50	7.00	0.50	1.00			2.00	1.50		0.50
渋谷区	5	45.60	20.60	6.20	12.80	9.20	2.00	17.00	0.40		1.00
中野区	2	51.50	3.00	0.50	1.50	2.00		32.50	0.50		1.50
杉並	2	21.00	5.00	1.00	0.50	5.50	3.50	8.00	0.50		
池袋	3	49.67	12.67	14.67	12.00	7.33	2.00	46.67	3.00		3.00
北区	1	9.00				7.00		4.00			
荒川区	1		26.00		12.00		2.00		4.00		2.00
板橋区	2	4.00	16.50	0.50		2.00		4.00	2.50		
足立	2	1.00	17.50		1.50		2.50	2.00			2.50
江戸川	2	27.00	52.00	8.00	3.50	1.00	6.00	15.00	5.00		3.5
八王子市	4		19.00		7.50		1.25		2.50		2.25
町田市	1		17.00		15.00		1.00		3.00		2.00
多摩立川	2	0.50	50.50		3.00		3.50		7.50		4.00
多摩府中	3	1.67	4.00		0.33				1.00		0.67
多摩小平	1		2.00								
合計	55	1,330	931	374	305	743	414	745	296	1	102
定点当たり報告数		24.58	17.20	6.91	5.63	13.75	7.66	13.77	5.49	0.02	1.88

区中央部圏	10	20.90	17.50	10.70	4.20	12.90	5.80	9.60	17.10	0.10	4.40
区南部圏	3	40.33	25.00	2.33	1.67	12.33	1.00	20.67	6.33		0.67
区西南部圏	5	45.60	20.60	6.20	12.80	9.20	2.00	17.00	0.40		1.00
区西部圏	11	35.40	12.69	11.48	8.26	46.87	29.97	22.20	4.18		0.67
区西北部圏	6	27.67	11.83	7.50	6.00	5.50	1.00	25.33	2.33		1.50
区東北部圏	3	0.67	20.33		5.00		2.33	1.33	1.33		2.33
区東部圏	6	39.50	18.33	11.17	1.17	4.33	2.33	20.17	2.17		1.17
南多摩圏	5		18.60		9.00		1.20		2.60		2.20
北多摩西部圏	2	0.50	50.50		3.00		3.50		7.50		4.00
北多摩南部圏	3	1.67	4.00		0.33				1.00		0.67
北多摩北部	1		2.00								

※定点当たり報告数は、小数点第3位を四捨五入

表9-7 年齢階級別患者報告数(性感染症) 2022年1月~12月

	性器クラミジア 感染症		性器ヘルペス ウイルス感染症		尖圭 コンジローマ		淋菌感染症		膺トリコモナス症	
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
0歳										
1~4歳										
5~9歳										
10~14歳		6						2		
15~19歳	22	88	2	12	7	19	20	21		4
20~24歳	238	285	30	57	95	154	129	75		25
25~29歳	275	236	62	52	169	114	154	54		17
30~34歳	236	122	48	53	108	50	114	34		15
35~39歳	183	76	50	33	95	37	106	22		7
40~44歳	169	50	50	27	89	18	98	22		10
45~49歳	87	27	54	23	69	10	58	31		11
50~54歳	57	20	31	18	44	4	36	17	1	7
55~59歳	30	15	16	11	26	7	19	11		1
60~64歳	16	5	19	9	26	1	7	5		
65~69歳	8	1	5	2	7			2		2
70歳以上	9		7	8	8		4			3
合計	1,330	931	374	305	743	414	745	296	1	102

表10 検査結果別報告数(基幹) 2022年1週~52週

	細菌性 髄膜炎	無菌性 髄膜炎	マイコプラ ズマ肺炎	クラミジア 肺炎	感染性 胃腸炎 (ロタウイルス)	合計
<i>Enterococcus faecalis</i>	1					1
<i>Staphylococcus aureus</i>	2					2
<i>Streptococcus agalactiae</i>	2					2
<i>Streptococcus pneumoniae</i>	1					1
other bacteria	5					5
<i>Cytomegalovirus</i>		1				1
<i>Herpes simplex virus 2</i>		2				2
<i>Human herpesvirus 7</i>		1				1
<i>Varicella-zoster virus</i>		3				3
<i>Mycoplasma pneumoniae</i>			6			6
<i>Chlamyphila pneumoniae</i>				14		14
<i>Chlamydia trachomatis</i>				8		8
Rotavirus group unknown					2	2
記載無し	6	11	1		2	20
合計	17	18	7	22	4	68

表 11 入院サーベイランス 入院時の状況 2022 年 1 週～52 週

	ICU入室	人工呼吸器 の利用	頭部CT 検査	頭部MRI 検査	脳波検査	いずれにも 該当せず
6 か月未満			1			
12 か月未満						
1歳			1			1
2歳			1			
3歳						
4歳						2
5歳					1	
6歳	1	1				1
7歳						2
8歳						
9歳						2
10～14歳						
15～19歳						2
20～29歳	1					3
30～39歳						
40～49歳						
50～59歳						
60～69歳						
70～79歳						
80歳以上		2				5
合 計	2	3	3	0	1	18